令和１年　９月　６日
大 臣 官 房 会 計 課

令和元年度防衛省行政事業レビューの点検結果等について

行政改革推進本部事務局の指示に基づき、所掌の事業に係る予算の執行状況等について、他省庁と同様に、事業の無駄の削減及び効率性等の観点から検証し、事業内容の見直しを行い、その結果を概算要求等に反映。

点検結果については、行政事業レビューシート等により防衛省ホームページにおいて掲載を行う。

１　令和元年度行政事業レビューの点検結果について

点検対象３４４事業、うち７５事業（公開プロセス対象３事業を含む）については、外部有識者による点検を併せて実施。点検結果は以下の通り。

① 現状通り	６９事業	
② 事業内容の一部改善	２３１事業	（うち公開プロセス　２事業）
③ 事業全体の抜本的な改善	１事業	（うち公開プロセス　１事業）
④ 廃止	０事業	
⑤ 平成３０年度事業終了又は 令和　元年度事業終了予定	４３事業	
合計	３４４事業	

２　令和２年度概算要求への反映状況等について

上記の点検結果、令和２年度概算要求において、**約▲３５億円**（歳出ベース）を縮減したほか、次期契約に向け一者応札の改善など執行等に係る改善を指摘。

（１） 縮減事例（令和２年度概算要求への反映状況）

①執行状況（予算と執行のかい離等）を踏まえて改善の余地があるもの。

○主機等（艦艇の動力）オーバーホール（２’要求額　約９５億円）

⇒対象機材を（仕様内容・数量）精査することにより　**約▲１０億円**

②単位当たりコストに改善の余地があるもの。

○部隊等における教育・訓練に要する経費（２’要求額　約６１２億円）

⇒執行状況や市場価格を踏まえ、積算の見直しを行った　**約▲３億円**

③公開プロセスにおいて指摘があり、引き続き改善を図っているもの（過年度分含む）。

○騒音防止事業（一般防音）（２’要求額　約８７億円）

⇒これまでのコスト削減に対する取組事例をまとめた「騒音防止事業に係る経済性を考慮した計画・工法集」を各地方防衛局において地方公共団体等へ周知し、事例を採用したことによるコスト削減効果 **約▲７億円**

（２）執行等改善に係る指摘の事例

・ **競争性の確保が不十分（参入障壁の検証不足）**

⇒ 業態調査、不参加企業へのアンケート調査による参入障壁の分析を指摘。

⇒ アンケート結果による制限事項の改善（仕様書の見直し等）を指摘。　等

・ **高落札率が継続しており、価格交渉の余地がある。**

⇒ 詳細な見積内訳を入手し、数量、単価の妥当性検証を指摘。

⇒ 習熟効果等を考慮した価格交渉を指摘。　等

・ **他の事業でも同様の器材の購入があり、まとめ買いの余地がある。**

⇒ 他の事業とまとめて調達することにより、スケールメリットを生かした調達を指摘。

・ **装備品の修理事業において、修理間隔の検証を確認できないもの。**

⇒ 修理間隔の延伸の検討を指摘。

執行機関は改善に取り組み、次期契約等に反映。反映結果については、次年度のレビューシートにおいて確認。

３　公開プロセス案件の対応状況

○　**基地防空用ＳＡＭ**

（主なコメント及び対応の方向性）

・経済性の追求（競争性の確保・コスト低減の追求）に係る指摘を受け

⇒　官民意見交換会を通じて競争性の確保に努めつつ、車両部分については海外発注の余地を検証していく。
併せて、各自衛隊間の共通品の共同調達を引き続き推進していく。

○　**民間海上輸送力活用に係わるＰＦＩ事業**

（主なコメント及び対応の方向性）

・次期契約に向けて、経済性・有効性を高めたスキームの検討に係る指摘を受け

⇒　業態調査を通じて複数社の参入を目指し、また、応札グループ会社にヒアリングを行い適正な契約期間や仕様の精査を行う。

・待機時の船舶の有効活用に係る指摘を受け

⇒　より民間収益事業が充実するように官側からも活用方法について提案し有効性を高めていく。

○　**騒音防止事業（一般防音）**

（主なコメント及び対応の方向性）

・自治体（補助対象）へ競争契約の促進等の指導に係る指摘を受け

⇒　地方自治体等の契約方法を確認する項目を盛り込んだチェックシートを作成し、地方自治体等の競争契約の促進等、効果的な改善策の指導に努める。

様式１

防衛省

平成３１年度行政事業レビュー事業単位整理表兼点検結果の平成３２年度予算概算要求への反映状況調表

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度 当初予算額 A	平成３２年度 要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
施策名：1-(1)周辺海空域における安全確保																											
001	弾薬（海上自衛隊）	S40	終了予定なし	20,094	19,801	19,641	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争や公募などによる競争性確保に努めてるとのことだが、一者応札及び一者応募と思われる案件でかつ高落札率となっているものがある。事業の特性上、競争性が働きづらく、競争性による価格の妥当性を高めることは困難であると思われるものについては、透明性を確保したうえで、形式的な競争性を求めるのではなく、随意契約とすることも検討し、可能な限り詳細な見積もり内容を入手し、コスト縮減の余地を検証することにより更なる価格の妥当性向上に努める。	69,596	54,323	▲15,272	－	執行等改善	競争性による価格の妥当性を高めることが困難であると思われるものについては、透明性を確保したうえで随意契約とすることを検討し、可能な限り詳細な見積もり内容を入手し、コスト縮減の余地を検証することにより更なる価格の妥当性向上に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0001 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
002	主機等オーバーホール	H3	終了予定なし	－	6,985	4,919	・平成30年度において執行率の低下がみられるが、その要因分析を行い、その結果をレビューシートに記載することにより執行の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに、適切な予算計上及び予算執行に努められたい。 ・極めて高い専門性を必要とするなど、やむを得ず随意契約を行わなければならない場合には、官熟効果等を考慮した原価査定や価格交渉等による価格面での適正化に努める必要がある。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	7,021	9,526	2,505	▲956	縮減	・機関要求時に４６台であった最出予算での整備計画を、概算要求時に１１８５国債での整備計画へ先送りすることで、955,952千円を縮減した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費（大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0003 － 00	－ －	－ －		その他			
003	ソーナー用ラバーウィンドウの整備	H4	終了予定なし	8,496	1,511	1,021	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度（30年度、68%）や予算額を超過している年度があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。 ・単位当たりコストをみると防衛省のみで調達しているため、コスト水準は妥当」とあるが、価格の妥当性がこの記述からでは不明である。価格の妥当性について分析し、適正価格を追求する余地があれば、見積精査等において更なる経費節減を追求されたい。 　また、それらの取組をレビューシートに記載し、より透明性を確保すべき。	933	586	▲347	－	年度内に改善を検討	・計画的な予算の計上・執行のため、２年度予算要求以降改善を図る計画である。 ・価格の妥当性について分析を行う。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0005 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
004	機雷探知機の整備等	H2	終了予定なし	847	847	1,142	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度、執行額が予算額を超過しており、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。 ・競争性が働きづらい分野においては、競争性の確保だけでは価格の妥当性追求が困難である。より価格の妥当性を追求するため、過去の契約実績を反映するだけでなく、価格の妥当性について分析し、適正価格を追求する余地があれば、見積精査等において更なる経費節減を追求されたい。	696	1,332	637	－	年度内に改善を検討	・計画的な予算の計上・執行のため、２年度予算要求以降改善を図る計画である。 ・価格の妥当性について分析を行う。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0006 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
005	製造中止部品対策（水中武器の部）	H21	終了予定なし	538	538	704	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・１者応札は積算単価が高額傾向となることから、競争性を高めるための工夫や見積精査に当たり、直近の実績単価を参考とするだけでなく、詳細な内訳を入手し、コスト低減の余地がないか検証し、価格交渉等において更なるコスト縮減に努めて欲しい。（継続） ・単位当たりコストをみると「防衛省のみで調達しているため、コスト水準は妥当」とあるが、価格の妥当性がこの記述からでは不明である。価格の妥当性について分析し、適正価格を追求する余地があれば、見積精査等において更なる経費節減を追求されたい。 　また、それらの取組をレビューシートに記載し、より透明性を確保すべき。	320	51	▲270	－	年度内に改善を検討	・競争性を高めるための工夫し、今後更に詳細な内訳を入手する。また、コスト低減の余地がないか業者と価格交渉し、コスト縮減に努める。 ・年度内に価格の妥当性を分析及び適性価格を追及し、より透明性の確保に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0007 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
006	イージス戦闘システムに関わる国内整備態勢の整備	H1	終了予定なし	930	930	884	・事業所管部局による点検・改善を参照すると、作業効率の見直しによる工数低減を図るなど、予算執行の効率化に努めていることは認められる。引き続き、契約実績の分析及び更なるコスト低減の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努められたい。 ・自己点検において「公募による技術審査等を行い、その結果から複数各務の場合は、指名入札にて対応している。」となっているが、結果的に一者しか応募がなく随意契約となっていることから、公募を実施しても応募者が限定されるのであれば、透明性を確保したうえで随意契約に切り替え、原価精査や価格交渉による経費の低減をはかったほうがよいのではないか。さらにレビューシートでは、「終了予定なし」になっているが、現有艦船全体のオーバーホール・スケジュールは、中長期的に明らかにできないのか。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	802	828	26	－	執行等改善	本事業は性質上、競争性の中で価格の妥当性を図ることは困難であるため、原価精査や価格交渉等により価格の縮減に努める。また、価格の適正化に努めた契約実績等を今後の予算要求に反映させる。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0008 － 00	－ －	－ －		その他			
007	機雷処分具等の整備等	H12	終了予定なし	849	849	932	・自己点検において、部品のまとめ買い、交換部品の更新化を図ることによるコスト節減努力、また、競争性を確保するため、通年で公募を受け付けるなど、応札者を増やす努力は認められるが、公募を実施しても、一者応募のため随意契約としている状況を踏まえると、形式的な競争性を求めるのではなく、十分に内容を精査し、透明性を確保したうえで、随意契約に切り替え、原価精査や価格交渉による経費の低減をはかったほうがよいのではないか。さらにレビューシートでは、「終了予定なし」になっているが、現有艦船全体のオーバーホール・スケジュールは、中長期的に明らかにできないのか。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	745	1,534	788	－	年度内に改善を検討	・経費を低減する対策を検討する。 ・掃海艦船の整備に関わる事業については、適宜本シートに追加する計画である。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0009 － 00	－ －	－ －		その他			
008	ＭＫ４６魚雷等の定期検査	H7	終了予定なし	2,647	2,647	2,365	・極めて高い専門性を必要とするなど、やむを得ず随意契約を行わなければならない場合には、官熟効果等を考慮した原価査定や価格交渉等による価格面での適正化に努める必要がある。 ・定期検査の延伸、一部部品の共通化や取り外した部品の転用などコスト縮減に取り組んでいる点は評価できる。引き続きこれら取組を進められたい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	2,583	2,583	▲92	縮減	定期検査の延伸、一部部品の共通化や取り外した部品の転用などを図り、92,471千円のコスト縮減を図った。 契約実績等に基づき、官熟効果及び原価精査等の価格適正化に努めている。引続き、価格の低減に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0010 － 00	－ －	－ －		その他			
009	魚雷の修理等	S36	終了予定なし	385	385	313	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・在庫や将来の必要数を勘案したうえでの修理数量の精査、定期修理間隔やオーバーホール間隔の見直しなど、コスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、更に効率的な予算要求、予算執行に努められたい。 ・公募により競争性を確保に努めて調達を行っていることから支出先の選定は妥当とのことであるが、一者応募の状況が見受けられる。要因について分析し、その理由をレビューシート上に記載することにより、支出先選定の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。	238	282	44	▲32	縮減	在庫や将来の必要数を勘案したうえでの修理数量の精査を行った結果、32,173千円のコストの縮減を行った。 また、公募による競争性の確保に努めているが、事業の特性から一者応募の状況にならざるを得ないことから契約方式の見直し等を図り、支出先選定の妥当性について国民の理解を得られるように努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0012 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
010	魚雷整備用消耗品	S37	終了予定なし	761	761	740	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・必要な部材等の一括調達などの更なるコスト縮減方策についても検討し、適切な予算要求、執行に努められたい（在に既に実施している縮減の取組があるのであれば、内容についてレビューシートに記載してもらいたい） ・公募により競争性を確保に努めて調達を行っていることから支出先の選定は妥当とのことであるが、一者応募の状況が見受けられる。要因について分析し、その理由をレビューシート上に記載することにより、支出先選定の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。	－	－	－	－	執行等改善	適切な予算要求、執行を実施する取り組みとして、定期交換間隔の延伸等を行っている。また、公募による競争性の確保に努めているが、事業の特性から一者応募の状況になざるを得ないことから契約方式の見直し等を図り、支出先選定の妥当性について国民の理解を得られるように努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0013 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
011	不用弾薬の外注処分	H7	終了予定なし	362	362	380	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・引き続き、契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	357	－	▲357	－	執行等改善	契約実績を予算要求に反映しコスト縮減に努めている。引続き、効率的な予算要求、予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0014 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
012	ＴＣ－９０／ＵＣ－９０／ＬＣ－９０型航空機の整備業務の民間委託	H7	終了予定なし	779	779	763	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・随意契約にあたっては、原価精査や価格交渉による価格面での適正化を追求されたい。また、 引き続き、契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	785	814	29	－	年度内に改善を検討	原価精査等を行い、価格面での適正化を追求するとともに、契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討を行い、効率的な予算要求・予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費（大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0015 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			

様式1

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度		外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		平成３１年度当初予算額	平成３２年度要求額	差引き	反映状況			備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号				外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
					執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要	A	B	B－A＝C	反映額	反映内容						1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合				
013	潜水艦の主蓄電池の換装及び購入	H16	終了予定なし	6,333	6,333	6,058	・自己点検おいて、インセンティブを適用しコストの削減を図っていることは確認できるが、国民がチェックすることが可能なレビューシートに記載がないことから「その他コストの削減や効率化に向けた工夫」欄にこれらの取組を記載するべきではないか。・資金の流れを参照すると、蓄電池の換装役務について、公募を実施しているものの応募者が一者しかおらず、随意契約となっていることから、競争性の確保が困難である場合、透明性を確保したうえで、形式的な競争性を求めるのではなく、随意契約とし、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努めることも検討すべきではないか。また、主蓄電池の製造・納入についても、なぜ一者応募となったか説明が必要である。技術水準が制約としても、ある程度の高い潜在技術能力を有する企業が存在しない、あるいは他の企業が参入する動機づけが存在しない等の背景を記載する必要があるのではないか。更に、所要仕様を満たす海外製品が存在しない、あるいはその仕様が適切でない等の理由があるのであればその旨、記載する必要があのではないか。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	5,136	3,519	▲1,616	▲33	縮減	・インセンティブを適用したことによるコストの削減額（32,676千円）を次年度予算取得額に反映した。・蓄電池の換装役務については、透明性を確保したうえでの契約方式の検証及び直近の実績単価を参考とするだけでなく、詳細な内訳を入手し、コスト低減の余地がないか検証し、価格交渉等において更なるコスト縮減に努める。また、主蓄電池の製造・納入についても、海外を含む他の企業が応募せず、一者応募となった理由について、丁寧な説明に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費（大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0016 － 00	－ －	－ －		その他			
014	潜水艦救難態勢の維持	H20	終了予定なし	44	44	41	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・次期契約時に向けて、競争性が働く見込みがない分野であれば、一般競争における価格の妥当性追求には限界があることから契約方式の妥当性を検証のうえ、価格面に注力した取組を推進し、価格の低減に努めてほしい。	95	306	210	－	年度内に改善を検討	直近の実績単価を参考とするだけでなく、詳細な内訳を入手し、コスト低減の余地がないか、価格面に注力した検証を進め、価格交渉等において更なるコスト縮減に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費（大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0017 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
015	潜水艦潜舵の換装	H21	H33	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・次期契約に向けて、現在の教訓事項等を整理し、仕様に反映するなど引き続き、経費節減に係る取組を推進してほしい。	－	－	－	－	現状通り	実績を踏まえた仕様の精査及び詳細な内訳を基にした価格の精査を行い、経費節減に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費（大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0018 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
016	艦船修理費（海自）	S40	終了予定なし	77,779	80,800	79,186	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・事業の性質上、競争性を高めることが困難と思われるものについては、競争性のない契約とならざるを得ない事情が本当にあるかどうかを十分に検討し、やむを得ない場合には形式的な競争性を求めるよりは、随意契約とすることも検討し、可能な限り詳細な見積もりを入手してコスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉等により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。	71,560	75,708	4,148	－	執行等改善	艦船の維持補修及び特殊な防衛装備品等の維持補修は極めて高い専門性を必要とすることから、随意契約としているものもある。また、これらに関しては多くが十分に習熟されたものであると考えられるが、引き続き価格面での適正化に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」31,855	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費（大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0019 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
	施策名：1-(1)周辺海空域における安全確保、1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応																										
017	乙類（誘導弾）	S39	終了予定なし	651	635	675	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札、公募を実施しているものの、一者応札、一者応募の状況が見受けられることから、要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにおいて説明し、事業者選定の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに応札者拡大のための検討を実施し、競争性の拡大に努められたい。	289	757	468	－	執行等改善	誘導弾の計器校正に使用する計測器類であり、その特殊性から一者応札や一者応募の状況となっているが、応札者拡大の検討及び競争性の拡大に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0020 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
018	誘導弾	H15	終了予定なし	27,097	27,162	26,805	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・民生品・汎用品の活用、車両・通信機器等の官給品支給及びファミリー化によるコスト低減策に取り組んでいることは評価できる。今後も、効率的な予算執行、予算要求に努められたい。・単位当たりのコストについて、年度間でコストに大きく増減が生じている。その要因について分析し、国民の理解が得られるよう、コストの妥当性（増減理由）についてレビューシート上に記載されたい。	45,450	41,834	▲3,617	－	執行等改善	１１式短距離地対空誘導弾（陸自）と基地防空用ＳＡＭ（空自）のように共通化された構成品を要する誘導弾等を同一ロットで製造することによるコスト削減や、12式地対艦誘導弾の一括調達（２６年度及び２７年度取得予定の装備品を２６年度契約でまとめ買い）によるスケールメリットによるコスト減を取組んだが、その他の誘導弾においても一括調達の実施や市販品の活用等の拡大を図り、効率的な予算要求・予算執行に適切に反映できるように引き続き努める。また、単位当たりのコストについて、各年度間での契約品目数によって大きく増減が生じているが、誘導弾中、代表的な契約「中距離地対空誘導弾」のみを抽出し、各年度での契約品目数の相違から増減が生じているものである。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0021 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
019	９６式多目的誘導弾システム	H8	終了予定なし	1,851	1,851	1,851	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・現在は演習弾の調達が柱であるところ、一括調達をするなど、コスト低減や効率化に向けた工夫の検討に努められたい。・継続案件においても、習熟効果等を考慮した原価査定においてコスト低減を図る余地があるのではないか。	1,230	－	▲1,230	－	執行等改善	誘導弾の一括調達によるスケールメリットや習熟効果等、効率的な予算要求、予算執行が反映できるよう引き続き検討を実施する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0022 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
020	基地防空用SAM	S56	終了予定なし	40	41	43	【コスト低減の取り組みについて】・機材の購入に当たり、入札状況の低調が続くのであれば、価格の妥当性追求に向けて、中長期発注量の提示や製造会社とともに仕様の見直し等を含めてコスト低減に係る検討を進めてほしい。また、企業の製造工程について効率的な製造になっているか、検証することができないか。・車両部分については海外発注も検討の余地があるのではないか。・各自衛隊間における共同調達も進めてほしい。【修理間隔の延伸について】・延伸間隔に係る調査役務について、仮に納入会社以外に調査役務ができないのであれば、官側において厳しい視点において妥当性を検証すべき。【その他】・レビューシートには効率目標、節約目標を入れるべき。	事業内容の一部改善	公開プロセスの議論、有識者からのコメントを踏まえて、適切に対応されたい。	379	20,886	20,507	－	執行等改善	【コスト低減の取り組みについて】・低調な入札状況の車両と器材の購入については、今後とも契約時における業態調査によって製造可能な企業と判断された企業に対して将来計画を含めて当該事業を周知していくほか、企業からの聴き取りを通じて、障害となる仕様等があればその排除を進めていく。また、コスト低減への取り組みについては、これまでも一括調達の推進や工数の削減等について、基地防空用ＳＡＭの製造会社とともにコスト削減を行っており、今後も継続して加工費の低減等を推進していく。更に、製造工程の検証については、予算要求及び原価監査等において製造工程を確認するとともに厳正な監督検査により担当部署と連携を図りながら、今後とも作業効率化の推進に努める。・現行の仕様書においても、車種を限定するものではないため、海外業者の参入も可能であるほか、今後も海外車両の価格動向を継続的に調査し、競争性を確保することによりコストの低減を図る。・これまでも陸空自衛隊双方の所要に応じて共同調達を行ってきたが、更なるコスト削減のための検討を引き続き行う。【修理間隔の延伸について】・調査役務業務は、公募等を利用して広く募集するよう検討を行う。また、調査役務の実施に当たっては、官側が部隊運用及び整備の状況等の視点から契約会社と綿密に調整を行い妥当性を検証する。【その他】・当該事業において効率目標として、まとめ買いを検討している。概算要求において、まとめ買いが認められればその執行状況を踏まえて、レビューシートに効率状況を記載する	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の購入に必要な経費（大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0023 － 00	－ －	－ －		その他			
021	弾薬（航空自衛隊）	S51	終了予定なし	14,405	14,808	14,059	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・平成29年度、30年度の執行において、連続して繰越があることから、計画において整備すべき弾薬の整備が遅れているのではとの印象を持たれることから、事業所管部局による点検欄に繰越理由を記載し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。・一者応募と思われる案件でかつ高落札率となっているものがある。事業の特性上、競争性が働きづらく、競争性による価格の妥当性を高めることは困難であると思われるものについては、透明性を確保したうえで、形式的な競争性を求めるのではなく、随意契約とすることも検討し、可能な限り詳細な見積もり内容を入手しコスト縮減の余地を検証し、原価査定や的確な価格交渉等により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。	3,749	25,367	21,617	－	執行等改善	29年度及び30年度の繰越は、ともに製造に必要な部材の確保が遅れたこと等による製造中の止むを得ない理由であった。これらは弾薬の整備に全く影響ないとは言えないものの、装備品の再配分などの工夫によって影響を最小限に留めた状況である。今後、それぞれの品目の契約状況を確認した上で、適正な調達リードタイムを検討することとしたい。	「新しい日本のための優先課題推進枠」703	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0024 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
022	ﾎｰｸ(誘導武器装備品維持分　部品)	S48	終了予定なし	994	994	870	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・随意契約に当たっては、可能な限り詳細な見積内容を入手し、コスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。引き続き、契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	－	－	－	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、会社見積の精査、適切な原価査定などを実施し、引き続き価格の妥当性向上に努める。また、故障状況のさらなる精査を行い、予算要求段階での計画的な管理を行い、予算要求、予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0025 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
023	短ＳＡＭ（Ｃ）地上器材の定期整備	H19	終了予定なし	1,269	1,269	1,298	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・修理間隔の延伸について、引き続き、適正な整備時期を追求して欲しい。（レビューシートにも効率化への取組として、検討状況等を記載して欲しい。）また、落札結果は高落札率が継続しており、継続事業内容でかつ同企業との契約が継続してるのであれば、習熟効果等を踏まえたより厳格な原価査定においてコスト低減を図る余地があるのではないか。（継続）	662	680	17	－	執行等改善	修理間隔の延伸について、装備品の運用における安全性等を考慮しつつ、引き続き、適正な整備時期を把握するよう努める。また、原価監査等により把握した実績価格を活用して、会社提出の見積書の価格の妥当性及び計算価格における査定の適正性を確認することで、より適正な価格の実現に努めていくと共に、整備作業における診断に係る工数低減などコスト縮減の方策を引続き検討していく。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0026 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
024	短ＳＡＭ（誘導武器装備品維持分　部品）	S57	終了予定なし	780	780	554	・事業の概要にあるとおり、本事業における成果は可動率の維持であると思料する。アウトカム、アウトプットの設定には可動率を指標にすると事業の成果が国民に理解しやすいものになるのではないか。・予算額・執行額欄の直近の執行率を参照すると７１％と低いことから、計画的かつ必要な所要数を年度を前倒して購入できるものであれば、残額を有効に活用しスケールメリットによる低減（改善）効果が期待できる余地があるのではないか。・事業の効率性に関して、「随意契約であるが、整備内容等を確認し、適切な支出であることを把握した。」とのコメントがあるが、どうして適切であると判断できたのかの説明がなく、妥当性を点検できているのか不明である。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	執行等改善	外部有識者の所見を踏まえ、予算・執行部署間の情報共有を促進するとともに、効率的な予算要求及び予算執に努め、低減効果の検討に努める。また、事業の効率性に関して、実施内容のより詳細な状況を追記した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0027 － 00	－ －	－ －		その他			
025	多目的誘導弾ｼｽﾃﾑ地上器材の定期整備	H20	終了予定なし	－	－	－	・支出先リストを参照すると、随意契約（公募）の調達において、高落札率となっており、価格が高止まりになっている印象を持つ。・誘導弾システムといった限定的な市場において、競争性による価格の妥当性追求には限界があることから、仕様の精査、見積精査、原価監査等を通じて、不断に価格の妥当性を追求し、コスト低減を図る余地があるのではないか。・事業の効率性に関して、「随意契約であるが、整備内容等を確認し、適切な支出であることを把握した。」とのコメントがあるが、どうして適切であると判断できたのかの説明がなく、妥当性を点検できているのか不明である。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	1,018	710	▲308	－	執行等改善	外部有識者の所見を踏まえ、会社提出の見積書の価格の妥当性及び計算価格における査定の適正性を確認することで、より適正な価格の実現に努めていく。また、事業の効率性に関して、実施内容のより詳細な状況を追記した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0028 － 00	－ －	－ －		その他			
026	武器修理費(陸自)	不明	終了予定なし	12,090	12,032	11,543	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一括調達の実施、市販品の活用等を図ることによるコスト節減努力は認められる。引き続き、契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を行い、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。・一般競争入札、公募を実施しているものの、一者応札、一者応募の状況が見受けられることから、要因分析を行い、更なる応札者等の拡大の検討を行うとともに、コスト低減や効率化に向けた工夫の検討に努められたい。	17,673	23,296	5,624	－	執行等改善	誘導武器等製造実績会社に対して、製造設備、能力、応札意向等を確認する等、応札者数を増やすための検討をする。また、契約状況における要因分析を引続き実施し、要因分析に基づく改善策の検討に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費（大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0029 － 00	防衛省 新31 － 0002 － 00	－ －		平成28年度対象			

様式1

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度当初予算額 A	平成３２年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
027	弾薬整備等に関わる民間委託	S43	終了予定なし	593	593	566	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・公募を実施しているものの、一者応募の状況が見受けれることから、その要因について検証し、競争性が働く工夫を検討するのか、競争性のなかで価格の妥当性が図られる分野ではなければ契約方式を見直し、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努めることにより注力すべきではないか。	3,199	447	▲2,752	－	執行等改善	本事業は、弾薬整備等の高度な技術を必要とするものであり、競争性の中で価格の妥当性を図ることは困難であるため、原価精査や価格交渉等により価格の縮減に努める。また、価格の適正化に努めた契約実績等を今後の予算要求に反映させる。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0030 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
028	弾薬整備業務のアウトソーシング（総人件費改革関連事業）	H20	終了予定なし	260	260	250	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・公募を実施しているものの、一者応募の状況が見受けれることから、その要因について検証し、競争性が働く工夫を検討するのか、競争性のなかで価格の妥当性が図られる分野ではなければ契約方式を見直し、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努めることにより注力すべきではないか。	－	234	234	－	執行等改善	本事業は、弾薬整備等の高度な技術を必要とするものであり、競争性の中で価格の妥当性を図ることは困難であるため、原価精査や価格交渉等により価格の縮減に努める。また、価格の適正化に努めた契約実績等を今後の予算要求に反映させる。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0031 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
029	地対空誘導弾維持部品	S63	終了予定なし	6,218	6,090	6,147	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・必要な部材等の一括調達などの更なるコスト縮減方策についても検討し、適切な予算要求、執行に努められたい（仮に既に実施している縮減の取組があるのであれば、内容についてレビューシートに記載してもらいたい） ・毎年繰越が発生しており、かつ増額傾向にあり、解消が図られていない状況であるが、要因分析のうえ対策を実施するとともに、事業所管部局による点検欄に繰越理由を記載すべき。	5,830	14,668	8,838	－	執行等改善	本事業で取り扱っている部材の内、一部の部材について、令和元年度予算において長期契約による包括契約を実施することにより、コスト縮減を図っている。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0032 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
030	ﾐｻｲﾙ維持部品	S47	終了予定なし	321	194	490	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・必要な部材等の一括調達などの更なるコスト縮減方策についても検討し、適切な予算要求、執行に努められたい（仮に既に実施している縮減の取組があるのであれば、内容についてレビューシートに記載してもらいたい） ・連続して不用額が発生し、また、３０年度は執行額が予算額を大幅に超過している状況であるため、要因分析のうえ、適切な予算要求、執行に努められたい。また、その理由については「事業所管部局による点検・改善」欄に適切に記載し透明性を図るべき。	－	－	－	－	執行等改善	３０年度の執行額超過については、対領空侵犯措置の回数増加や訓練回数増加などのミサイルが航空機に携行される機会が増えたことに伴い、ミサイルの修理に必要な部品所要が増加したことが考えられる。本事業は平成３０年度が終了年度（別事業へ統合）であるため、本事業におけるコスト縮減の取組や得られた効果については類似事業に反映させることとしたい。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0033 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
031	ﾐｻｲﾙ等修理費	H21	H30	763	726	706	・事業の効率性に関して、「契約実績及び業者見積により確認している」ことを理由として単位当たりコスト等の水準が妥当であるとしているが、妥当性の検討が十分とは見てない。根拠を明確に記載することが望まれる。 ・本事業は平成３０年度が終了年度（別事業へ統合）であるが、本事業におけるコスト縮減の取組や得られた効果については類似事業に適宜反映して欲しい。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	事業の効率性について、類似事業においても引き続き検討することとしたい。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0034 － 00	－ －	－ －		その他			
032	潜水艦（SS）	H22	H30	49,680	49,680	49,155	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	64,125	65,764	1,638	－	予定通り終了	本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映していく。	「新しい日本のための優先課題推進枠」172	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）平成２６年度潜水艦建造費 （大事項）平成２６年度潜水艦建造に必要な経費 （項）平成２７年度潜水艦建造費 （大事項）平成２７年度潜水艦建造に必要な経費 （項）平成２８年度潜水艦建造費 （大事項）平成２８年度潜水艦建造に必要な経費 （項）平成２９年度潜水艦建造費 （大事項）平成２９年度潜水艦建造に必要な経費 （項）平成３０年度潜水艦建造費 （大事項）平成３０年度潜水艦建造に必要な経費 （項）平成３１年度潜水艦建造費 （大事項）平成３１年度潜水艦建造に必要な経費 （項）令和２年度潜水艦建造費 （大事項）令和２年度潜水艦建造に必要な経費 （項）艦船整備費 （大事項）艦船建造に必要な経費	防衛省 － 0035 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
033	掃海艇（MSC）	H23	終了予定なし	510	510	499	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・次期契約時に向けて、競争性が働く見込みがない分野であれば、一般競争における価格の妥当性追求には限界があることから契約方式の妥当性を検証のうえ、価格面に注力した取組を推進し、価格の低減に努めてほしい。	9,048	9,434	385	－	執行等改善	詳細な内訳を入手し、コスト低減の余地がないか検証し、価格交渉等において更なるコスト縮減に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」159	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費 （大事項）艦船建造に必要な経費	防衛省 － 0036 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
034	固定翼哨戒機（Ｐ－１）の取得	H19	終了予定なし	97,398	97,503	97,193	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・次期契約時に向けて、競争性が働く見込みがない分野であれば、一般競争における価格の妥当性追求には限界があることから契約方式の妥当性を検証のうえ、価格面に注力した取組を推進し、価格の低減に努めてほしい。 ・成果目標をみると、達成率が57%と低く、計画的な事業の推進に努めてほしい。	36,779	78,988	42,209	－	年度内に改善を検討	・契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討を行い、価格の低減に努める。 ・中期防に基づき計画的な整備に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」8	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費 （項）航空機整備費 （大事項）特定防衛調達航空機の購入に必要な経費	防衛省 － 0037 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
035	戦闘機（F-15）近代化改修	H16	H34	4,915	3,445	4,812	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・経済性、効率性の取組が推進されており、有効な事業の推進に努めていることがレビューシートから確認できる。 他方、競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。	11,224	6,500	▲4,724	－	現状通り	今後も、原価監査等を通じてコストを精査し、適正な予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0038 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
036	ＳＨ－６０Ｋ搭載電子機器整備用構成品	H15	終了予定なし	1,527	1,270	1,189	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。また、本事業で取り組んだコスト低減方策や効率化について、今後の調達についても引き続き実施するとともに、類似の事業にも適切に反映されたい。	－	242	242	－	年度内に改善を検討	・契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討を行い、効率的な予算要求、予算執行に努める。 ・本事業で取り組んだコスト低減策について、後継機の事業に反映していく。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0039 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
037	Ｐ－１用整備用器材の整備	H19	終了予定なし	153	295	275	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一部の契約について、一般競争入札の結果、一者応札となっているようだが、その要因について検証し、競争性が働く工夫を検討するのか、競争性のなかで価格の妥当性が図れる分野でなければ随意契約とすることも検討し、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努めることにより注力すべきではないか。	4,077	327	▲3,750	－	年度内に改善を検討	・一般競争入札の結果、一者応札となっている契約については、その要因について分析し、改善可能な部分については改善を図っていく。 ・過去の契約実績等を踏まえ、原価精査を行い、価格面での適正化に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0040 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
038	搭載武器支援器材	S47	終了予定なし	96	96	63	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・支出先リストを見ると、落札率が著しく低い契約が見受けられることから、要因分析の上、適切な予算要求に努められたい。 ・引き続き、契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を行い、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	13	－	▲13	－	執行等改善	引き続き、契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を行い、効率的な予算要求及び予算執行に努める。なお、平成３２年度要求は行わなかったため、次年度以降反映する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0041 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
039	F-15用整備器材(搭載)	H17	H30	－	－	1,992	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	・平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・業者見積の精査、工数削減等、本事業で得られた効率化等のノウハウについて他事業においても効率化に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0042 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
040	戦闘機（Ｆ－３５Ａ）の取得	H24	終了予定なし	237,142	240,172	239,006	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・２年連続して繰越があり、計画において整備すべきＦ－３５の整備が遅れているのではとの印象を持たれることから要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに可能な限り効率的な予算執行に努められたい。 ・競争性が働く見込みがないのであれば米軍の取得時期に合わせた調達を行うなど、機体取得に係る経費の更なる低減を図るため、米国政府との価格交渉に努められたい。	15,313	79,721	64,408	－	執行等改善	・繰越については、契約履行において海外からの材料の供給に遅延が生じる等のやむを得ない事情によるものであるが、機体については計画通りに取得できている。引き続き、効率的な予算執行に努める。 ・これまでも、米国政府が主導するまとめ買いに参加し、米国政府と取得時期等を調整することで取得経費の低減に努めているところであり、引き続き取得経費の更なる低減を図るため、米国政府と密接に調整を実施する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費	防衛省 － 0043 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
041	滑空機の性能確認検査	S30	終了予定なし	0.3	0.3	0	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・平成２９年度において、執行率が低いがその理由をレビューシートの事業所管部局による点検欄に記載し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。 また、少額随契においては、見積もり内容の精査による価格の適正化や入札情報を幅広く周知するなど見積もり徴取先の拡大を図り競争性向上により、更なるコスト低減を追求されたい。	0.3	0.3	0	－	現状通り	・少額随意契約については、引き続き見積もり内容の精査による価格の適正化を図るとともに、近隣部隊等の掲示板への公告の貼り出し依頼、HP掲載の公告への仕様書添付、郵便入札の実施など応札者拡大を図ることによる競争性の向上により、更なるコストの低減を図る。 ・また、執行実績の分析等により経費削減を図り、効率的な予算要求・執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0044 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
042	航空機修理部品及び整備用消耗品	S30	終了予定なし	2	2	4	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・一者応札の案件について、「入札に複数業者の参加を見込んでいたが、結果として一者応札となった」とのことだが、入札に参加可能な業者に参加しなかった理由についてヒアリングを行うなど十分に要因分析を行い、応札者数の拡大を図る方策を検討し、競争性確保に努められたい。 また、少額随契においては、見積もり内容の精査による価格の適正化や入札情報を幅広く周知するなど見積もり徴取先の拡大を図り競争性向上により、更なるコスト低減を追求されたい。	2	2	▲0	▲ 0.21	縮減	・応札者拡大に向け、入札参加可能な業者が参加しなかった理由について要因分析を行うとともに、近隣部隊等の掲示板への公告の貼り出し依頼、HP掲載の公告への仕様書添付、郵便入札の実施など進めており、引き続き応札者拡大に向けての検討を行う。 ・また、少額随意契約については見積内容の精査による価格の適正化や応札者拡大施策等による競争性の向上等を実施し、コストの低減を図った結果、令和２年度概算要求においては、令和元年度予算に比べて21千円縮減させている。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0045 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
043	定期修理	S30	H30	153	153	94	・事業概要や自己点検の記載が丁寧であり、判断の根拠がわかりやすいものとなっていた。 ・本事業は平成３０年度が終了年度（別事業へ統合）であるが、本事業におけるコスト縮減の取組や得られた効果については類似事業に適宜反映して欲しい。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・本事業で得られたコスト縮減の取組や得られた効果については、類似事業に反映していく。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0046 － 00	－ －	－ －		その他			
044	Ｔ７００エンジンの整備	H16	終了予定なし	516	516	607	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・次期契約時に向けて、競争性が働く見込みがない分野であれば、一般競争における価格の妥当性追求には限界があることから、価格面に注力した取組を推進し、価格の低減に努めてほしい。 ・整備間隔の延伸の検討状況等について、レビューシート「その他のコスト削減や効率化の工夫」欄に記載し、健全化に係る透明性を高めてほしい。	708	160	▲548	－	年度内に改善を検討	・次期契約時に向けて、価格面での妥当性の検討や効率化の取り組みに努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0047 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
045	緊急射出装置用部品	S47	終了予定なし	2,427	2,091	4,602	・平成30年度の執行額が予算額を大幅に超過しているが、その要因分析を行い、その結果をレビューシートに記載することにより執行の妥当性について、国民の理解が得られるようにするとともに、適切な予算計上及び予算執行に努められたい。 ・ライセンスに基づく随意契約については、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努められたい。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	2,048	3,060	1,011	－	年度内に改善を検討	平成30年度の執行額が予算額を大幅に超過している要因は、輸入部品の多くで製造単価が上昇したことが要因である。引き続き、見積金額の精査を実施し、適切な予算計上及び予算執行に努めたい。また、ライセンスに基づく随意契約について、原価精査等に努めてまいりたい。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0048 － 00	－ －	－ －		その他			
046	空中給油・輸送機（ＫＣ－４６Ａ）の取得	H28	終了予定なし	20,319	20,319	20,423	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・米空軍の取得時期に合わせた調達、また、まとめ買いを行うことにより経費の縮減に努めていることは評価できる。引き続き、米側との価格交渉により、取得価格の低減・抑制に努められたい。	13,007	17,323	4,316	－	現状通り	令和２年度予算要求において、４機一括取得（まとめ買い）を行うとともに、初度部品等の取得時期について精査を行い経費の縮減を図る。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費	防衛省 － 0049 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			

施策名：1-(1)周辺海空域における安全確保、1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(3)弾道ミサイル攻撃への対応

様式1

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事　業　名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度当初予算額 A	平成３２年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況	反映状況 反映内容	備　考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
047	F-15用端末装置の取得	H15	H34	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・一括納入を実施し、コスト削減が図られたことは評価できる。引き続き、米側との価格交渉により、取得価格の低減・抑制に努められたい。	－	－	－	－	現状通り	・引き続き、米側との価格交渉により、取得価格の低減・抑制に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0050 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
048	地対空誘導弾ﾍﾟﾄﾘｵｯﾄ	S63	終了予定なし	58,480	58,480	58,394	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ライセンスに基づく随意契約については、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努められたい。また、引き続き、契約実績の分析及びコスト低減施策の検討等を行い、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	2,885	137,609	134,724	－	執行等改善	効率的な予算要求及び執行のため、コスト低減に向けた価格精査及び価格交渉を実施	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）人事教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0051 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
049	通信機器購入費（空自）	S47	終了予定なし	33,602	40,620	39,245	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・連続して繰越があり、計画において整備すべき固定式３次元レーダ装置等の整備が遅れているのではとの印象を持たれることから要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに可能な限り効率的な予算執行に努められたい。・一括調達をするなど、コスト低減や効率化に向けた工夫の検討に努められたい。	48,491	29,083	▲19,408	－	執行等改善	・我が国周辺空域の常続的な警戒監視態勢を維持するため、本事業が計画期間内で完了できるよう引き続き契約相手方への働きかけに努める。・一括調達等によりコスト低減を図った予算執行に努め、更なる効率化及び合理化を検討していく。	「新しい日本のための優先課題推進枠」1,037	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0052 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
050	ﾍﾟﾄﾘｵｯﾄ･ｼｽﾃﾑの機動展開能力の確保	H21	H31	－	－	－	・「点検・改善結果」において、「民生品ベースの車両を取得することにより、単価の低減を図っていく」と記載があるが、これは、装備品の「ファミリー化（陸上自衛隊と共通の車両）」を行うことによりコスト削減を図ったことであり、そういった記載がないと国民には、コスト低減の取組が伝わらないのではないか。また、装備品の「ファミリー化」を行わなかった場合と比較し、節減額を試算し示すべきではないか。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	外部有識者の所見を踏まえ装備品のファミリー化としたことを今後明確化していく。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0053 － 00	－ －	－ －		最終実施年度			
051	BMD任務用機動展開用車両の取得(BMD)	H22	H34	131	131	135	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・落札率がほぼ100%となっているが、その理由についてレビューシートに記載し、価格の妥当性について国民の理解が得られるようにすべき。　また、一者応札については、納地が離島であったため一者応札となったとのことであり、やむを得ないものと考えられるが、引き続き、競争性確保に向けて推進されたい	2	13	11	－	執行等改善	・契約実績の分析を進め、価格の適正化を図る。	「新しい日本のための優先課題推進枠」1	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0054 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
052	ﾍﾟﾄﾘｵｯﾄ定期修理費	H7	終了予定なし	276	276	6,075	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・平成29年度の執行率が536%、平成30年度の執行率が2201%と執行額が予算額を大幅に上回る状態が続いている。その要因を分析し、その結果をレビューシートに記載することにより、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに、分析結果を踏まえ適切な予算計上及び予算執行に努められたい。　ライセンスに基づく随意契約については、習熟効果等を考慮した原価査定を行うなど、更なる価格面での適正化を図られたい。	－	－	－	－	執行等改善	ペトリオット定期修理については、現在、他の事業と整理統合中であり、予算額及び執行額の計上時に齟齬が発生したことから大きな乖離が生じた。なお、ペトリオット定期修理費単独で執行率を確認した結果、101.1%であった。また、習熟効果等を考慮した原価査定を行っているものの、更なる価格面での適正化を追求する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0055 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
053	地対空誘導弾構成品修理費	H7	終了予定なし	1,534	583	2,417	・平成30年度の執行額が予算額を大幅に超過しているが、その要因分析を行い、その結果をレビューシートに記載することにより執行の妥当性について、国民の理解が得られるようにするとともに、適切な予算計上及び予算執行に努められたい。また、繰越の理由等について、レビューシート上で明らかにし、国民への説明責任を果たすべき。・ライセンスに基づく随意契約については、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努められたい。	事業内容の一部改善	ライセンスに基づく随意契約については、習熟効果等を考慮した原価査定を行うなど、更なる価格面での適正化を図られたい。	1,338	549	▲789	－	執行等改善	ペトリオット構成品修理費については、現在、他の事業と整理統合中であり、予算額及び執行額の計上時に齟齬が発生したことから大きな乖離が生じた。なお、ペトリオット構成品修理費単独で執行率を確認した結果、103.4%であった。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0056 － 00	－ －	－ －		その他			
	施策名：1-(1)周辺海空域における安全確保、1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(3)弾道ミサイル攻撃への対応、1-(4)宇宙空間及びサイバー空間における対応																										
054	生物防護器資材	H17	終了予定なし	296	296	263	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・次期契約時に向けて、競争性が働く見込みがない分野であれば、一般競争における価格の妥当性追求には限界があることから契約方式の妥当性を検証のうえ、価格面に注力した取組を推進し、価格の低減に努めてほしい。・整備間隔の延伸の検討状況等について、レビューシート「その他のコスト削減や効率化の工夫」欄に記載し、健全化に係る透明性を高めてほしい。	287	58	▲228	－	執行等改善	消耗品の所要数を再検討し、概算要求額229百万円の低減を実施	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0058 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
	施策名：1-(1)周辺海空域における安全確保、1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(3)弾道ミサイル攻撃への対応、1-(4)宇宙空間及びサイバー空間における対応、1-(5)大規模災害等への対応																										
055	ﾎｰｸ(誘導武器装備品維持分　役務)	S48	終了予定なし	526	526	214	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度（30年度。41%）や予算額を超過している年度があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。・次期契約時に向けて、競争性が働く見込みがない分野であれば、一般競争における価格の妥当性追求には限界があることから契約方式の妥当性を検証のうえ、価格面に注力した取組を推進し、価格の低減に努めてほしい。	－	－	－	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、今後とも契約方式の妥当性の検証を行い、効率的な予算執行に努める。また、装備品の故障状況により、ホーク（誘導武器装備品維持分　役務）との兼ね合いで執行率が増減する場合もあるが、故障状況のさらなる精査を行い、予算要求段階での計画的な管理を行い、予算・執行の効率化に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0059 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
056	自動警戒管制組織の弾道ﾐｻｲﾙ対処機能(BMD) 自動警戒管制組織の航空警戒管制機能の近代化	H14	終了予定なし	534	534	534	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・引き続き、契約実績を分析し更なるコスト低減方策の検討等を行い効率的な予算執行、予算要求に努められたい。・公募を実施しているものの、一者応募の状況が見受けられる。事業の性質上競争性を高めることが困難と思われるものについては、競争性のない契約とならざるを得ない事情が本当にあるかどうかを十分に検討し、止むを得ない場合には形式的な競争性を求めるよりは、随意契約とし、価格交渉や原価精査等による価格面での適正化に努めることも検討してはどうか。	4,038	3,703	▲335	－	執行等改善	・継続して契約実績の分析、さらなるコスト低減方策を検討し、効率的な予算執行、予算要求に努める。・仕様に応じ競争性のない契約とならざるを得ない事情が本当にあるかどうかを十分に検討する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0060 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
057	基地警備関連装備品	S63	終了予定なし	39	204	199	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・仕様改正、一括調達等を行い、予算執行の効率化に努めていることが認められる。引き続きコスト低減方策の検討等を行い効率的な予算要求、予算執行に努められたい。・他方、１者応札の状況も見受けられることから、引き続き要因の分析と結果を踏まえた改善に努める必要がある。	232	309	77	－	執行等改善	・１者応札の状況を改善するため、要員を分析し競争性を確保する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0061 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
058	武器購入費（海自）	S47	終了予定なし	69,452	69,442	41,441	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・30年度は、執行率が60%と低いことから、要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに適切な予算要求、執行に努められたい。・随意契約にあたっては、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努められたい。また、引き続き、契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を行い、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	50,718	56,472	5,754	－	年度内に改善を検討	・一者応札・落一となる理由について、艦船・航空機関連部品のように、安全性及び信頼性等を確保するため、関連法令やメーカーとの技術提携等に基づいた部品が必要なため扱える企業が限られてしまう場合が多くなりがちであるが、代替品の使用可否等について情報収集を行い、応札者の拡充に努めるとともに適正な価格競争を促進する。・艦艇及び航空機搭載武器等の調達は対象商品目の希少性、専門性により随意契約になっていると考えられるが、引き続き、仕様書の見直し等を実施していき、競争性の拡大に取り組んでいく。	「新しい日本のための優先課題推進枠」504	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0062 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
059	諸器材購入費（海自）	S47	終了予定なし	5,522	6,273	6,900	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・繰越の状況が継続していることから要因分析のうえ、その理由について事業所管部局による点検欄等のレビューシート上において説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに可能な限り効率的な予算執行に努められたい。・まとめ買いや民生品の活用、修理間隔の延伸等のコスト削減努力が行われることは評価できる。他方で全体コスト削減の状況についてレビューシートに記載することにより、効率化への取組がさらに国民に分かりやすくなるのではないか。	6,650	7,169	519	－	年度内に改善を検討	・繰越要因についてその理由を「事業の効率性」の欄に記載した。・契約実績の分析を実施するとともに、各事業に応じて民生品の採用や仕様書等の見直し及びまとめ買いの可能性の追求等を実施し、今後も更なる競争性の拡大、品目、数量の効率化に努めるとともに、事業の執行にあたっては、仕様書等の見直し、修理間隔の延伸、契約実績の分析及びコスト低減について検討し、更なる効率的な予算執行、予算要求に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」711	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0063 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
060	武器修理費（空自）	S47	終了予定なし	22,859	22,824	14,284	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・契約方式について、一般競争入札の結果、１者応札となっているようだがその要因について検証し、競争性が働く工夫を検討するのか、競争性のなかで価格の妥当性が図られる分野ではなければ契約方式を見直し、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努めることにより注力すべきではないか。・継続案件においても、習熟効果等を考慮した原価査定においてコスト低減を図る余地があるのではないか。また、必要な部材等の一括調達などの更なるコスト縮減方策についても検討し、適切な予算要求、執行に努められたい（仮に既に実施している縮減の取組があるのであれば、内容についてレビューシートに記載してもらいたい）	15,794	19,642	3,849	－	年度内に改善を検討	・１者応札の一般競争入札について、仕様等を適宜見直し競争性を確保できているかどうかを十分に検討し、適正な執行に努める。・随意契約については、実績や今後の調達の継続性を考慮した上で、習熟効果等を反映させる等してコスト縮減に努める。・ペトリオットミサイルの部品の一部を、長期包括契約することにより、コスト縮減を図っている。	「新しい日本のための優先課題推進枠」2,907	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0064 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
061	武器修理費（海自）	S43	終了予定なし	42,830	43,464	44,432	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・平成28年度、29年度の執行において、連続して繰越があることからその理由をレビューシートに記載し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。　一般競争入札の案件で、一者応札かつ高落札率の案件が見受けられる。要因について分析し、その結果をレビューシートに記載することにより支出先選定の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに、その分析結果を踏まえ応札者拡大のための検討を行い、競争性の確保に努められたい。	46,862	34,911	▲11,951	－	年度内に改善を検討	・繰越要因についてその理由を「事業の効率性」の欄に記載した。・契約実績の分析を実施するとともに、各事業に応じて民生品の採用や仕様書等の見直し及びまとめ買いの可能性の追求等を実施し、今後も更なる競争性の拡大、品目、数量の効率化に努めるとともに、事業の執行にあたっては、仕様書等の見直し、修理間隔の延伸、契約実績の分析及びコスト低減について検討し、更なる効率的な予算執行、予算要求に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」10,179	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0065 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
062	諸器材等維持費（海自）	S47	終了予定なし	18,099	18,851	18,771	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札の案件で、一者応札かつ高落札率の案件が見受けられる。要因について分析し、その結果をレビューシートに記載することにより支出先選定の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに、その分析結果を踏まえ応札者拡大のための検討を行い、競争性の確保に努められたい。　随意契約かつ落札率が100%となる状況が見受けられることから、随意契約に当たっては、可能な限り詳細な見積内容を入手し、コスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。	20,072	31,051	10,980	▲14	縮減	・一者応札となる理由について、艦船・航空機関連部品のように、安全性及び信頼性等を確保するため、関連法令やメーカーとの技術提携等に基づいた部品が必要なため扱える企業が限られてしまう場合が多くなりがちであるが、代替品や民生品の使用可否等について情報収集に努める。・高落札率となっている理由として、見積を取得する段階から価格の妥当性について精査を実施し、所要に資するための適切な予算要求を行い、適正な予算の執行に努めているため妥当であると思慮している。・随意契約にあたっては、原価精査や価格交渉による価格面での適正化を更に追求するとともに、契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を行い、効率的な予算要求、予算執行に努める。・執行実績を踏まえた上で、仕様内容、要求単価等を見直し、14,069千円の縮減を図ることが出来た。	「新しい日本のための優先課題推進枠」294	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0011 － 00	防衛省 － 0066 － 00	－ －		平成29年度対象	○		
063	部隊実験	H27	終了予定なし	257	257	219	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・単位当たりコストをみると「入札参加者をより多く募り」とあるが、実績として複数社の参入を得ているのか。複数社の参加がなければ、競争性において、価格の妥当性を追求することは困難であることから、価格の妥当性について分析し、適正価格を追求する余地があれば、見積精査等において更なる経費節減を追求されたい。　また、それらの取組をレビューシートに記載し、より透明性を確保すべき。・簡易トイレ等の調達において、同類の少額随契の調達をまとめ一般競争契約にすることにより、価格低減を図る余地がある。	229	362	133	－	執行等改善	・平成３０年度部隊実験、令和元年度部隊実験においては、複数企業から提案受けをし、最も費用対効果の高い契約を実施している。また、令和２年度要求は３０年度実績に基づき要求しており、コスト削減を踏まえた要求と判断しているが、ご指摘の通り、引き続き適正価格の追求に努める。・同様の取り組みは令和２年度部隊実験においても継続する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）　武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0067 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			

様式１

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度当初予算額 A	平成３２年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
064	９２式地雷原処理車（施設器材のオーバーホール）	H17	H37	254	254	154	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度（30年度、61%）や予算額を超過している年度があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。 ・単位当たりコストをみると「公募により参加者を募り競争性を確保しており」とあるが、実績として複数社の参入を得ているのか、複数社の参加がなければ、競争性において、価格の妥当性を追求することは困難であることから、価格の妥当性について分析し、適正価格を追求する余地があれば、見積精査等において更なる経費節減を追求されたい。 　また、それらの取組をレビューシートに記載し、より透明性を確保すべき	137	137	－	－	年度内に改善を検討	引き続き、公募により入札参加者を募り、競争性により見約額の削減に努めていく。オーバーホールにおいては回収品を使用する等コスト削減に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省　－　0068　－　00	－　－	－　－		平成30年度対象			
065	９１式戦車橋（施設器材のオーバーホール）	H18	H38	388	388	167	・不算額・執行額を参照すると30年度の執行率は43%と低く、他方、30年度のアウトカムである可動率は86.4%と100%を達成していない。財源を有効に活用し装備品を有効に活用できるよう工夫する余地があるのではないか。 ・支出先リストを参照すると、随意契約（公募）の調達において、高落札率となっており、価格が高止まりになっている印象を持つ。また、「事業所管部局による点検・改善」欄の単位当たりコストを参照しても、費用対効果はわかりづらく価格の妥当性検証が不足している印象を持つ。 ・競争性が働く見込みがないのであれば、見積精査等の価格面に注力し、より価格の妥当性を高める分析を進める余地があるのではないか。	事業内容の一部改善	・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。 ・単位当たりコストをみると「公募により参加者を募り・・」とあるが、実績として複数社の参入を得ているのか、複数社の参加がなければ、競争性において、価格の妥当性を追求することは困難であることから、価格の妥当性について分析し、適正価格を追求する余地があれば、見積精査等において更なる経費節減を追求されたい。	－	260	260	－	年度内に改善を検討	この装備品については、製造請け負いの契約であり、カタログ購入と違い契約相手方のみ製造できるため、なかなか契約額を下げることは難しい状況である。しかし、契約相手方と調整をし、単なる修理等においては部品を通常より多めに製造する分、単価低減できるのではと調整中である。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省　－　0069　－　00	－　－	－　－		その他			
施策名：1-(1)周辺海空域における安全確保、1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(3)弾道ミサイル攻撃への対応、1-(4)宇宙空間及びサイバー空間における対応、1-(5)大規模災害等への対応、1-(6)情報機能の強化																											
066	武器車両等の整備維持	S30	終了予定なし	6	6	6	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一者応札の案件について、「入札に複数業者の参加を見込んでいたが、結果として業者が入札に不参加だったため一者応札になった」とあるが、入札に参加可能な業者に参加しなかった理由についてアリングを行うなど、十分に要因分析を行い、競争性の確保に努められたい。 　また、随意契約に あたっては、見積もり内容の精査を十分に行い価格の適正化に努められたい。	6	7	1	▲ 0.288	縮減	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き、執行実績の分析等を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。 また、執行実績を踏まえた上で、概算要求単価等を見直し、288千円の縮減を図ることができた。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省　－　0004　－　00	防衛省　－　0079　－　00	防衛省　－　0092　－　00		平成30年度対象			
067	新規車両購入	H18	終了予定なし	4	1	－	・レビューシートを参照しても必要性は理解できるものの、経済性に係る工夫や事業の有効性（波用の工夫により効果を拡大できる余地があるか）が確認できない。 ・経済性・有効性を高めるための検証を進め、また、国民への説明責任を果たすうえでも経済性・効率性・有効性に係る取り組みは積極的にレビューシートに記載すべき。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	30	54	23	－	執行等改善	外部有識者の所見を踏まえ、経済性・有効性を高めるための検証を進め、更なるコスト低減方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努めるとともに、レビューシートへの反映を行っていく。	「新しい日本のための優先課題推進枠」7	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省　－　0070　－　00	－　－	－　－		その他			
068	甲類（戦車）	H2	終了予定なし	4,105	4,105	4,089	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・事業の性質上、競争性を高めることが困難と思われるものについては、競争性のない契約とならざるを得ない事情が本当にあるかどうかを十分に検討し、やむを得ない場合には形式的な競争性を求めるよりは、随意契約とすることも検討し、可能な限り詳細な見積もりを入手しコスト縮減の余地を検証し、販売価格査定や適切な価格交渉等により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。	11,173	7,401	▲3,772	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、契約方式について精査するとともに、さらなるコスト低減方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省　－　0071　－　00	－　－	－　－		平成28年度対象			
069	甲類（火砲）	S62	終了予定なし	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札により入札参加者を多く募り競争性の確保に努めているとのことであるが、入札の結果随意契約となってるのについて、その理由をより明確な形での説明を行い、その結果をレビューシートに記載することにより支出先の選定及び価格の妥当性について国民の理解を得る必要がある。	6,088	6,554	465	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、入札の結果随意契約の要因について、企業等への聞き取り、市場調査を実施し、競争性の拡大に努めるとともに、更なるコスト低減方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省　－　0072　－　00	－　－	－　－		平成30年度対象			
070	甲類（装甲車）：９６式装輪装甲車	H8	終了予定なし	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・後継装備を含めの次期契約の際には、まとめ買いによるスケールメリット、これまでの製造における習熟効果を加味した価格や民生品を活用できるよう仕様を変更する等のコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	－	－	－	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、後継装備を含めた契約の際は、企業等への聞き取り、市場調査を実施し競争性の拡大に努めるとともに、コスト低減方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省　－　0073　－　00	－　－	－　－		平成28年度対象			
071	乙類（化学器材）	H17	終了予定なし	1,283	1,354	1,223	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・随意契約については、主に一般競争入札の結果によるものとのことだが、落札率が100%のものが多く見受けられる。要因について分析し、その結果をレビューシートに記載することにより支出先選定の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに、その分析結果を踏まえ応札者拡大のための検討を行い、競争性の確保に努められたい。 　毎年度、予算を繰り越していることから、要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに可能な限り効率的な予算執行に努められたい。	2,843	2,522	▲321	－	執行等改善	新改編部隊の所要を検討し、概算要求額321百万円の低減を実施	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省　－　0074　－　00	－　－	－　－		平成28年度対象			
072	乙類（通信器材）	S55	終了予定なし	9,782	7,005	10,793	・点検結果で記載された、「仕様の見直し」「一括調達」「競争性の確保」「民生品の活用」は評価できる。 ・他方、支出先リストを参照すると、一者応札の調達において、高落札率となっており、価格が高止まりになっている印象を持つ。競争性が働く見込みがないのであれば、随意契約へ移行し見積精査等の価格面に注力したほうが経済性・事務の効率化が高まるのではないか。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	28,526	9,661	▲18,865	－	現状通り	一般競争入札において、競争性が働く見込みがない場合、随意契約へ移行し見積精査等の価格面に注力する等、経済性・事務の効率化を高めるための検討の実施に努める。	－	防衛装備庁 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省　－　0075　－　00	－　－	－　－		その他			
073	乙類（施設器材）	H17	終了予定なし	10,231	8,798	13,191	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度（29年度、24%）や予算額を超過している年度があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。 ・単位当たりコストをみると「原則一般競争入札」とあるが、すべての調達において複数社の参入を得ているのか、複数社の参加がなければ、競争性において、価格の妥当性を追求することは困難であることから、価格の妥当性について分析し、適正価格を追求する余地があれば、見積精査等において更なる経費節減を追求されたい。 　また、それらの取組をレビューシートに記載し、より透明性を確保すべき。 ・高落札率が多く散見されることから、競争性を高めるための工夫や見積精査に当たり、直近の実績単価を参考とするだけでなく、詳細内訳を入手し、コスト低減の余地がないか検証し、価格交渉等において更なるコスト縮減に努めて欲しい。	3,126	1,819	▲1,307	▲ 0.038	縮減	防衛力整備及び予算の制約の許容する範囲の中で同一品目の同一年度での予算要求の実施に努める等のコスト低減を図るとともに、効率的な予算要求・執行に努めていく。 執行実績を踏まえたたで、仕様内容等を見直し、38千円の縮減を図ることができた。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省　－　0076　－　00	－　－	－　－		平成29年度対象			
074	軽装甲機動車	H15	H31	14	14	9	・活動指標及び活動実績（アウトプット）では、取得数量が30年度は1両となっているが、「事業所管部局による点検・改善の事業」欄の「事業の有効性」において「車両の契約に至らず、一部成果目標に見合ったものとなっていない」と説明しており、整合性が取れていないのではないか。また、本事業は、今年度が終了年であるが、車両を取得していないのであれば、運用に影響があるのではないか。 ・単位当たりコストについて、年度により両当たりの取得額に差異が見られるが、その要因を分析し、理由をレビューシートで説明するべきではないか、また、支出先リストを参照すると、落札率が高いことから、その要因について分析し、その理由をレビューシート上で説明すべきではないか。	終了予定	・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。 ・単位当たりコストをみると「公募により参加者を募り・・」とあるが、実績として複数社の参入を得ているのか、複数社の参加がなければ、競争性において、価格の妥当性を追求することは困難であることから、価格の妥当性について分析し、適正価格を追求する余地があれば、見積精査等において更なる経費節減を追求されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	本事両は、実績として、１社の参入であるものの、価格については、他自衛隊における取得数量により、価格の変動が発生する。そのため、今後、同種の装備品を取得する場合は、他自衛隊の要求数量を踏まえて数量を精査し、価格低減が図れる年度に取得数量を増加させる等により、事業全体の価格低減を追求する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省　－　0077　－　00	－　－	－　－		最終実施年度			
075	諸器材購入費等（統幕）	H18	終了予定なし	4	4	2	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・使途を見ても車両の付属品の購入とのことだが、同施策の他の事業と統合して事業単位とすることができないのか。 　本事業が上位施策を達成するとて車執事業として管理することが効果的な検証につながるものでなければ、同施策の事業と統合し事業単位とすべき。（継続） ・執行率が低い年度（30年度、50%）があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。	99	19	▲80	－	執行等改善	一部の車両関連事業を統合したため、本事業単位による検証を継続しつつ、他の事業単位との統合について検討を進める。 30年度の執行率については、車両修理が当初予測よりかなくなったこと等に起因するものであることを確認。 引き続き、実績等を踏まえ、計画的な予算計上、執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」11	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省　－　0078　－　00	防衛省　－　0087　－　00	－　－		平成27年度対象			
076	基地通信機器の損耗更新	S55	終了予定なし	239	162	264	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行額が予算額を超過しているが、要因分析のうえ、適切な予算要求、執行に努められたい。また、執行額が予算額を超過している理由については、レビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。 ・仕様改正、一括調達等を行い、予算執行の効率化に努めていることが認められる。引き続きコスト低減方策の検討等を行い効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	－	5	5	－	執行等改善	執行額が予算額を超過した要因については、可動率の増加、更に器材の老朽化や十分な予算の確保が出来ていないものと分析している。 　また、引き続きコスト低減方策の検討等を行うとともに効率的な予算要求、予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省　－　0080　－　00	－　－	－　－		平成30年度対象			
077	通信機器購入費（海自）	不明	終了予定なし	31,192	30,658	25,583	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・繰越の状況が継続していることから、計画において整備すべきものが整備されていないのではとの印象を持たれることから、事業管理を適切に進めるべき。 ・一者応札・一者応募の分析を行い、更なる応札者等の拡大の検討を行うとともに、コスト低減や効率化に向けた工夫の検討に努められたい。	30,778	50,294	19,516	－	年度内に改善を検討	・繰越要因についてその理由を「事業の効率性」の欄に記載した。 ・一者応札・一社応募となる理由について、艦船・航空機関連部品のように、安全性及び信頼性等を確保するため、関連法令やメーカーとの技術提携等に基づいた部品が必要なため応えを企業が限られていしまう場合が多くなりがちであるが、代替品の使用可否等について情報収集を行い、応札者の拡充に努めるとともに適正な価格競争を促進する。 ・艦船及び航空機搭載武器等の調達は対象商品の希少性、専門性により随意契約になっていると考えられるが、引き続き、仕様書の見直し等を実施していき、競争性の拡大に取り組んでいく。	「新しい日本のための優先課題推進枠」164	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省　－　0081　－　00	－　－	－　－		平成28年度対象			
078	諸器材購入費（空自）	不明	終了予定なし	28,005	27,637	27,694	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・繰越の状況が継続していることから、要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに可能な限り効率的な予算執行に努められたい。 ・一者応札・一者応募の分析を行い、更なる応札者等の拡大の検討を行うとともに、コスト低減や効率化に向けた工夫の検討に努められたい。	20,432	21,878	1,446	－	執行等改善	・繰越は、原材料又は製造等に必要な部品の取得に係る期間が民需の増加により当初計画より長く要することとなったもの や、関連事業の遅延があり、その遅延を踏まえた計画変更が生じたもの等、いずれも避けがたい理由からやむを得ず繰り越しているものである。しかしながら、計画的に調達を実施していく観点から、引き続き、繰越を可能な限り抑えるよう努める。また、一者応札・一者応募については、引き続き適宜、仕様書等を見直すなど、応札業者拡充に努めるとともに、事業の特性等に応じた事業内容の合理化及び要求内容の精査を行いつつ、透明性を確保したうえで価格交渉による更なるコスト削減に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」866	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省　－　0082　－　00	－　－	－　－		平成28年度対象			

様式1

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度当初予算額 A	平成３２年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況	反映状況 反映内容	備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
079	中央指揮システムの個別維持（中央システム）	H13	終了予定なし	2,848	2,848	2,841	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・令和元年度は機材換装時期とのこと、システムの借料等は機材の更新時には既存企業以外の事業者の参入の見込みがあることから、既存の取り組みである公告期間の延長や入札情報の幅広い周知等だけでなく、応札者拡大のための検討を行い、新規参入の確保等による競争性の確保に努められたい。	3,345	2,581	▲764	－	執行等改善	・一括調達によるコスト削減の検討及び契約実績等を分析し、予算要求に反映した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0083 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
080	中央指揮システムの全体維持	H13	H31	1,099	1,099	940	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	・平成31年度で終了する事業ではあるが、一者応札・一者応募の分析を行い、更なる応札者等の拡大の検討を行う、要求内容の精査、といった本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	802	－	▲802	－	予定通り終了	類似の事業に反映する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0084 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象	○		
081	中央指揮システムの個別維持（専用通信）	H12	終了予定なし	808	808	797	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札を実施しているものの一者応札の状況が見受けられることから、要因について分析するとともに、引き続き公告期間の延長や入札情報の幅広い周知等の取組を行い、競争性の向上に努められたい。 随意契約にあたっては、原価精査や価格交渉による価格面での適正化をさらに追及されたい。また、現在実施している効率化のについては、更なる効率化のための取組を推進されたい。	963	1,799	836	－	執行等改善	引き続き、契約実績等の分析及びコスト低減方策の検討等を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」381	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0085 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
082	通信維持費（統幕）	H18	終了予定なし	7,399	7,399	6,352	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札において、一者応札かつ落札率100%となっているものがある。十分な要因分析を実施し、その結果をレビューシートに記載することにより支出先選定の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに、その分析結果を踏まえ応札者拡大のための検討を行い、競争性の確保に努められたい。 随意契約にあたっては、原価精査や価格交渉による価格面での適正化をさらに追及されたい。また、現在実施している効率化のについては、更なる効率化のための取組を推進されたい。	9,357	8,159	▲1,198	▲3	縮減	・事業要求（期間、数量）を見直すとともに、価格及び事業内容等の精査により、3,280千円の低減を実施した。 ・応札者拡大による競争性の確保については、引き続き方策を検討し、競争性の確保に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」787	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0086 － 00	防衛省 － 0146 － 00	－ －		平成29年度対象			
083	中央指揮所の施設整備の維持	H12	終了予定なし	116	116	107	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・１者応札は積算単価が高額傾向となることから、競争性を高めるための工夫（要因分析とその改善は確実に実施し）や見積精査に当たり、直近の実績単価を参考とするだけでなく、詳細な内訳を入手し、コスト低減の余地がないか検証し、価格交渉等において更なるコスト縮減に努めて欲しい。	171	186	16	－	執行等改善	引き続き、公告期間の確保や入札情報の周知により１者応札を避けるよう努める。 また、詳細な見積内訳を入手するとともに、その内容を精査し、適切な価格交渉を実施し、コスト縮減に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0088 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
084	諸器材等維持費（統幕）	H18	終了予定なし	10	10	6	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度（30年度。56%）があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。 ・トナー等の汎用品の調達に当たっては、最寄りの調達機関と共同調達を進める余地がないか検討してほしい。	35	34	▲1	▲ 0.223	縮減	・30年度の不用額については、器材故障が当初予測よりも少ないこと等に起因するものであることを確認。 ・共同調達の可能性等の検討も含め、引き続き効率的な予算執行に努めていく。 ・執行実績を踏まえた上で、仕様内容の見直しにより、223千円の縮減を図ることができた。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0089 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
085	車両の維持整備	H18	終了予定なし	6	6	6	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・使途を見ても車両の維持・消耗品の購入とのことだが、同施策の他の事業と統合した事業単位とすることができないのか。 本事業が上位施策を達成する上で単独事業として管理することが効果的な検証につながるものでなければ、同施策の事業と統合した事業単位とすべき。 ・一般競争入札の結果１者応札となっている。要因分析・その参入障壁の排除に取り組み、一者応札の改善を図る余地があるのではないか。	7	7	－	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、１者応札について、十分な要因分析を行い、応募者数の拡大を図り効率的な予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0090 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
086	気象通信端末の維持整備	H20	終了予定なし	0.5	0.483	1	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・通信端末の借料等は、機材の更新時には既存企業以外の事業者の参入の見込みがあることから、新規参入の確保に努められたい。	－	－	－	－	現状通り	類似事業等において、機材の更新時期等に競争性を確保した効率的な予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0091 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
087	火器・装軌車等の修理（装軌車等外注整備）	H17	終了予定なし	10,491	10,491	10,697	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・開発事業者が関連技術・極めて高い専門性を必要とするなど、やむを得ず随意契約を行わなければならない場合には、習熟効果等を考慮した原価査定や価格交渉等による価格面での適正化に努めるれたい。	13,669	10,988	▲2,681	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、厳格な原価査定や適正な価格交渉を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0093 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
088	火器関係（部品・外注費）、装軌車関係（部品費）	H17	終了予定なし	8,031	8,066	6,437	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札、公募を実施しているものの、一者応札、一者応募の状況が見受けられることから、要因分析を行い、更なる応札者等の拡大の検討を行うとともに、コスト低減や効率化に向けた工夫の検討に努められたい。	9,178	13,840	4,662	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、競争性拡大の検討を実施し、企業等への聞き取り・市場調査によりコスト低減方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0094 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
089	火器・装軌車等の改善・改造	H17	終了予定なし	733	1,861	1,849	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・連続して繰越があり、計画において整備すべき火器等の整備が遅れているのではとの印象を持たれることから要因分析のうえ、その理由について事業所管部局による点検欄等のレビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに可能な限り効率的な予算執行に努められたい。 ・継続案件においても、習熟効果等を考慮した原価査定においてコスト低減を図る余地があるのではないか。	2,400	1,551	▲849	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、レビューシートの記載を変更し、企業等への聞き取り・市場調査によりコスト低減方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0095 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
090	指揮所の近代化（ハードウェアの整備）	H5	終了予定なし	7,094	7,094	6,977	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・可能な限り競争性を確保しながら支出先の選定を行っているとのことであるが、一般競争入札において一者応札かつ落札率１００％となっているものがあることから、十分な要因分析を実施し、応札者拡大のための検討を行い競争性の確保に努められたい。競争性が確保できないのであれば、その状況の中で価格低減のための検討を行われたい。	9,133	9,630	497	－	年度内に改善を検討	本企業と単価低減に向けた効率化の調整を実施し、低減に努めている。引き続き単価低減に向けた努力を実施する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0096 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
091	通信機器の修理等	H11	終了予定なし	2,836	2,813	3,056	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・原則として公募により入札者を多く募り競争性を確保していることから支出先は妥当とのことであるが、一者応募でかつ落札率100%となっているものがある。。十分な要因分析を実施し、その結果をレビューシートに記載することにより支出先選定の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに、その分析結果を踏まえ応札者拡大のための検討を行い、競争性の確保に努められたい。 競争性を高めるための工夫や見積精査に当たり、直近の実績単価を参考とするだけでなく、詳細な内訳を入手し、コスト低減の余地がないか検証し、価格交渉等において更なるコスト縮減に努めてられたい。	3,089	9,360	6,271	－	執行等改善	公募により競争性を確保しているが、一者応札でかつ落札率100%となっているものがあるため、要因分析を行うとともに、応札者拡大のための検討を行い、より競争性の確保に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0098 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
092	装輪車両の修理費の取得	H12	終了予定なし	3,681	3,927	3,675	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・平成29年度、30年度の予算の状況を見ると、補正予算で取得した同額相当分が繰り越しとなっていることから、その理由等についてレビューシート上で明らかにし、執行の妥当性について国民の理解が得られるようにすべき。 高落札のものが多くなっており、価格交渉等による価格面での適正化に努められたい。	2,683	3,381	698	－	執行等改善	・補正予算で取得した同額相当分の繰り越しについては、需要増に伴い、製造に不測の日数を要したため、翌年度に繰り越したもの。 ・修理費で購入するものの多くは、純正部品や専用部品であることから、高落札になるものと考えれられるが、これ以外の部品等について、可能なものは価格交渉等によって価格面での適正化を図るものとする。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0099 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
093	車両等の処分	H19	終了予定なし	34	39	26	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度（30年度。76%）があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。 ・他方、成果目標の達成度が毎年度90%となっており、加算的に処理数が増えていくのではないか。適切な目標管理や財源を有効に活用し目標を達成する余地があるのではないか。	－	3	3	－	執行等改善	・行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、計画的な予算の計上・執行の改善に努める。 ・成果目標の達成度の標記に一部誤り（単位及び数値）があったため、正しい単位及び数値に修正した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0100 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
094	自動車リサイクル法関連経費	H17	終了予定なし	19	22	12	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度（30年度。63%）があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。 ・アウトカムについて、この事業の目標は何か。リサイクル券を調達することにより、何を達成したいのか。各施策にどのように貢献しているのか。そういった点がわかるような目標管理をすべきではないか。	17	17	▲0	－	執行等改善	・行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、計画的な予算の計上・執行の改善に努める。 ・車両のエアバッグ、シュレッダーダストの処理等には、リサイクル券が必要である。したがって、不用決定車両の処分を行うためには、リサイクル券が必要となりこれが目標となるが、当該事業は、「使用済み自動車の再資源化に関する法律」に基づく事業であり、各施策への貢献においては、当該法律の目的である、使用済み自動車に係る廃棄物の適正な処理及び資源の有効活用にある。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0101 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
095	装輪車両の外注整備	H5	終了予定なし	10	19	19	・支出先リストを参照すると、一般競争入札を実施しているものの、落札率が100%となっている契約が多いことから、価格の妥当性について理由を説明し、国民の理解が得られるようにするとともに、随意契約にあたっては、見積もり内容の精査を十分に行い価格の適正化に努められたい。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	10	6	▲4	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、価格の妥当性を含め執行実績の分析等を行い、更なる競争性を高めた予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0102 － 00	－ －	－ －		その他			
096	燃料タンク車の水圧試験	H5	終了予定なし	5	6	4	・落札率が100%のものが見受けられるが、その理由等についてレビューシート上で明らかにし、国民への説明責任を果たすべき。また、少額随契においては、見積もり内容の精査による価格の適正化や見積もり徴取先の拡大による競争性の向上等により、更なるコスト低減を追求されたい。 ・レビューシートの「事業所管部局による点検・改善」のうち「国費投入の必要性」について、記載されている3つの項目にほぼ同じ文章が並んでいる。項目に即して的確かつ具体的に対応を書くなど、国民の理解を得るための工夫が必要。 ・執行率が年々低下しているのはなぜか、レビューシートに記載することにより、説明が必要だと思われる。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	8	2	▲5	－	執行等改善	・試験費用は法定費用が主体であり、高落札となるものと考えられるが、これ以外のコスト低減方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。また、複数業者からの見積を徴取することに加え、事業者選定及び価格の妥当性を検討し、競争性の拡大を図る。 ・「事業所管部局による点検・改善」のうち「国費投入の必要性」についての記載については、項目に対して的確に記入し修正した。 ・執行率の低下に関しては、試験単価の異なる対象車両の組み合わせが考えられるが、要因分析のうえ受検台数の精査を図る。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0103 － 00	－ －	－ －		その他			
097	化学器材の修理	H17	終了予定なし	663	590	573	・本事業における修理役務（購入含む）は、市場が限定的で競争性の確保が期待できないなかで、単位当たりコストを参照してもコストの妥当性が把握することができない。 ・「発注の成果が対価として妥当か」また、「適正な算定基準を満たした見積となっているか」等、価格の妥当性を追求し、レビューシートにおいても国民への説明を果たすべく、透明性の確保に努めるべきではないか。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	748	751	3	－	執行等改善	限られた予算の中でで可動率を向上させるため、修理すべき器材の優先順位や費用を踏まえ、効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0104 － 00	－ －	－ －		その他			
098	廃弾等の外注処分	H9	終了予定なし	647	647	641	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、部品の利活用等を通じたコスト低減及びまとめ発注の検討等も含めて効率的な予算要求・執行に努められたい。	203	207	4	－	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、更なるコスト低減方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0105 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
099	通信衛星の中継機能の借上（三幕共同）	H2	H33	802	802	802	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札により競争性を確保しているとのことであるが、結果的に一者応札かつ落札率100%の状況となっていることから、要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにおいて説明し、事業者選定及び価格の妥当性について国民の理解を得られるようにされたい。	592	569	▲23	－	執行等改善	一般競争入札による一者応札の分析を行い、更なるコスト低減方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0106 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
100	航空機搭載通信機器維持・通信部品	S47	終了予定なし	7,141	7,141	7,133	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・民生品の活用や必要な部材等の一括調達などの更なるコスト縮減方策についても検討し、適切な予算要求、執行に努められたい（仮に既に実施している縮減の取組があるのであれば、内容についてレビューシートに記載してもらいたい）	1,422	4,381	2,960	－	年度内に改善を検討	・民生品については既に活用している。 ・一括調達などのコスト縮減方策について検討を行い、適切な予算要求、執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0107 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
101	Ｋｕバンド衛星通信用経費	H18	終了予定なし	1,769	1,769	1,769	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、今後の通信所要を含めたコスト低減方法等の検討等を不断に行い、経費節減を追求されたい。	4	－	▲4	－	現状通り	次期Ｘバンドの整備事業の進捗を踏まえ、Kuバンド通信量を長期的にモニターし、Kuバンド衛星通信の通信量の減少等について適切に反映し、経費節減を追求していく。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0108 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			

様式1

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度当初予算額 A	平成３２年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額		反映状況 反映内容	備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
102	通信維持費（海自）	S30	終了予定なし	38,410	38,574	34,803	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度、予算を繰り越していることからその理由をレビューシートに記載し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに可能な限り効率的な予算執行に努められたい。 競争性を高めるための工夫や見積精査に当たり、直近の実績単価を参考とするだけでなく、詳細な内訳を入手し、コスト低減の余地がないか検証し、価格交渉等において更なるコスト縮減に努めてられたい。	49,331	37,097	▲12,233	▲88	縮減	・繰越要因についてその理由を「事業の効率性」の欄に記載した。 ・契約実績の分析を実施するとともに、各事業に応じて民生品の採用や仕様書等の見直し及びまとめ買いの可能性の追求等を実施し、今後も更なる競争性の拡大、品目、数量の効率化に努める。 ・執行実績を踏まえた上で、仕様内容等を見直し、88,030千円の削減を図ることが出来た。	「新しい日本のための優先課題推進枠」15,436	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0109 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象	○		
103	車両維持経費	S29	終了予定なし	249	259	255	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・アウトカムについて、この事業の目標は何か。車両を維持することにより、何を達成したいのか。特に上位施策にどのように貢献しているのか。そういった点がわかるような目標管理をすべきではないか。 ・一般競争契約に係る1者応札が散見される。要因について分析し、競争性を高める工夫に努め、複数社の参入において、価格の妥当性を追求されたい。	239	285	46	－	執行等改善	部隊の即応性確保のため、車両を良態に維持すべく本事業予算の経済的執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」285	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0110 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
104	燃料給油車タンクの定期検査経費	S51	終了予定なし	7	7	5	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度（29年度。43%）や予算額を超過している年度があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。	3	－	▲3	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き、計画的な予算の計上・執行の改善に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0111 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
105	マイナーオーバーホール	S47	終了予定なし	14,260	14,491	11,658	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度（30年度。80%）や予算額を超過している年度があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。 ・毎年度繰越を１０％前後発生させているところ、計画において整備すべき航空機の整備が遅れているのではと印象を持ち、事業管理を適切に進めるべき。 ・随意契約や一者応札の案件は、競争性のなかで価格の妥当性を追求するには限界があることから、原価精査や価格交渉による価格面での適正化を更に追求されたい。	12,121	9,672	▲2,449	▲77	縮減	・執行率の低い年度や予算額を超過している年度について、要因分析を行い、予算要求に反映していく。 ・今後、繰越額を低減させるよう事業管理を適切に行っていく。 ・随意契約や一者応札の案件を含め、原価精査により価格面での適正化に努める。 ・執行実績を踏まえた上で、仕様内容の見直しや要求数量を精査することにより、77.,434千円の縮減を図ることができた。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0112 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
106	ガスタービン機関組部品のオーバーホール	H5	終了予定なし	1,652	1,652	1,997	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・連続して執行額が予算額を超過していることから、要因分析のうえ、適切な予算要求、予算執行に努められたい。また、執行額が予算額を超過している理由について、レビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。	2,301	2,616	315	▲309	縮減	・機関要求時に７７０組であった歳出予算での整備計画を、概算要求時に４２組を国債での整備計画へ先送りすることで、309,112千円を縮減した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0113 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
107	車両一般整備費	H17	終了予定なし	1,939	1,939	1,909	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札、公募を実施しているものの、一者応札、一者応募の状況が見受けられることから、要因を分析のうえ、更なる応札者等の拡大の検討を実施し、競争性の向上に努められたい。 また、引き続き、契約実績の分析及びコスト低減方策の検討とも行い、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	2,315	2,099	▲217	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、一般競争入札における一者応札、一者応募の要因分析を行い、競争性の拡大に関する検討を行うとともに、更なるコスト低減方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」1,845	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0057 － 00	防衛省 － 0116 － 00	－ －		平成29年度対象			
108	自動車再資源化等預託金	H17	終了予定なし	1	0.759	0	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	引き続き、予算要求に当たっては、予算執行率等を反映し、必要経費の予算要求に努められたい。	1	1	－	－	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、、予算要求に当たっては、予算執行率等を反映し、必要経費の予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0117 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
109	施設車両整備費	H17	終了予定なし	325	325	310	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札により競争性を確保しているとのことであるが、結果的に一者応札かつ落札率100%の状況が散見されることから、要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにおいて説明し、事業者選定及び価格の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに応札者拡大のための検討を実施し、競争性の向上に努められたい。 ・在庫や将来の必要数を勘案したうえでの修理数量の精査、定期修理間隔やオーバーホール間隔の見直しなど、コスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、更に効率的な予算要求、予算執行に努められたい	298	298	－	－	執行等改善	一般競争入札における一社応札になる要因分析を行い、競争性の拡大に関する検討を行うとともに、さらなるコスト低減策の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0118 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
110	訓練演習支援機能の整備	H22	終了予定なし	203	203	202	・支出先リストを参照すると高落札率となっており、価格が高止まりになっている印象を持つ。 ・情報システムの調達は、装備品の調達とは異なり、多数のシステム関連企業が存在し競争性の確保が期待できることから、換装時には競争性を確保すべく、参入障壁の要因分析や業態調査等による参入会社の把握・声かけを実施すべき。 ・他方、継続中のシステム保守等の調達であれば、既契約の会社の有利性により、競争性が期待できないため、競争性による価格の妥当性追求には限界があることら、仕様の精査、見積精査、原価監査等を通じて、不断に価格の妥当性を追求し、コスト低減を図る余地があるのではないか。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	192	1,259	1,067	－	執行等改善	・外部有識者の所見を踏まえ、仕様及び見積りの精査を実施し、価格低減に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0119 － 00	－ －	－ －		その他			
111	情報業務用車両の取得	H24	終了予定なし	26	22	24	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札により入札参加者を多く募り競争性の確保に努めていることから、支出先の選定は妥当とのことであるが、一者応札が見受けられることから、要因について分析し、その結果をレビューシートに記載することにより支出先選定の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに、その分析結果を踏まえ応札者拡大のための検討を行い、競争性の確保に努められたい。 引き続き、契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を行い、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	12	9	▲3	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、１者応札について、十分な要因分析を行い、応募者数の拡大を図り効率的な予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0120 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
112	通信機器購入費（統幕）	H26	終了予定なし	41	41	20	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・例年、執行額が予算額を下回っており、特に平成30年度は48%と予算額の半分も執行していない状況である。理由として、直近の市場価格を反映した結果であり妥当であるとのことであるが、予算を計上するにあたっての調査等が十分でないのではないかとの印象を持つ。しっかりと市場価格の調査及び契約実績の分析等を十分に行い、適切な予算計上及び予算執行に努められたい。 また、昨年のレビューシート「所見を踏まえた改善点」において、応札者拡大のため、要因を分析し、拡大のための検討向上に努めるとなっているが、どのように要因を分析し、応札者拡大のための検討をどのように行っているのか、国民に分かるよう具体的にレビューシートに記載すべき。	101	24	▲77	－	執行等改善	・応札者を拡大させるため、事業要求内容を精査し、より競争性が保てるような要求にするとともに、事業単位ごと複数社に対して市場価格調査を実施することに努める。 ・契約実績に基づいた事業規模・内容の精査を実施し、適切な予算計上に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」4	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0121 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
113	防衛情報通信基盤（DII)の整備	H13	終了予定なし	25,436	25,436	21,440	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・機器の借り上げやネットワーク環境の構築においては、継続的に既存の会社が受注しており、既存の会社の有利性において競争性が働きづらいものと思料するが、次期契約に向けて、複数社の参入の工夫（働きかけ等）をし、それでも競争性が働きづらいものであれば、一般競争における価格の妥当性追求には限界があることから契約方式の妥当性を検証のうえ、価格面に注力した取組を推進し、価格の低減に努めてほしい。	37,754	38,616	862	－	執行等改善	・一般競争における競争性の確保を図るため、複数社が参入できるよう工夫を実施するとともに、効率的な予算要求及び予算執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」1,684	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 施設等機関等の運営に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 航空自衛隊の運営に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費 武器車両等の購入に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）運用基盤等の整備に必要な経費 （大事項）人事教育施策の実施に必要な経費 （項）防衛装備庁共通費 （大事項）防衛装備庁一般行政に必要な経費	防衛省 － 0122 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
114	通信維持費（空自）	S37	終了予定なし	43,974	43,609	38,240	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度繰越を発生させているところ、計画において整備すべき機材の整備が遅れているのではと印象を持ち、事業管理を適切に進めるべき。 ・一般競争契約に係る1者応札が散見される。要因について分析し、競争性を高める工夫に努め、複数社の参入において、価格の妥当性を追求されたい。	59,298	41,814	▲17,484	－	執行等改善	・事業管理を適切に実施し、器材の整備を適切に実施していく。 ・一般競争入札における競争性を確保するため、複数社への参入を促進する方策について検討し、価格の妥当性を追求する。	「新しい日本のための優先課題推進枠」15,763	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0114 － 00	防衛省 － 0115 － 00	防衛省 － 0123 － 00		平成28年度対象			
115	施設機械の修理	H17	終了予定なし	1,817	1,839	1,135	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度（30年度。62%）があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。 ・他方、成果目標の達成度が毎年度80%となっており、加算的に処理数が増えていくのではないか。適切な目標管理や財源を有効に活用し目標を達成する余地があるのではないか。 ・単位当たりコストをみると「原則として一般競争入札により・・」とあるが、実績として複数社の参入を得ているのか。複数社の参加がなければ、競争性において、価格の妥当性を追求することは困難であることから、価格の妥当性について分析し、適正価格を追求する余地があれば、見積精査等において更なる経費節減を追求されたい。	1,159	1,784	625	－	執行等改善	事業の特性上、調達においては器材の故障状況による部隊からの直近の要望を反映させている及び建機類においては多種多様な器材かつ複数のメーカーが混在し、一般競争入札及び公募による一社応札はやむを得ないところではあるが、競争性を高める施策等を検討するとともに、透明性を確保した上での随意契約への切り替えの可能性については、企業等に情報収集をする。また、引き続き定期交換部品の交換周期の延伸の可能性について分析・検討していく。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0124 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
116	車両用付属品の取得	H12	終了予定なし	1,740	1,285	1,326	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・随意契約かつ高落札率となる状況が見受けられることから、随意契約に当たっては、可能な限り詳細な見積内容を入手し、コスト縮減の余地を検証し、適切な価格交渉により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。 ・繰越の状況が継続していることから、要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに可能な限り効率的な予算執行に努められたい。	1,158	1,059	▲98	－	執行等改善	・附属品には、特殊タイヤが含まれるが、この製造は高度な技術を要するため、製造できる企業自体が少ないことから、応札者が少なく随契かつ高落札となったものと考えられる。このため、行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き高落札となっているものは、十分な要因分析を行い、さらに競争性を高める方策を検討する。 ・補正予算で取得した同額相当分の繰り越しについては、需要増に伴い、製造に不測の日数を要したため、翌年度に繰り越したもの。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0125 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
117	航空車両更新分	S29	終了予定なし	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・航空車両を計画的に更新するとなっているが、活動実績は平成２８年度の２台のみであり、他の年度の更新がない状況である。また、レビューシートに活動実績は見込みに見合ったものと判断していると記載されている。計画的な更新がされていない理由、活動実績に見合ったものと判断した理由及び改善策があれば改善策も含め、具体的にレビューシートに記載し、国民への説明責任を果たすべき。	－	－	－	－	執行等改善	予算制約を踏まえ、更新対象車両に優先順位を付与の上、引き続き計画的な予算の計上・執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0126 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
	施策名：1-(1)周辺海空域における安全確保、1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(3)弾道ミサイル攻撃への対応、1-(4)宇宙空間及びサイバー空間における対応、1-(5)大規模災害等への対応、3-(1)二国間・多国間共同訓練・演習の実施、3-(5)国際平和協力活動の実施、4-(1)訓練・演習の充実・強化、4-(2)部隊等の各種支援機能の強化																										
118	油購入費	S33	終了予定なし	129,685	126,032	120,304	・単位当たりコストの水準の比較として市況価格と比較されており、また、スケールメリットを期待したまとめ買いやリードタイムの確保は評価できる。 ・他方、繰越が毎年度発生しており、計画的な事業の推進に努めてほしい。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	103,863	112,413	8,550	－	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、引き続きコスト低減方法の検討を行い、効率的な予算要求・執行に努める。 繰越については、予算要求及び予算執行の妥当性を高めるべく当該年度内の執行を追及していく。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）運用基盤等の整備に必要な経費 訓練・演習の実施に必要な経費	防衛省 － 0127 － 00	－ －	－ －		その他			
	施策名：1-(1)周辺海空域における安全確保、1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(3)弾道ミサイル攻撃への対応、1-(5)大規模災害等への対応																										
119	輸送ヘリコプター（ＣＨ－４７ＪＡ）の取得	H5	終了予定なし	－	－	－	・自己点検においては、平成29年度に一括調達を実施し6機を契約していることが記載されているが、どの程度の縮減が図られたかがレビューシートに記載がないことから、効果についての客観的な評価ができない。レビューシートに具体的な縮減額を明記することにより、取組の妥当性について国民の理解が得られるようにすべき。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	2,566	3,569	1,003	－	執行等改善	長期契約法に基づく一括調達により、総額約７３億円の経費縮減を行った。引き続き、まとめ買い等の効率的な予算執行に努めていきたい。	「新しい日本のための優先課題推進枠」2,906	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費 （大事項）特定防衛調達航空機の購入に必要な経費	防衛省 － 0128 － 00	－ －	－ －		その他			

様式１

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度 当初予算額 A	平成３２年度 要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
120	乙類（航空機）	S39	終了予定なし	2,298	2,138	2,054	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・繰越の状況が継続していることから要因分析のうえ、その理由について事業所管部局による点検標等のレビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに可能な限り効率的な予算執行に努められたい。 ・随意契約に当たっては可能な限り詳細な見積内容を入手してコスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉等により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。	1,833	523	▲1,310	－	執行等改善	・所見を踏まえ、繰越の状況が継続している理由について分析し、事業所管部局による点検標を拡大した。 ・執行の妥当性について国民の理解を得られるよう分析等を行い、引き続き効率的な予算執行に努める。 ・随意契約においては特に、引き続きコスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉等を行い、更なる価格の妥当性向上に努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0129 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
121	車両更新	H22	終了予定なし	1,419	1,218	1,206	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年繰越があることから、計画において更新すべき車両の更新が遅れているのではとの印象を持たれることから、事業所管部局による点検欄に繰越理由を記載し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。 一般競争入札により入札参加者を募ることで競争性の確保に努めているので、支出先は妥当とのことであるが、一者応札の状況が散見され、また、一般競争入札の結果繰越案件になっているものや高落札率のものが多く見受けられる。十分な要因分析を実施し、その分析結果を踏まえ応札者拡大のための検討を行い、競争性の確保に努められたい。	1,539	467	▲1,072	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、今後については、繰越理由を明確にしていくとともに、一般競争入札の結果に関する分析を実施し、更なるコスト低減方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0130 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
122	整備用部品	S28	終了予定なし	4,652	6,103	6,098	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ライセンス等に基づく随意契約については、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努められたい。 また、引き続き、契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	9,407	21,487	12,081	－	執行等改善	・ライセンス等に基づく随意契約については、引き続き原価精査や価格交渉による価格面の適正化に努める。 ・契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を引き続き実施し、効率的な予算要求及び執行に努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0131 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
123	定期オーバーホール役務費	S29	終了予定なし	8,529	5,836	5,799	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度繰越を発生させているところ、計画において整備すべき機材の整備が遅れているのではと印象を持ち、事業管理を適切に進めるべき。 ・競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。	8,728	8,801	73	－	執行等改善	・繰越の状況については、予期しない不具合発生による追加作業が発生したためであり妥当だが、執行の妥当性について国民の理解を得られるよう引き続き分析等を行い、効率的な予算執行に努める。 ・引き続きコスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉等を行い、更なる価格の妥当性向上に努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0132 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
124	部品整備役務費	S29	終了予定なし	8,480	8,432	7,595	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。	7,077	8,597	1,520	－	執行等改善	・引き続きコスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉等を行い、更なる価格の妥当性向上に努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0133 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
125	航空機技術管理	H10	終了予定なし	288	288	280	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・公募による随意契約を実施しているものについて、高落札率状況が見受けられることから、随意契約に当たっては、可能な限り詳細な見積内容を入手し、コスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。（継続） ・引き続き、契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。（継続）	302	302	▲0	－	執行等改善	・引き続きコスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉等を行い、更なる価格の妥当性向上及び効率的な予算要求、予算執行に努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0134 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
126	航空機修理費（陸自）	S38	終了予定なし	13,760	13,911	13,517	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ＰＢＬ契約の導入によるコスト縮減努力、また、競争性を確保するため、通年で公募を受け付けるなど、応札者を増やす努力は認められるが、公募を実施しても、一者応募のため随意契約としている状況を踏まえると、形式的な競争性を求めるのではなく、十分に内容を精査し、透明性を確保したうえで、随意契約とすることも検討し、原価精査や価格交渉による経費の低減を図ったほうがよいのではないか。	18,985	10,800	▲8,185	－	執行等改善	・仕様内容を精査し、透明性を確保したうえで随意契約への移行の検討を行う。 ・引き続きコスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉等を行い、更なる価格の妥当性向上に努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費 特定防衛調達航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0135 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
127	航空一般部品	S47	終了予定なし	26,175	25,466	32,070	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・遡及して繰越があり、計画において整備すべき器材の整備が遅れているのではと印象を持ち、事業管理を適切に進めるべき。 ・執行額が予算額を超過している状況が継続しているので、要因分析のうえ、適切な予算要求、執行に努められたい。また、執行額が予算額を超過している理由については、レビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。	31,784	20,784	▲11,000	－	年度内に改善を検討	・今後、繰越額を低減させるよう事業管理を適切に行っていく。 ・執行額が予算額を超過する割合を軽減するよう、適切な予算要求、執行に努める。 ・30年度に執行額が予算額を超過している理由は、予定よりも部品の所要が多く発生したためである。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0136 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
128	諸器材等維持費（空自）	不明	終了予定なし	12,594	12,448	10,894	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・仕様書等を見直すことにより、更なる効率化に取り組んでいることは評価できる。引き続き、契約実績の分析及び更なるコスト低減の検討を行い、効率的な予算執行に努められたい。 ・依然として不用率が大きいので、さらに詳細な要因分析を行い、予算要求、予算執行に適切に反映されたい。	14,826	14,755	▲71	－	執行等改善	引き続き、契約実績の分析及び更なるコスト低減の検討を行い、効率的な予算執行に努める。また、執行率についても、平成３０年度に改善しているが、引き続き要因分析を行い、適切な予算要求、予算執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」85	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0137 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
129	航空管制器材の換耗更新	H4	終了予定なし	17	17	10	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・不用率が大きいための要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。 ・契約方式について、一般競争入札の結果、１者応札となっているようだが、要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにおいて説明し、事業者選定及び価格の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに応札者拡大のための検討を実施し、競争性の向上に努められたい。	74	1,937	1,863	－	執行等改善	当該調達の前提条件や調達仕様等の情報を予め整理し、それらの情報を複数の業者に提供したうえで十分な積算期間を確保するなどして、複数の参考見積もりを取得・比較検討していきたい。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0138 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
130	艦船需品の整備	S29	終了予定なし	1,553	1,582	1,582	・事業所管部局による点検・改善を参照すると、予算執行の効率化に努めていることは認められるものの、高落札率の契約が散見されることから、契約実績の分析及び更なるコスト低減の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努められたい。また、調入している物品は汎用品がほとんどであることから、公船を所管する官庁（海上保安庁、水産庁）と共同で調達を行うことにより更なるコスト低減が可能となるのではないか。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	1,243	1,494	251	－	執行等改善	艦船需品の中には特殊な技術が要求されるものもあるため他の官庁と共同調達が難しい一面もあるが、引き続き効率的に執行を行うため、応札者の拡大等の検討に努めていく。	「新しい日本のための優先課題推進枠」328	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0139 － 00	－ －	－ －		その他			
131	護衛艦（DDG）	H27	H32	49,772	49,772	49,978	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札において、一者応札かつ落札率100%となっているものがある。十分な要因分析を実施し、その結果をレビューシートに記載することにより支出先選定の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに、その分析結果を踏まえ応札者拡大のための検討を行い、競争性の確保に努められたい。 また、引き続き、契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	58,039	22,039	▲36,000	－	執行等改善	要因分析を行い、業者選定及び価格の妥当性について確認のうえ、レビューシートに記載した。 契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）平成２７年度甲Ⅳ型警備艦建造費 （大事項）平成２７年度甲Ⅳ型警備艦建造に必要な経費 （項）平成２８年度甲Ⅳ型警備艦建造費 （大事項）平成２８年度甲Ⅳ型警備艦建造に必要な経費 （項）艦船整備費 （大事項）艦船建造に必要な経費	防衛省 － 0140 － 00	－ －	－ －		最終実施年度			
132	ティルト・ローター機（Ｖ－２２）の取得	H30	終了予定なし	60,407	60,407	60,407	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・引き続き、米国と調整を密にし、適正な価格低減の取組を推進されたい。 また、諸外国の情報を入手したり、原価の情報を入手する等、可能な限り、ティルト・ローター機（Ｖ－２２）の取得価格の妥当性について、レビューシートに記載するなど国民の理解を得るための工夫をすべき。	61,226	427	▲60,799	－	執行等改善	・引き続き米国との調整を密にし、適正な範囲内において、価格低減の取り組みに努める。 ・諸外国の情報を入手したり、原価の情報を入手する等、可能な限り、価格の妥当性について国民の理解を得るための工夫に努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費	防衛省 － 0141 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
施策名：1-(1)周辺海空域における安全確保、1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(3)弾道ミサイル攻撃への対応、1-(5)大規模災害等への対応、1-(6)情報機能の強化																											
133	海上航空作戦指揮統制システムの整備	H19	終了予定なし	41	41	29	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・単位当たりコストをみると「過去契約水準なので妥当」とあるが、価格の妥当性がこの記述からでは不明である。価格の妥当性について分析し、適正価格を追求する取組みは、見積精査等において更なる経費節減を追求されたい。 また、それらの取組をレビューシートに記載し、より透明性を確保すべき。 ・競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。	－	3,128	3,128	－	年度内に改善を検討	・所見のとおり、競争性を確保するために他社が事業に参入できるような仕様の見直し等を関係部隊等と検討を継続していく。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0142 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
134	地域通信処理システム用器材の借料	H18	終了予定なし	343	343	346	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・機器の借り上げにおいては、継続的に既存の会社が受注しており、既存の会社の有利性において競争性が働きづらいものと思料するが、次期契約に向けて、複数社の参入の工夫（働きかけ等）をし、それでも競争性が働きづらいものであれば、一般競争における価格の妥当性追求には限界があることから契約方式の妥当性を検証のうえ、価格面に注力した取組を推進し、価格の低減に努めてほしい。	2,855	3,043	189	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見をふまえ、調達単位を運用とのバランスを考慮したとで再検討を行う。 また、機種選定の見直し、故障実績等を基にした運用と保守要件の見直し等、既契約実績の見直しを実施し、適切な執行を追及する。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0143 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
135	情報支援システムの維持整備	H12	H32	579	579	561	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・情報システムの機器の借り上げにおいては、継続的に既存の会社が受注する傾向があり、既存の会社の有利性において競争性が働きづらいものと思料するが、次期契約に向けて、複数社の参入の工夫（働きかけ等）をし、それでも競争性が働きづらいものであれば、一般競争における価格の妥当性追求には限界があることから契約方式の妥当性を検証のうえ、価格面に注力した取組を推進し、価格の低減に努めてほしい。	660	563	▲96	－	執行等改善	３２年度末に事業終了となるものの、システムの維持整備及び消耗品の取得に関し、引き続き効率的な予算執行に努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0144 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
136	海上作戦部隊指揮統制支援システム用器材（陸上）	H14	終了予定なし	1,473	1,473	1,390	・原則として一般競争入札により入札参加者を募り競争性を確保に努めているとのことだが、一般競争入札を行ったものの一者応札となり、結果的に随意契約となっており、今後、応札者拡大のための検討を行い、競争性の向上に努められたい。 ・また、引き続き、契約実績の分析及びコスト低減方策の検討とも行い、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	1,338	1,945	607	－	執行等改善	・令和元年度の器材更新においては、開発事業者と運用事業者の責任分担を適切に実施し競争性を高めることにより新規企業の参入が容易となるよう努めた。 ・引き続き、契約実績の分析及びコスト低減方策の検討を実施し、効率的な予算要求、予算執行に努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0145 － 00	－ －	－ －		その他			
施策名：1-(1)周辺海空域における安全確保、1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(3)弾道ミサイル攻撃への対応、1-(6)情報機能の強化																											
137	早期警戒機（Ｅ－２Ｄ）の取得	H27	終了予定なし	30,129	30,129	31,015	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、米海軍の取得時期に合わせた調達を行うなど、機体取得に係る経費の更なる低減を図るため、米国政府との価格交渉に努められたい。	7,753	17,172	9,419	－	現状通り	・米国政府と調整し、米海軍の取得時期に合わせることにより、取得に係る経費の低減を図った。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費 （大事項）特定防衛調達航空機の購入に必要な経費	防衛省 － 0147 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
施策名：1-(1)周辺海空域における安全確保、1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(4)宇宙空間及びサイバー空間における対応、1-(5)大規模災害等への対応、1-(6)情報機能の強化																											
138	通信機器購入費（陸自）	S29	終了予定なし	6,117	5,295	5,231	・予算額・執行額を参照すると、繰越額が大きいことから、要因について分析し、結果をレビューシートに記載することにより、繰越の妥当性について国民の理解が得られるようにするとともに、分析結果を踏まえた適切な予算執行に努める必要がある。 ・点検結果を参照すると、民生品の活用等を実施することによるコスト節減努力、また、一般競争入札や公募、企画競争等による競争性確保に努めるなど、コスト削減や効率化に向けた工夫が行われていることは評価できる。引き続き、契約実績の分析及び更なるコスト低減の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努められたい。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	4,311	4,374	63	－	執行等改善	繰越額が大きいことについては、各種通信機器の取得において、納期が年度内に納まらないため繰越したものである。 また、執行額が予算額を超過している要因については、可動率の増加、更に器材の老朽化や十分な予算の確保が出来ていないものと分析している。引き続き、適切な予算の計上に努める。要因を分析し、繰越の妥当性について分析結果を踏まえた適切な予算執行に努める。また、引き続き、契約実績の分析及び更なるコスト低減の検討を行うとともに、効率的な予算執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」4	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0148 － 00	－ －	－ －		その他			

様式1

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度当初予算額 A	平成３２年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
139	諸器材等維持費(陸自)	S29	終了予定なし	7,001	7,463	6,876	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・随意契約に当たっては可能な限り詳細な見積内容を入手してコスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉等により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。	4,805	4,259	▲546	－	執行等改善	・効率的な予算執行のため、引き続き厳格な原価計算等を実施し、更なる価格低減に努めていく。	「新しい日本のための優先課題推進枠」2	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0149 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
140	諸器材購入費(陸自)	S29	終了予定なし	6,397	5,309	5,259	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札を実施しているものの、一者応札の状況が見受けられることから要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにおいて説明し、事業者選定の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに応札者拡大のための検討を実施し、競争性の向上に努められたい。 ・随意契約に当たっては可能な限り詳細な見積内容を入手してコスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉等により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。	5,817	6,450	633	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、「事業の効率性」の欄に一社応札が見受けられる要因を追記したとおり、専門性が高く、特定の知識・技術が必要なものがあることから、やむを得ない一面があるものの、競争性の拡大に向けた検討を実施するなどにより、引き続きその改善に努めていく。また、効率的な予算執行のため、引き続き厳格な原価計算等を実施し、更なる価格低減に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」1,251	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0150 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
141	通信維持費(陸自)	S55	終了予定なし	22,278	22,332	22,095	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・平成29年度、30年度の執行において、連続して繰越がある(特に30年度においては繰越額が大きい）ことからその理由等についてレビューシート上で明らかにし、執行の妥当性について国民の理解が得られるようにすべき。 ・一般競争入札や公募において、一者応札及び一者応募かつ落札率100%のものが見受けられる。十分な要因分析を実施し、その結果をレビューシートに記載することにより支出先選定の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに、その分析結果を踏まえ応札者拡大のための検討を行い、競争性の確保に努められたい。	24,903	22,081	▲2,821	▲235	縮減	繰越額が大きくなった要因は、各種通信器材の整備等の事業において、納期が年度内に納まらないため繰越したものである。 また、執行実績を踏まえた上で仕様内容を見直し、プログラム改修対象の精査や工数縮減等により、235,051千円の縮減を図ることができた。執行額が予算額を超過している要因については、可動率の増加、更に器材の老朽化や十分な予算の確保が出来ていないものと分析している。引き続き、適切な予算の計上に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0151 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
	施策名：1-(1)周辺海空域における安全確保、1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(5)大規模災害等への対応																										
142	機体オーバーホール	S44	終了予定なし	7,531	6,661	7,725	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ライセンス等に基づく随意契約については、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努められたい。 経費抑制の努力として、オーバーホール間隔の延長等は実施されていないのか。もし、実施されていないのであれば、実施に向けた検討を行い、更なる経費節減に努める必要があるのではないか。もし、実施しているのであれば、その旨をレビューシートに記載されたい。 また、引き続き、コスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	7,612	12,483	4,871	－	年度内に改善を検討	・随意契約については、原価精査等により価格面での適正化を図るよう努める。 ・オーバーホール間隔の延伸については、不断から検討を行っており、延伸できるものについては既に行っている。 ・引き続き、コスト縮減方策について検討を行い、効率的な予算要求、執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0152 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
143	哨戒ヘリコプター（ＳＨ－６０Ｋ）の取得	H14	終了予定なし	41,592	39,260	39,164	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・成果目標の達成度が毎年度70%前後となっており、加算的に配備の不足が増えていくのではないか。適切な目標管理や財源を有効に活用し目標を達成する余地があるのではないか。 ・競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。	14,370	21,850	7,480	－	年度内に改善を検討	・本事業については中期防に基づき計画的な整備を行っている。 ・競争性が働きづらい随意契約を含め、原価精査により価格面での適正化に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費 特定防衛調達航空機の購入に必要な経費	防衛省 － 0153 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
144	護衛艦（DD）	H21	終了予定なし	17,650	17,650	15,611	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・単位当たりコストについて、「見積及び契約実績を広く反映している」との記載だが、これらから単位当たりのコストが妥当とは言い難いのではないか。会社の言い値ではなく、部材等の市価比較や費用対効果の面において分析し単位当たりコストが妥当か、以下の面にも留意しコスト低減に努めてほしい。 ・競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。	5,294	45,338	40,044	－	執行等改善	単位当たりコストについて、部材等の市価比較や費用対効果の面において分析ししコスト低減に努める。 価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の低減に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）平成２６年度甲型警備艦建造費 （大事項）平成２６年度甲型警備艦建造に必要な経費 （項）平成３０年度甲型警備艦建造費 （大事項）平成３０年度甲型警備艦建造に必要な経費 （項）艦船整備費 （大事項）艦船建造に必要な経費	防衛省 － 0154 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
145	支援船	H25	終了予定なし	368	368	365	・艦船といった限定的な市場において、競争性による価格の妥当性追求には限界があることら、仕様の精査、見積精査、原価監査等を通じて、不断に価格の妥当性を追求し、コスト低減を図る余地があるのではないか。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	232	1,697	1,466	－	執行等改善	詳細な内訳を入手し、コスト低減の余地がないか検証し、価格交渉等において更なるコスト縮減に努める。 習熟効果等を踏まえたより厳格な原価査定を行い、コスト低減に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費 （大事項）艦船建造に必要な経費	防衛省 － 0155 － 00	－ －	－ －		その他			
146	艦船需品費	S30	終了予定なし	5	5	5	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・調達に際しては一般競争とすることにより、競争性・透明性の確保に努めているものの、１者応札となっている状況も見受けられることから、引き続き、十分な要因分析を行い、さらに競争性を高める方策を検討されたい。	5	5	▲0	▲ 0.052	縮減	・応札者拡大に向けて、近隣部隊等の掲示板への公告の貼り出し依頼、HP掲載の公告への仕様書添付、郵便入札の実施などを進めており、引き続き応札者拡大に向けての検討を行い、加えて執行実績の分析等により経費削減を図り、効率的な予算要求・執行に努める。 また、2年度概算要求において、契約実績を反映し、52千円の縮減を図っている。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0156 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
147	艦船の整備維持に必要な経費	S30	終了予定なし	26	26	26	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・調達に際しては一般競争とすることにより、競争性・透明性の確保に努めているものの、１者応札となっている状況も見受けられることから、引き続き、十分な要因分析を行い、さらに競争性を高める方策を検討されたい。	27	21	▲6	▲ 0.274	縮減	・応札者拡大に向けて、近隣部隊等の掲示板への公告の貼り出し依頼、HP掲載の公告への仕様書添付、郵便入札の実施などを進めており、引き続き応札者拡大に向けての検討を行い、加えて執行実績の分析等により経費削減を図り、効率的な予算要求・執行に努める。 また、2年度概算要求において、契約実績を反映し、274千円の縮減を図っている。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0157 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
148	老朽整備器材更新(機体)	不明	終了予定なし	497	632	877	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・28年度、30年度の執行額が予算額を超過している状況であることから、要因分析うえ、適切な予算要求、執行に努められたい。又、執行額が予算額を超過している理由については、レビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにでべき。 ・調達に際しては一般競争、公募とすることにより、競争性・透明性の確保に努めているものの、１者応札、１者応募となっている状況が見受けられるので、一般競争入札等を継続するのであれば、十分な要因分析を行い、さらに競争性を高める方策を検討されたい。	151	582	431	－	執行等改善	・執行額が予算額を超過している状況は、執行時の見積価格が予算要求時の見積価格と比して、部材費の高騰により、高くなったこと等が影響している。引き続き、最新の過去実績等を反映するとともに、詳細な内訳を入手し、コスト低減の余地がないか検証することにより、価格交渉等において更なるコスト縮減に努める。 ・応札者拡大のため、一者応札、一者応募の要因分析を行い、十分な公示期間の設定に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0158 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
149	航空機関連構成品修理費	S37	H30	－	17	15	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	平成30年度で終了する事業であり、本事業で得たノウハウについては、今後類似の事業への反映に努めたい。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0159 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
150	救難ヘリコプター（UH－６０Ｊ）の取得	H23	H40	4,289	4,289	4,227	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・随意契約に当たっては可能な限り詳細な見積内容を入手してコスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉等により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。 ・継続案件においても、習熟効果等を考慮した原価査定においてコスト低減を図る余地があるのではないか。また、コスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	16,818	3,529	▲13,288	－	執行等改善	・会社との綿密な調整により、米国の機体との部品の共通化等の調達方法の精査を行うことで、コストの縮減を図り、効率的な予算要求、予算執行に努めている。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費	防衛省 － 0160 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
151	ＩＲＡＮ（航空機定期修理）経費等	S34	終了予定なし	23,692	23,079	21,509	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ライセンス等に基づく随意契約については、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努められたい。 また、引き続き、コスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	35,020	40,568	5,549	－	執行等改善	ライセンス等に基づく随意契約にあたっては、的確な原価監査及び商議等により価格面での適正化を図りつつ、直近のＩＲＡＮ実績を踏まえて工数や部材費等の適正化を図っている。今後も執行実績の分析及びコスト低減の検討を行い、更に効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0161 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
152	発動機オーバーホール	S47	終了予定なし	3,894	5,256	4,464	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年繰越があることから、計画においてオーバーホールすべき発動機のオーバーホールが遅れているのではとの印象を持たれることから、事業所管部局による点検欄に繰越理由を記載し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。 ・経費抑制の努力として、オーバーホール間隔の延長を既に行っているのであれば、その旨レビューシートに記載した方がよい。 ・ライセンス等に基づく随意契約については、原価精査や価格	4,762	3,615	▲1,147	－	年度内に改善を検討	・毎年度繰越があることから、事業管理の適正化に努める。 ・オーバーホール間隔の延伸については不断から検討しており、延伸可能なエンジンについては既に行っている。 ・随意契約については、原価精査を行い価格面での適正化に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0162 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
153	補助艦艇の統合音声通信装置交換機の改修	H17	H30	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、適切に対応する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0163 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
154	自給式呼吸器（ＳＣＢＡ）用吸気充填機等の装備	H20	H34	235	235	235	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。特にまとめ買いについて検討し、仮に検討済みであれば、検討状況をレビューシートに記載されていると国民が理解しやすいものになるのではないか。	124	－	▲124	－	執行等改善	契約にあたっては、引き続き、厳格な価格精査を行うことにより、価格面での適正化に努めるとともに、国民の理解を得られるよう、価格低減に係る取組みを継続していく。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0164 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
155	航空機整備器材修理費	不明	終了予定なし	2,363	2,363	2,201	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争契約に係る1者応札が散見される。要因について分析し、競争性を高める工夫に努め、複数社の参入において、価格の妥当性を追求されたい。 ・競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。	2,322	1,248	▲1,074	－	執行等改善	・１者応札となっている要因を分析し、十分な公示期間の設定により応札者の拡大を図る等、更なる競争性・透明性の確保に努める。 ・見積精査に当たり、直近の実績単価を参考とするだけでなく、詳細な内訳を入手し、コスト低減の余地がないか検証することにより、価格交渉等において更なるコスト縮減に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0165 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
156	航空機維持部品	S29	終了予定なし	46,053	43,226	55,097	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・連続して繰越があり、計画において整備すべき器材の整備が遅れているのではと印象を持ち、事業管理を適切に進めるべき。 ・事業の性質上、競争性を高めることが困難と思われるものについては、競争性のない契約とならざるを得ない事情が本当にあるかどうかを十分に検討し、やむを得ない場合には形式的な競争性を求めるよりは、随意契約とすることも検討し、可能な限り詳細な見積もりを入手してコスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉等により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。	54,828	99,222	44,393	－	執行等改善	・可能な限り繰越を発生させないよう関係会社と調整するとともに、納品までのリードタイムの短縮化や早期予算執行等に努める。 ・市場調査を十分に実施し、競争性のないものについては形式的な競争性を求めるのではなく随意契約とすることも検討するとともに、可能な限り詳細な見積りを入手して、更なる価格の妥当性向上に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0166 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
157	ｴﾝｼﾞﾝ･ｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ経費	H1	終了予定なし	6,833	5,897	4,718	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・整備間隔の延長の実施及び所要の改修をオーバーホール時に併せて実施する等のコスト低減策に取り組んでいることは評価できる。引き続き、更なる効率的な予算執行、予算要求に努められたい。 ・毎年度繰越が発生しており、適正な予算要求、予算執行に努めるべき。	7,884	7,496	▲388	－	執行等改善	契約実績の分析及びコスト低減の検討を行うなど、今後も引き続き更なる効率的な予算執行、予算要求に努めるとともに、繰越の要因を分析・特定し、その是正に努めていく。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0167 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
158	航空機修理費（空自）	不明	終了予定なし	205,492	206,832	201,548	・公募を実施した結果、応札者が一者応札となっているものについて、事業の性質上、競争性を高めることが困難と思われるものは、十分に内容を精査し透明性を確保したうえで、形式的な競争性を求めるのではなく、随意契約とし、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努めることも検討すべき。 ・また、一般競争契約において、一者応札の状況が多数あることから、競争性の拡大に関する検討を行い、競争性向上に努められたい。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	208,988	164,071	▲44,917	－	執行等改善	応札者が１者応札となっている契約について、事業の性質上、競争性を高めることが困難であるものについては十分に内容を精査し透明性を確保したうえで随意契約とするとともに、的確な原価監査及び商議等により価格面での適正化を図る。また、各種入札者の誘引施策を検討し、競争性向上に努めるとともに、引き続き契約実績の分析及びコスト低減の検討を行う。	「新しい日本のための優先課題推進枠」18,397	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費 （大事項）特定防衛調達航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0168 － 00	－ －	－ －		その他	○		

様式1

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度当初予算額 A	平成３２年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況	反映状況 反映内容	備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
159	連絡偵察機（ＬＲ－２）の取得	H26	終了予定なし	－	125	117	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・継続案件においても、習熟効果等を考慮した原価査定においてコスト低減を図る余地があるのではないか。 ・契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	56	1,749	1,693	－	執行等改善	・継続案件においては、習熟効果等を考慮した原価査定によるコスト低減の効果について分析するなど、更なるコスト削減に努める。 ・契約実績の分析及びコスト縮減の検討等を実施し、引き続き効率的な予算要求及び執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費	防衛省 － 0169 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
160	一般用救命装備品等	H17	終了予定なし	1,069	1,080	1,034	・支出先リストを参照すると高落札率となっており、31年度の見込みを含めてみた場合、年度ごとの単位当たりコストは増加傾向にあり、価格が高止まりになっている印象を持つ。 ・更新の時期もあると思料するが、調達規模も十分にあり、複数年度の調達をまとめることにより、スケールメリットを図る余地があるのではないか。 ・アウトカムが任務遂行できた救難隊の数、航空団等の数となっているが、これは当該任務を持つ救難隊及び航空団等は100%任務遂行に当たれたという意味か。アウトカムの基準がわかりにくい部分がある。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	1,380	1,399	19	－	執行等改善	・一般競争入札により応札者を募るなど、競争性の確保に努めているものの、救命装備品は自衛隊特有の装備品であり、その性能を満たす製品を製造可能な会社が少ないこと、また、それらを維持補修する技術を有する会社が限定的であることから、高落札率になっていると考えられる。 ・年度毎の（１種類当たりの）単位コストが高止まりしているとの指摘があるが、これは、特定の種類において調達している部品等の調達数量が増加したことに起因し１種類当たりの単位コストが増加したものであって、各部品等の調達単価が増加したわけではないことから、決して高止まりになっているわけではない。 ・一方、防衛省としても、引き続き、契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を行い、その結果を反映することにより、効率的な予算要求及び予算執行に努める。 ・なお、アウトカムについては、救難隊及び航空団等の任務が１００％任務遂行に当たれたという意味である。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 （項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0170 － 00	－ －	－ －		その他			
161	名古屋空港着陸料	H17	終了予定なし	975	975	871	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、関係法令等に基づき、適正な予算要求及び予算執行に努められたい。	916	916	－	－	現状通り	・名古屋空港着陸料は自衛隊の練成訓練等に不可欠であり、引き続き、関係法令等に基づき、適正な予算要求及び予算執行に努める。	－	統合幕僚監部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0171 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
162	通信機器等修理	S41	終了予定なし	404	404	346	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・事業の特性上、競争性が働きづらく、競争性による価格の妥当性を高めることは困難であると思われるものについては、十分に内容を精査し、透明性を確保したうえで、随意契約とし、可能な限り詳細な見積内容を入手してコスト縮減の余地を検討し、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努めることも検討すべき。	410	333	▲77	－	執行等改善	・仕様内容を精査し、透明性を確保したうえで随意契約への移行の検討を行う。 ・その際、コスト縮減の余地を検討し、厳格な原価査定や適切な価格交渉等を行い、更なる価格の適正化に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0172 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
163	音響測定艦（ＡＯＳ）	H29	H32	943	943	940	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・単位当たりコストについて、「見積及び契約実績を広く反映している」との記載だが、これらから単位当たりのコストが妥当とは言い難いのではないか。契約相手先の言い値ではなく、部材等の市価比較や費用対効果の面において分析し単位当たりコストが妥当かレビューシートにもわかりやすく記載し、併せて、価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。	5,301	16,041	10,740	－	執行等改善	保有・建造の必要性及び事業概要や国費投入の必要性について、わかりやすく丁寧に説明することで、国民の理解が得られるよう努める。 随意契約にあたっては、引き続き、習熟効果等を考慮した厳格な原価査定や価格交渉等による価格面での適正化に努める。 今後も公募による技術審査を行うことで、更なる競争性の向上に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費 （大事項）艦船建造に必要な経費	防衛省 － 0173 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
164	航空機搭載通信機器維持修理	S47	終了予定なし	7,337	7,430	5,942	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。 ・随意契約に当たっては、可能な限り詳細な見積内容を入手し、コスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。	－	4,712	4,712	－	年度内に改善を検討	・随意契約を含む競争性が働きづらい契約について、原価精査等により価格面での適正化、低減に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0174 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
165	航空機修理費（海自）	S30	終了予定なし	23,541	19,082	18,359	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度繰越を発生させているところ、計画において整備すべき機材の整備が遅れているのではと印象を持ち、事業管理を適切に進めるべき。 ・一般競争契約に係る1者応札が散見される。要因について分析し、競争性を高める工夫に努め、複数社の参入において、価格の妥当性を追求されたい。 ・競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。	37,121	39,775	2,654	▲61	縮減	・繰越が発生を極限するよう事業管理に努める。 ・一般競争入札において１者応札になっているものについて、要因を分析し、改善可能な部分について改善を図っていく。 ・随意契約などの競争性が働きづらい契約を含め、原価精査を行うなど、価格面の適正化、効率化に努める。 ・執行実績を踏まえて上で、概算要求数量等を精査することにより、60,532千円の縮減を図ることができた。	「新しい日本のための優先課題推進枠」7,497	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費 特定防衛調達航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0175 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
	施策名：1-(1)周辺海空域における安全確保、1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(5)大規模災害等への対応、1-(6)情報機能の強化																										
166	大型通信電子器材の外注整備	S55	終了予定なし	318	318	312	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・交換部品の官給化を図ることによるコスト節減努力は認められる。他方、落札率が高いことから、その要因を分析し、更なるコスト低減や効率化に努められたい	318	658	339	－	執行等改善	落札率が高いことについて、その要因を分析し、更なるコスト低減や効率化の向上を図っていく。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0176 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
167	対潜資料隊用器材の借上げ	H3	終了予定なし	1,215	1,215	1,053	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・コンピュータ等の借料等は、機材の更新時には既存企業以外の事業者の参入の見込みがあることから、次回の更新時に向けて新規参入の確保に努められたい。	1,128	1,401	273	－	年度内に改善を検討	次回の更新時に新規参入が確保できるよう改善を検討する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0177 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
	施策名：1-(1)周辺海空域における安全確保、1-(5)大規模災害等への対応																										
168	救難飛行艇（ＵＳ－２）の取得	H17	終了予定なし	9,320	9,320	9,417	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札を行っているものの１者応札となっている状況が見受けられる。一般競争入札を継続するのであれば、十分な要因分析を行い、さらに競争性を高める方策を検討されたい。 ・供給者が限られ応札可能者数が少ない状況なのであれば、そうした旨を記載し、対外的に説明を行う方がよいのではないか。	16,003	7,859	▲8,145	－	年度内に改善を検討	・一般競争入札で１者応札となっているものは、要因分析を行い、競争性を高める方策を検討する。 ・本事業は防衛省で開発した航空機のため、応札可能な業者が限られるものが多いが、契約情報については防衛装備庁のホームページで既に公表している。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費	防衛省 － 0178 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
169	ＵＳ－１Ａ／Ｕ－３６Ａ／ＵＳ－２型航空機の整備業務の民間委託	H5	終了予定なし	856	856	856	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・競争性が働く見込みがないのであれば見積精査に当たり、直近の実績単価を参考とするだけでなく、詳細な内訳を入手し、コスト低減の余地がないか検証し、価格交渉等において更なるコスト縮減に努めて欲しい。 ・在庫や将来の必要数を勘案したうえでの修理数量の精査、定期修理間隔やオーバーホール間隔の見直しなど、コスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、更に効率的な予算要求、予算執行に努められたい	877	1,039	163	－	年度内に改善を検討	・詳細な内訳を入手するなどにより、コスト低減に努める。 ・本事業の内容の精査に努め、効率的な予算要求、執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0179 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
170	政府専用機（Ｂ－７７７）の取得	H26	H30	－	29,676	28,873	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	平成30年度に終了する事業等であり、予定通り事業を終了する。本事業で得たノウハウについては、今後、類似の事業への反映に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0181 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
	施策名：1-(1)周辺海空域における安全確保、1-(6)情報機能の強化																										
171	滞空型無人機等の取得(省統一)	H27	終了予定なし	34,409	4,733	4,641	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、米国と調整を密にし、適正な価格低減の取組を推進されたい。 また、諸外国の情報を入手したり、原価の情報を入手する等、可能な限り、滞空型無人機の取得価格の妥当性について、レビューシートに記載するなど国民の理解を得るための工夫をすべき。	7,994	11,430	3,435	－	現状通り	・引き続き、米国と調整を密にし、価格低減の取組を推進するとともに、諸外国及び原価の情報の入手に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費	防衛省 － 0182 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象	○		
	施策名：1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応																										
172	甲類（その他）	H17	終了予定なし	43,969	63,376	61,411	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・平成28年度、29年度の執行において、連続して繰越があることからその理由等について、昨年度と同様にレビューシート上で明らかにし、執行の妥当性について国民の理解が得られるようにすべき。 また、引き続き、契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	24,701	16,635	▲8,066	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、レビューシートの記載を変更し、企業等への聞き取り・市場調査によりコスト低減方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0183 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
173	乙類（武器器材）	H17	終了予定なし	2,472	2,472	1,769	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札により競争性を確保しているとのことであるが、結果的に一者応札かつ落札率100%の状況が散見されることから、要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにおいて説明し、事業者選定及び価格の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに応札者拡大のための検討を実施し、競争性の向上に努められたい。（継続） ・随意契約に当たっても、可能な限り詳細な見積内容を入手し、コスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。（継続）	1,345	702	▲643	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、企業等への聞き取り・市場調査を実施し、一般競争入札における一者応札の要因分析を行い、競争性の拡大に関する検討を行うとともに、更なるコスト低減方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0184 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
174	武器備品等の損耗更新	H17	終了予定なし	1,162	830	1,008	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争契約に係る1者応札が散見される。要因について分析し、競争性を高める工夫に努め、複数社の参入において、価格の妥当性を追求されたい。 ・競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。 ・契約実績の分析だけでなく、他の事業を参考にまとめ調達の実施などのコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。（継続）	833	1,730	897	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、一般競争入札における一者応札の要因分析を行い、競争性の拡大に関する検討を行うとともに、更なるコスト低減方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0185 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
175	米国における実動訓練	H25	終了予定なし	703	703	809	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・執行率が改善され、事業が計画どおり進捗したと思料する。引き続き、計画的な事業の推進及び経済性を留意した執行に努められたい。	9	632	623	－	現状通り	引き続き、先行的かつ綿密な部隊及び関係機関との調整を実施することにより訓練実施内容の早期具体化を図り、予算要求に反映するよう努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」632	防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）統合幕僚監部の運営に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）訓練・演習の実施に必要な経費 衛生活動の実施に必要な経費	防衛省 － 0186 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
176	駐屯地管理用等車両の損耗更新	H17	終了予定なし	－	2	－	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・29年度に繰越を行っているが、30年度に支出がない理由についてレビューシートへ記載し、支出を行わなかった妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。また、事業終了について「終了予定なし」となっているが、当初予算が計上されておらず、且つ、今後の計画についても何ら記載がない。事業が続くのであれば、レビューシートの「成果目標」、「活動指標」に今後の整備数量等を記載するべきではないか。	－	33	33	－	執行等改善	・駐屯地管理用車両の老朽化が進行し、損耗更新をする必要性があるため、事業自体は継続である。また、H31当初予算が査定されておらず計上していない。 ・事業は継続であるため、「成果目標」、「活動指標」に今後の整備数量等を記載した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0187 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
177	飛行点検機（Ｕ－６８０Ａ）の取得	H29	H32	4,759	4,759	4,759	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・レビューシートの記載に当たっては、当初契約時に実施した経済性・効率性の取組を継続的に記載し、国民への透明性の確保に努めて欲しい。	4,841	1,740	▲3,101	－	現状通り	機種選定により、競争性の確保及び取得価格の抑制に努めており、ビジネスジェット機を改修することで保守等の維持管理の経済性・効率性に努めている。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費	防衛省 － 0188 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
	施策名：1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(3)弾道ミサイル攻撃への対応																										
178	弾薬(陸上自衛隊（防大、防医大含む）)	S39	終了予定なし	63,594	52,681	51,094	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・事業内容の特殊性から、競争性の確保が困難な分野であるものの、引き続き、価格交渉や原価精査等による価格面での適正化を実施し、効率的な予算要求・予算執行に努められたい。他方、繰越が毎年度発生しており、計画的な事業の推進に努めてほしい。	57,036	68,051	11,015	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、まとめ発注等、コスト低減方策の検討を行うとともに、計画的な事業の推進を図り、効率的な予算執行、予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0189 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
	施策名：1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(3)弾道ミサイル攻撃への対応、1-(4)宇宙空間及びサイバー空間における対応、1-(5)大規模災害等への対応																										
179	TNCSの整備	H13	終了予定なし	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・民生品の活用や、維持整備方法の見直し等によりコスト削減が図られていることは評価できる。本事業で得られたノウハウについては次期システムの導入においても活用されたい。	－	－	－	－	執行等改善	・次期システムの導入において、これまでのノウハウを活用し価格の低減に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0190 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
	施策名：1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(3)弾道ミサイル攻撃への対応、1-(4)宇宙空間及びサイバー空間における対応、1-(5)大規模災害等への対応、1-(6)情報機能の強化																										
180	基地内光伝送路	H18	終了予定なし	43	43	37	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・依然として１者応札の状況が見られることから、競争性が働く見込みがないのであれば見積精査に当たり、直近の実績単価を参考とするだけでなく、詳細な内訳を入手し、コスト低減の余地がないか検証し、価格交渉等において更なるコスト縮減に努めて欲しい。	39	109	70	－	執行等改善	・入札における競争性を確保するため、見積りの精査を実施するとともに、コスト低減の方策について追及する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0191 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
	施策名：1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(3)弾道ミサイル攻撃への対応、1-(5)大規模災害等への対応																										
181	乙類（衛生器材）	S39	終了予定なし	595	466	532	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・落札率100%となっているものが多数見受けられることから、十分な要因分析を実施し、その結果をレビューシートに記載することにより支出先選定及び価格の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに、その分析結果を踏まえ応札者拡大のための検討を行い、競争性の確保に努められたい。	276	455	180	－	執行等改善	・行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、落札率１００％となっているものに関して十分な要因を分析するとともに、装備品の仕様等を見直すなどして、応札者拡大のための検討を行い競争性の確保に努める。	－	人事教育局 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0192 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			

様式1

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度当初予算額 A	平成３２年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況	反映状況 反映内容	備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
182	乙類（車両）	H17	終了予定なし	19,360	11,712	11,603	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年繰越がある(特に平成30年度は繰越額が大きい）ことから、計画において整備すべき車両の整備が遅れているのではとの印象を持たれることから、事業所管部局による点検欄に繰越理由を記載し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。 　一者応札及び一者応募かつ落札率100%が多いことから、引き続き、応札者拡大のための検討を行い、競争性の確保に努められたい。 　事業所管部局による点検・改善欄において、活動実績は当初見込んだ台数を整備していることから、見込みに見合ったものであると記載されている。しかし、アウトプットを見ると見込みと活動実績に相当な乖離があることから、レビューシートに具体的にその内容を記載し国民への説明責任を果たすべき。	4,259	4,554	295	－	執行等改善	・補正予算で取得した同額相当分の繰り越しについては、需要増に伴い、製造に不測の日数を要したため、翌年度に繰り越したもの。 ・修理費で購入するものの多くは、防衛専用車両であり、高落札になるものと考えれられるが、一者応札の要因分析を行い、競争性の拡大に関する検討を行うとともに、更なるコスト低減方策等の検討を行い、引き続き効率的な予算執行、予算要求に努める。 ・事業所管部局による点検・改善欄において、活動実績は当初見込んだ台数に対し、活動実績に相当な乖離があることについては、現時点での決定台数を入力しし修正した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0193 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
	施策名：1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(3)弾道ミサイル攻撃への対応、1-(5)大規模災害等への対応、1-(6)情報機能の強化																										
183	地理情報システムの整備（レンタル料）	H4	終了予定なし	525	525	525	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・情報システムの機器の借り上げにおいては、継続的に既存の会社が受注する傾向があり、既存の会社の有利性において競争性が働きづらいものと思料するが、次期契約に向けて、複数社の参入の工夫（働きかけ等）をし、それでも競争性が働きづらいものであれば、一般競争における価格の妥当性追求には限界があることから契約方式の妥当性を検証のうえ、価格面に注力した取組を推進し、価格の低減に努めてほしい。	535	528	▲7	－	執行等改善	システム整備計画を見直し、予算要求に伴う見積もり要件、要求内容をさらに具体化し、予算要求額を精緻化することで、適切な予算要求、予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0194 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
	施策名：1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(3)弾道ミサイル攻撃への対応、4-(2)部隊等の各種支援機能の強化																										
184	自衛隊施設整備	S29	終了予定なし	171,075	152,404	141,979	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・公開プロセスにおいて指摘された一者応札の改善に係る取り組みを引き続き推進し、効果の検証までのプロセスを確実に進められたい。 ・毎年度繰越を発生させているところ、計画において整備すべき施設の整備が遅れているのではと印象を持ち、事業管理を適切に進めるべき。	115,762	119,691	3,929	－	執行等改善	・令和元年度は、平成３０年度アンケート調査結果を各地方防衛局に周知し、ＨＰにも公表し、情報の発信を行う。さらに、改善の効果が高いと整理された要因について、専門家の知見を活用しつつ対策案を立案するとともに、効果検証のための評価手法を検討する。また、事業者へのヒアリング等を引き続き実施する。 ・当初計画どおりに施設の整備が完了するよう、適切な事業管理を行っているところであるが、やむを得ず繰越制度を活用した事業であっても、例えば、繰越した事業の早期契約、建設工事の工程の見直しなどにより、適切な事業管理により一層努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」12,367	整備計画局	一般会計	（項）防衛本省施設費 （大事項）防衛本省施設整備に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）衛生活動の実施に必要な経費 運用基盤等の整備に必要な経費 （項）地方防衛局施設費 （大事項）地方防衛局施設整備に必要な経費 （項）防衛装備庁施設費 （大事項）防衛装備庁施設整備に必要な経費	防衛省 － 0195 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
	施策名：1-(2)島しょ部に対する攻撃への対応、1-(5)大規模災害等への対応																										
185	輸送機（Ｃ－２）の取得	H23	H38	41,731	41,731	42,376	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・随意契約に当たっても、可能な限り詳細な見積内容を入手し、コスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。 　また、競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組（習熟効果等を踏まえた生産性の向上）をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。	11,376	48,761	37,385	－	執行等改善	引き続き原価精査及び価格交渉等により価格面での妥当性の向上及び適正化に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」4,943	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費	防衛省 － 0196 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
186	乙類（需品器材）	S29	終了予定なし	13,765	8,426	8,155	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・繰越の状況が継続していることから、計画において整備すべき個人用装備品の更新が遅れているといった印象を持ち、事業管理を適切に進めるべき。（外部要因はやむを得ない面もあるが、毎年度繰越が発生しており、適正な予算執行に努めるべき） ・一般競争入札を実施しても１者応札であったり、不調の結果、随意契約となる事例が見受けられることから、競争性を高めるための方策等を検討し、更なるコスト削減に努められたい。	4,426	7,275	2,849	－	執行等改善	繰越額が発生するのはやむを得ない面があるものの、計画通り予算の執行に努めるとともに、応札者拡大の方策等の検討も含め、効率的な予算執行に努めていく。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0197 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
	施策名：1-(3)弾道ミサイル攻撃への対応																										
187	イージス艦へのＢＭＤ機能の付加	H24	H31	7,749	7,772	7,687	・ＦＭＳ調達に限定されるものについては、引き続き、米側に経費節約努力の徹底を要請し、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。他方、「装備工事、ＶＬＳ改造器材の調達」については、公募後、応募者が一者だったことから随意契約を行ってるが、一者応募となった要因を分析し、その理由をレビューシート上に記載するべきであり、また、経済性、効率性の工夫はどういったことを取り組んでいるのかについてもレビューシートでは確認することができないことから、国民への説明責任を果たすうえでも費用対効果や健全化の取組（経済性、効率性）をレビューシートにわかりやすく記載すべきではないか。	終了予定	・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	3,637	570	▲3,067	－	予定通り終了	日米会議等において、調達価格の内訳の開示を継続的に要求するとともに、仕様内容、対象機器等の見直しを実施し、減額に努めた。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0198 － 00	－ －	－ －		その他			
	施策名：1-(4)宇宙空間及びサイバー空間における対応																										
188	ファイル暗号化ソフトの維持(9機関共同)	H22	終了予定なし	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	30年度の執行はないが、次回の発注の際には適切に経済性、効率性を追求し、予算要求、予算執行に反映されたい。	137	70	▲67	－	執行等改善	発注時に経済性、効率性を追求し、適切な予算要求、予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛省一般行政に必要な経費 施設等機関等の運営に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 航空自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛装備庁共通費 （大事項）防衛装備庁一般行政に必要な経費	防衛省 － 0199 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
189	サイバー攻撃対処のための効果的な人材育成・確保手法の調査研究(e-ラーニング用体験型コンテンツの検討)	H27	H30	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	所見を踏まえて、類似の事業に適切に反映するよう努める。	－	整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人事教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0200 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
190	サイバー攻撃対処のための官民連携に係る共同訓練の実施	H26	終了予定なし	21	21	20	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・過去の指摘を踏まえ、引き続き複数応札があり、競争性の拡大が図られたことは評価できる。引き続き、契約実績等の分析を行い、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	25	25	▲0	－	現状通り	御指摘を踏まえ、引き続き、応札者拡大による競争性の確保に努めるとともに、契約実績等の分析を行い、効率的な予算要求、予算執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」25	整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0251 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
191	サイバーセキュリティに関する部外委託教育	H30	終了予定なし	1	1	1	・契約方式は随意契約となっているが、性質上やむを得ず、適切な印象である。 ・昨今の環境においても、サイバーセキュリティ分野の育成は重要であることから、計画的な人材育成及び教育を終了した者におけるＯＪＴ教育等を通じた部内教育を充実することにより、さらに有効な事業になるのではないか。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	4	9	5	－	現状通り	・外部有識者等の所見を踏まえ、引き続き適切な対応に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」9	整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人事教育施策の実施に必要な経費	防衛省 新30 － 0001 － 00	－ －	－ －		前年度新規			
	施策名：1-(4)宇宙空間及びサイバー空間における対応、1-(6)情報機能の強化																										
192	陸自電算機防護システムの整備	H16	終了予定なし	1,327	1,327	1,233	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・引き続き、一者応札の案件が見受けられるが、昨年度のレビューシートにおいて、「一者応札の案件に関して、その要因分析を実施し、改善または競争性確保を図る」とされていたが、レビューシートに記載されておらずどのように分析し改善を図ったのかがわからない。レビューシートに記載されたい。 　また、分析した結果、競争性の働く見込みがないのであれば、十部に内容を精査し透明性を確保したうえで、可能な限り詳細な見積内容を入手してコスト縮減の余地を検討し、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努めることも検討すべき。	1,472	1,441	▲31	－	執行等改善	システム整備計画を見直し、予算要求に伴う見積もり要件、要求内容をさらに具体化し、予算要求額を精緻化することで、適切な予算要求、予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0201 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
	施策名：1-(5)大規模災害等への対応																										
193	一般車両更新分	S29	終了予定なし	42	31	23	・平成30年度の予算の状況を見ると、補正予算で取得した金額とほぼ同等額相当分が繰り越しとなっているが、理由等についてレビューシート上で明らかにし、国民への説明責任を果たすべきではないか。 ・一般競争入札により入札参加者を多く募り競争性を確保しているとのことだが、結果的に1者応札かつ高落札率となっている。何が要因であるのか分析を行い、応募者数の拡大を図る方策を検討し、競争性確保に努められたい。	事業内容の一部改善	・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	21	21	0	－	執行等改善	予算制約を踏まえつつ、更新車両に優先順位を付与し経済的な執行に努める。また、30年度は入札不調による繰り越しが発生したため、引き続き予算の早期執行及び入札の競争性確保に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛省 － 0202 － 00	－ －	－ －		その他			
194	校内電子交換装置保守点検	S30	終了予定なし	2	2	2	・競争性の確保について、保守点検といった特性上、納入会社以外の参入の見込みがないのであれば、随意契約へ移行し見積精査等の価格面に注力したほうが経済性・事務の効率化が高まるのではないか。	事業内容の一部改善	・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	2	3	1	－	年度内に改善を検討	部外有識者の所見を踏まえ、引き続き、執行実績の分析等を行い、効率的な予算執行・予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0203 － 00	－ －	－ －		その他			
	施策名：1-(5)大規模災害等への対応、1-(6)情報機能の強化																										
195	ヘリコプター映像伝送装置の整備等	H7	終了予定なし	156	157	241	・予算額・執行額を参照すると、繰越額が大きいことから、要因について分析し、結果をレビューシートに記載することにより、繰越の妥当性について国民の理解が得られるようにするとともに、分析結果を踏まえた適切な予算執行に努める必要がある。また、前年度に引き続き、執行額が予算額を大幅に超過していることから、予算を計上するにあたっての調整が十分なものでなかったのではないか。どのような事情があったのかについてレビューシートにおいて説明するとともに今後の要求の際には十分な調査・調整を実施し、適切な予算計上に努められたい。 ・当該装備品がどの程度、汎用性のあるものなのか、既製品をベースに改良を加えているのかが不明である。また、陸上自衛隊の要求仕様は海上自衛隊や航空自衛隊と異なるのか、警察、消防、その他（地方自治体）と、どの程度異なるのかも不明である。その要求仕様の程度に応じて、修理部品の一括調達又は共同調達を行うことが可能となる場合、更なるコスト低減に繋がることから、当該装備品のファミリー化を検討してはどうか。	事業内容の一部改善	・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	159	18	▲141	－	執行等改善	繰越額が大きくなった要因は、ヘリコプター映像伝送装置の故障部品の取得において、納期が年度内に納まらないため繰越したものである。 また、執行額が予算額を超過している要因については、可動率の増加、更に器材の老朽化や十分な予算の確保が出来ていないものと分析している。引き続き、適切な予算の計上に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0204 － 00	－ －	－ －		その他			
	施策名：1-(5)大規模災害等への対応、3-(1)二国間・多国間共同訓練・演習の実施																										

様式１

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度 当初予算額 A	平成３２年度 要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
196	パシフィック・パートナーシップ	H19	終了予定なし	190	190	117	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・連続して不用額が発生していることから、要因の分析のうえ、適切な予算要求に努められたい。また、引き続き、契約実績の分析及び更なるコスト低減の検討を行い、効率的な予算執行に努められたい。	189	182	▲7	▲10	縮減	今後も事業を継続していくにあたり、契約差額については、その要因を分析したうえで、引き続き、競争性のある入札により効率的な調達の促進や出張費の早期確定によるディスカウント航空券を追求する等、予算執行の効率化に努めていく。 また、０２概算要求においては、旅運要員を縮小するとともに、活動用医薬品の調達品目及び数量の精査を行い、９，９０１千円の縮減をした。	「新しい日本のための優先課題推進枠」144	防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 （項）自衛官給与費 （大事項）自衛官の給与に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）訓練・演習の実施に必要な経費 衛生活動の実施に必要な経費	防衛省 － 0205 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
施策名：1-(6)情報機能の強化																											
197	国外ＦＡＸニュース等の取得（５機関共同）	H24	終了予定なし	111	111	96	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を行い、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。 ・一般競争入札を実施しているものの、一者応札の状況が見受けられる。原因の分析を行い応札者拡大のための検討を実施し、競争性の向上に努められたい。	149	255	106	－	執行等改善	－	防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0206 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
施策名：2-(2)在日米軍の駐留をより円滑かつ効果的にするための取組																											
198	訓練移転費の負担	H8	終了予定なし	884	884	719	・単位当たりコストについて、28年度及び29年度と比べ30年度は訓練１回当たりの執行額が大幅に増えているが、公表可能な範囲で増えた要因について、レビューシートに記載し国民への説明責任を果たすことが必要ではないか。また、歳出予算科目の「在日米国軍隊特別協定光熱水料等支出金」だけでは、その支出の殆どが、光熱水料の支出と見られることからことから、経費の内訳を公表可能な範囲で示し、国民への説明責任を果たすべきではないか。 ・また、引き続き、米側に対する経費節約努力の徹底を要請するとともに、効率的な予算執行、予算要求に努められたい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	860	1,228	368	－	現状通り	・外部有識者の指摘を踏まえ、執行額の増額要因及び経費の内訳を備考欄に記載した。 ・また、引き続き、米側に対し効率的な訓練計画の策定を要請し、十分調整の上、その結果を概算要求に反映させる。予算執行にあたっては、日米間で緊密な連携を図って、より効率的な執行に努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛省 － 0207 － 00	－ －	－ －		その他			
199	駐留軍等労働者の労務管理	SS3	終了予定なし	151,552	151,553	150,357	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・労務費の負担についてはコスト削減は困難であるが、一者応札の案件（健康診断）について参入障壁を検証し、改善を図り、競争性による価格の妥当性を高める余地があるのではないか。	152,709	154,347	1,638	－	現状通り	一者応札案件については、参入障壁を検証し、改善措置を検討の上、引き続き、競争性による価格の妥当性を高めるよう努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛省 － 0208 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
200	提供施設の整備	SS4	終了予定なし	20,600	16,408	16,090	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一者応札となっているものについては高落札率となる傾向があるため、十分な要因分析を実施し、競争性の確保に努められたい。	20,725	20,730	6	－	年度内に改善を検討	引き続き、過去の発注実績を参考にし要因分析を行い、また、原則一般競争入札を採用しており、年度当初に発注見通しを公表するなど入札情報の幅広い周知を行い、競争性を高めるよう努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛省 － 0209 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
201	光熱水料等の負担	H3	終了予定なし	23,237	23,237	23,230	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、米側に経費節約努力の徹底を要請し、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	21,934	22,261	327	－	現状通り	米側が実施する節約に係る取組を踏まえ、更にどのような節約が可能かについて、引き続き米側と協議していきたいと考えている。	－	地方協力局	一般会計	（項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛省 － 0210 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
202	提供施設移設整備	S38	終了予定なし	4,327	4,270	4,264	・予算額・執行額を参照すると毎年度、予算の繰越が発生している。米国との調整に苦労する面は理解するが、計画的な事業の推進に努めてほしい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	729	1,436	706	－	現状通り	日米間の合意に基づき、当該施設・区域内にある建物、工作物等を既存の施設区域内に集約・移設するため、必要な経費を算定しているところ、執行に関しては、執行状況の十分な把握を行いつつ計画的な事業の推進に努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛省 － 0211 － 00	－ －	－ －		その他			
203	米軍再編関係経費	H18	終了予定なし	173,958	155,335	113,157	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度繰越額が大きく、米軍との調整等によりやむを得ないものと思われるが、計画において進めるべき事業に遅れが生じているとの印象を持ち、事業管理を適切に進めるべき。また、執行率が72%と低く、米との調整状況や予算の執行状況を分析の上、予算や執行へ適切に反映されたい。	119,035	－	▲119,035	－	年度内に改善を検討	－	地方協力局	一般会計	（項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組の実施に必要な経費	防衛省 － 0212 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
204	SACO関係経費	H8	終了予定なし	5,041	4,086	3,736	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・毎年度繰越額が大きく、米軍との調整等によりやむを得ないものと思われるが、計画において進めるべき事業に遅れが生じているとの印象を持ち、事業管理を適切に進めるべき。	14,599	－	▲14,599	－	現状通り	繰越については、予算要求後に、地元との調整に時間を要したり、天候により工事が実施できなかったこと等、やむを得ない事情によるものであるが、工法の見直しにより工期の短縮を図る等、計画に遅れが生じないよう事業管理を適切に行っている。 また、執行率の低さについても、予算要求後に、地元との調整により事業計画を変更したこと等によるものであるが、「令和２年度予算の概算要求について」（令和元年７月３１日関議了解）に基づき、予算編成過程において地元等との調整状況や予算の執行状況を分析し、予算要求に適切に反映するとともに、執行においても事業が実施できるよう調整してまいりたい。	－	地方協力局	一般会計	（項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）沖縄に関する特別行動委員会最終報告に盛り込まれた措置の実施に必要な経費	防衛省 － 0213 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
205	独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構運営費交付金	H14	終了予定なし	3,020	3,020	3,020	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・日米地位協定の規定に基づき、引き続き、円滑かつ公益性のある事業の推進に努められたい。 物件費の執行に当たっては引き続き、競争性の確保を図り、価格の妥当性を追求してほしい。	3,270	3,373	103	－	現状通り	本事業目的に鑑み、引き続き平成３１年３月に認可された事業計画に掲げている事項について、適切に実施するよう努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構運営費 （大事項）独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構運営費交付金に必要な経費	防衛省 － 0214 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
206	特別調達資金事務処理システムに要する経費	H17	終了予定なし	117	117	86	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・システム借料は、機材の更新時には既存企業以外の事業者の参入の見込みがあることから、新規参入の確保に努められたい。また、次期更新時には、改善の方向性で示した取組を確実に実施されたい。	84	34	▲50	－	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえ、今後も適切な対応に努める。 ・次期更新に向けて、改善の方向性で示した取組に努める。	－	大臣官房	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 （項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛省 － 0215 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
施策名：2-(2)在日米軍の駐留をより円滑かつ効果的にするための取組、4-(8)地域コミュニティーとの連携																											
207	特定防衛施設周辺整備調整交付金	S49	終了予定なし	36,902	38,223	38,206	・「事業所管部局による点検・改善」に記載された、補助事業内容の厳密、補助事業者が実施した契約形態の把握、住民・市町村の満足度確認、活動実績の情報の発信に係る取り組みは評価できる。 ・防衛施設の安定的な維持により周辺される住民環境の是正に当たっては、引き続き、公平性の観点において無駄のない事業の推進に努めてほしい。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	37,169	23,811	▲13,358	－	現状通り	・防衛施設の安定的な維持により周辺される住民環境の是正に当たっては、引き続き、公平性の観点において無駄のない事業の推進に努めてまいる。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費 （項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組の実施に必要な経費	防衛省 － 0216 － 00	－ －	－ －		その他			
施策名：3-(1)二国間・多国間共同訓練・演習の実施																											
208	多国間・２国間交流	H25	終了予定なし	449	449	304	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度、予算の執行率が低い。事業の性質上困難な部分もあるかと思われるが、可能な限り予算の効率的な執行に努められたい。	470	472	3	▲6	縮減	訓練の実施内容は、訓練に先立って行う各種調整会議等を経て決定していたため、予算要求段階における訓練内容の確定は困難であるものの、先行的かつ綿密な関係国及び各部隊との調整により、訓練実施内容の早期具体化を図り、予算要求に反映するよう努める。 予算執行においては、執行実績を踏まえたとて、仕様内容の見直しや要求品目、数量を精査することにより、６３５千円の縮減を図ることができた。	「新しい日本のための優先課題推進枠」189	防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）訓練・演習の実施に必要な経費 （項）防衛協力・交流等推進費 （大事項）防衛協力・交流に必要な経費	防衛省 － 0217 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
施策名：3-(1)二国間・多国間共同訓練・演習の実施、3-(2)防衛協力・交流の推進																											
209	ハイレベル政策的交流	S45	終了予定なし	242	242	230	・事業の効果について、定量的に図ることは困難であると思われるが、レビューシートの「事業所管部局による点検・改善」欄において、例えば、具体的な事例を用いて必要性及び有効性の評価を行うなど、国民の理解を得られるための工夫が必要である。 ・レビューシートの「国費投入の必要性」の項目がしずれも説明になっておらず、記載方法の工夫が必要である。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	245	278	33	－	執行等改善	・アジア太平洋地域の安全保障環境の一層の安定化を図るためには、ハイレベル同士での交流を図ることは不可欠である。今後も事業を継続していくにあたり、引き続き執行実績を踏まえ、競算単価（航空賃）の見直し等により、概算要求に反映させるとともに、競争性のあるものは入札による効率的な調達を促進するとともに、出張者の早期確定によるディスカウントチケット購入を進めする等、予算要求・予算執行の効率化に引き続き努めていく。 ・レビューシートの「事業所管部局による点検・改善」欄の「国費投入の必要性」の3項目について、記載内容を修正した。	－	防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 航空自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛協力・交流等推進費 （大事項）防衛協力・交流に必要な経費	防衛省 － 0218 － 00	－ －	－ －		その他			
210	実務レベル政策的交流	H2	終了予定なし	192	192	131	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・航空券の割引制度を利用するなど、予算執行の効率化が図られていることが認められる。他方で一般競争入札を実施しているものの、一者応札の状況が見受けられることから十分な要因分析を実施し、応札者拡大のための検討を行い競争性の確保に努められたい。	108	106	▲2	－	執行等改善	・アジア太平洋地域の安全保障環境の一層の安定化を図るためには、実務レベル同士での交流を図ることは不可欠である。今後も事業を継続していくにあたり、引き続き執行実績を踏まえ、競算単価（航空賃）の見直し等により、概算要求に反映させるとともに、競争性のあるものは入札による効率的な調達を促進するとともに、出張者の早期確定によるディスカウントチケット購入を進めする等、予算要求・予算執行の効率化に引き続き努めていく。	－	防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 航空自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛協力・交流等推進費 （大事項）防衛協力・交流に必要な経費	防衛省 － 0219 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
211	部隊レベル対話	S44	終了予定なし	155	155	45	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・不用率が大きく、その理由として相手国と日程等の調整がつかず訪問が中止となったとのことであり、やむを得ないものと考えられるが、２ヵ年度連続でのことであり、あいやる面での分析を行い、適切な予算要求に努められたい。 ・また、引き続き、航空券の割引制度を利用するなど、予算執行の効率化に努められたい。	事業内容の一部改善	45	56	11	－	執行等改善	アジア太平洋地域の安全保障環境の一層の安定化を図るためには、部隊レベル同士での交流を図ることは不可欠である。今後も事業を継続していくにあたり、競争性のあるものは入札による効率的な調達を促進するとともに、出張者の早期確定によるディスカウントチケット購入を進めする等、効率的・効果的な予算要求・執行に努めていく。	－	防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）訓練・演習の実施に必要な経費 （大事項）人事教育施策の実施に必要な経費 （項）防衛協力・交流等推進費 （大事項）防衛協力・交流に必要な経費	防衛省 － 0220 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
施策名：3-(2)防衛協力・交流の推進																											
212	教育訓練履修給付金	H10	終了予定なし	101	100	98	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、効果的な給付金のあり方について不断に検討を行うとともに、留学生及び派遣国に対するアンケート調査を継続し、その調査結果を分析のうえ予算要求に適切に反映されたい。	125	136	12	－	現状通り	引き続き、適正な予算要求および予算執行の効率化に努めるとともに、今後も留学生や派遣国に対する意見聴取等を実施し、現状の把握に努め予算要求に反映する。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛協力・交流等推進費 （大事項）防衛協力・交流に必要な経費	防衛省 － 0221 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
213	ジブチ軍に対する災害対処能力強化支援	H28	終了予定なし	80	80	70	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業における支出割合の高いドーザー借上他について、他社の参入の余地がないか分析のうえ、レビューシートにおいても透明性を図ってほしい。 ・単位当たりコストの分析に当たって「ジブチ・・資源が限られて・・日本に比して高額」とあるが、地域の物価水準と比較した単位当たりコストの妥当性についても視野に経済性を高める余地がないか検証してほしい。	事業内容の一部改善	70	69	▲2	▲ 0.256	縮減	・地理的な特性もあり、他社参入や資源確保が困難な面があるものの、引き続き効率的な予算要求、執行に努める。 ・執行実績を踏まえた上で、要求品目を精査することにより、２５６千円の縮減を図ることができた。	「新しい日本のための優先課題推進枠」69	統合幕僚監部	一般会計	（項）防衛協力・交流等推進費 （大事項）防衛協力・交流に必要な経費	防衛省 － 0222 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
施策名：3-(3)能力構築支援の推進																											
214	能力構築支援事業	H23	終了予定なし	325	325	229	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・個人契約よりも法人を介した契約のほうが経済的な場合があることから、現地における宿舎等の借り上げと旅行代理店等を介した宿舎等の借り上げはどちらが経済的か検証のうえ、更なる経済性を追求してほしい。 ・また、執行率をみると70%となっており、契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	346	389	43	－	年度内に改善を検討	相手国等の事情により、事業日程等の確定に時間を要する場合が多く、また、急な変更もあるなど、調達に要する リードタイム等を踏まえると競争に寄りがたい場合が多いが、日程等が確実であるような事業については、宿舎や車両の借上等を役務契約として競争に付すなど、経済性の追求に努めている。引き続き、経済性に留意し、より適切な予算執行に努める。また、契約実績を分析し、適正な単価・数量に基づき積算を行い、より適切な予算要求・予算執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」389	防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 （項）防衛協力・交流等推進費 （大事項）能力構築支援に必要な経費	防衛省 － 0223 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象	○		
施策名：3-(4)海洋安全保障の確保																											

様式１

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度 当初予算額 A	平成３２年度 要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
215	海賊対処に要する経費	H21	終了予定なし	5,865	5,775	5,357	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組（見積精査等）をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。 ・少額随契について、同類の品目が散見されることから、一定の品目をまとめ一般競争入札にすることにより、競争性による価格の妥当性追求及びスケールメリットが期待できる余地があり改善に努められたい。	3,977	4,594	617	－	年度内に改善を検討	・競争性が働きづらい分野の予算執行について、ご所見のとおり見積もり精査等を行い、価格低減に努める。 ・少額随契の予算執行について、価格の妥当性及びスケールメリットが期待できる品目について精査・検討し、改善に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」4,001	統合幕僚監部	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）運用基盤等の整備に必要な経費 人事教育施策の実施に必要な経費 衛生活動の実施に必要な経費 （項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費 （項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0224 － 00	－ －	－ －	－ －		平成28年度対象			
施策名：3-(5)国際平和協力活動の実施																											
216	家族支援経費	H22	終了予定なし	37	37	45	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・執行額が予算額を超過している状況が継続しているので、要因分析のうえ、適切な予算要求、執行に努められたい。また、執行額が予算額を超過している理由については、レビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。	45	63	18	－	現状通り	・執行額が予算額を超過している理由は、艦艇の修理開始日及び終了日が流動的であることから、月の半ばで修理を開始又は終了した場合には、１カ月分のプロパイダ利用料が多くかかり、結果、執行額が予算額を超過する。プロパイダ利用料の計画について見直し、予算要求と執行のかい離の低減に努める。	－	人事教育局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0225 － 00	－ －	－ －	－ －		平成30年度対象			
施策名：4-(1)訓練・演習の充実・強化																											
217	部隊等における教育・訓練に要する経費	S28	終了予定なし	65,938	66,606	64,413	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・一般競争入札、公募を実施してるものの、一者応札、一者応募の状況が見受けられることから、要因分析を行い、更なる応札者等拡大のための検討を行うとともに、コスト低減や効率化に向けた工夫の検討に努められたい。	67,962	61,167	▲6,796	▲254	縮減	令和２年度概算要求においては、仕様内容の見直しや要求品目、数量を精査することにより、253,970千円の縮減を図った。 また、行政レビュー推進チームの所見を踏まえ、競争性を高める工夫や詳細な所定を入手して価格精査に当たり、引き続きコスト軽減に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」5,359	人事教育局 防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）統合幕僚監部の運営に必要な経費 （大事項）海上自衛隊の運営に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）人事教育施策の実施に必要な経費 訓練・演習の実施に必要な経費 運用基盤等の整備に必要な経費 衛生活動の実施に必要な経費 （項）防衛協力・交流等推進費 （大事項）防衛協力・交流に必要な経費	防衛省 － 0226 － 00	－ －	－ －	－ －		平成28年度対象	○		
218	入校、講習、研修等に要する旅費	S28	終了予定なし	1,890	1,890	1,779	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・旅費の執行について、引き続き、関係法令に基づくとともに、官用機の利用や部隊等における部内泊をするなど効率的かつ抑制的な執行に努められたい。	1,887	1,859	▲28	－	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、官用機の利用、部隊等における部内泊、旅行パック等の更なる活用といった効率的かつ抑制的な執行を図るとともに、引き続き効率的な予算要求及び関係法令に基づき適切な予算執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」7	人事教育局 防衛政策局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人事教育施策の実施に必要な経費 衛生活動の実施に必要な経費 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 － 0227 － 00	－ －	－ －			平成30年度対象			
219	部外講師の招へいに要する旅費	S43	終了予定なし	20	20	14	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・旅費の執行について、引き続き、関係法令に基づき、適切に実施されたい。	15	16	1	－	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き、官用機の利用といった効率的かつ抑制的な執行を図るとともに、効率的な予算要求及び関係法令に基づき適正な予算執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」0.4	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人事教育施策の実施に必要な経費 衛生活動の実施に必要な経費 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 － 0228 － 00	－ －	－ －			平成30年度対象			
施策名：4-(2)部隊等の各種支援機能の強化																											
220	庁内託児施設の整備	H19	終了予定なし	96	35	13	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札による一者入札が見受けられる。十分な要因分析を実施し、競争性の拡大を図るとともに、引き続き効率的な予算要求・執行に努められたい。	248	314	66	－	執行等改善	・一者応札になった要因は、一般競争入札における競争参加資格要件などが要因と考えられ、競争参加資格要件などを見直すなどして改善に努め、競争性の拡大を図り、効率的な予算要求・執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」314	人事教育局	一般会計	（項）防衛本省施設費 （大事項）防衛本省施設整備に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）運用基盤等の整備に必要な経費 衛生活動の実施に必要な経費	防衛省 － 0229 － 00	－ －	－ －			平成27年度対象			
221	市ヶ谷地区の維持管理に要する経費	H12	終了予定なし	7,067	6,723	5,760	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・調達単位及び契約期間の見直しや、企画書作成期間及び人員確保期間等変なる延長を行うなど競争性の確保に努めていることは評価できる。しかし、引き続き、一者応札が多いことから、入札に参加しなかった業者からのヒアリング結果を反映し、応札者拡大のための検討を行い、更なる競争性の確保に努められたい。 また、引き続き、契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	6,294	6,581	287	－	執行等改善	引き続き、契約実績の分析を行い、受注者や、入札に参加しなかった者の意見を踏まえつつ、受注者が保有すべき資格や人員体制など可能な限り見直し仕様書に反映するなどして競争性の拡大を図るとともに、効率的な予算要求、予算執行に努める。	－	大臣官房	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 施設等機関等の運営に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 航空自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）運用基盤等の整備に必要な経費 知的基盤の整備に必要な経費 （項）防衛装備庁共通費 （大事項）防衛装備庁一般行政に必要な経費	防衛省 － 0230 － 00	－ －	－ －	－ －		平成28年度対象			
222	特別借受宿舎	S39	終了予定なし	13,024	13,024	13,020	・金利が高利であり、早期に返金（買取）することを引き続き推進すべきである。なお、買取額は建設費の残額であり妥当であるとの判断であるが、買取までの金利を含めたキャッシュフロー全体でその妥当性を判断するべきであると思料する。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	13,107	12,783	▲324	▲489	縮減	・令和２年度概算要求においては、特別借受宿舎４７７戸の買取経費６，６７６百万円を計上している。令和元年度予算と比較して買取経費を１６５百万円増額したことにより買取の促進を図り、特別借受宿舎の早期解消と借受料の縮小に努めていくところであり、令和２年度概算要求では借受料を４８８，９７１千円低減することができた。 なお、金利の支払額低減に努めるため、買取については、原則として残金利額の大きい、直近の建設年度の特別借受宿舎から買い取ることとしている。	「新しい日本のための優先課題推進枠」39	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）運用基盤等の整備に必要な経費	防衛省 － 0231 － 00	－ －	－ －			その他			
223	一般借受宿舎	S48	終了予定なし	3,950	3,950	3,786	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・地域性等において対象の物件は限定的になると思料するが、貸主や仲介からまとめて賃貸する等により、価格交渉の余地があるとかから、コスト低減に係る取り組みを引き続き、推進してほしい。 　また、入居率は100%となっているのか、一般借受宿舎を借り受け、入居がなかった場合にコストがかかっているのであれば、借受けた宿舎を有効に活用してほしい。	4,059	4,334	274	▲26	縮減	・今後とも所要を踏まえ、まとめて賃貸することによるコスト低減への取り組みを積極的に取り組んでいく。 　また、職員の異動等に伴い一時的に借上宿舎が未入居になることがあるため、入居率を100%にすることは物理的に難しいが、可能な限り入居率が高くなるよう引き続き努めていく。 　なお、未入居宿舎については、入居の目途が立たなかった場合は、未入居宿舎の廃止等を行い経費の節減に努めており、令和２年度概算要求においては、未入居宿舎の廃止等を行うことにより、借上戸数を２０戸減らしたことで２５，９１４千円の縮減を図っている。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）運用基盤等の整備に必要な経費	防衛省 － 0232 － 00	－ －	－ －			平成29年度対象			
224	宿舎（建設等）	S37	終了予定なし	27,079	23,562	20,976	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度繰越を発生させているところ、計画において整備すべき施設の整備が遅れているのではと印象を持ち、事業管理を適切に進めるべき。 ・単位当たりコストをみると「原則一般競争入札・・」とあるが、すべての調達において複数社の参入を得ているのか。複数社の参加がなければ、競争性において、価格の妥当性を追求することは困難であることから、価格の妥当性について分析し、適正価格を追求する余地があれば、見積精査等において更なる経費調査を追求されたい。また、引き続き、一般応札の改善に係る取り組みを推進してほしい。	23,260	28,739	5,479	－	執行等改善	・宿舎建設は、年度をまたがる建設工事に付随して生ずる様々な事情を踏まえて進めなければいけない事業であり、ともすれば繰越をせざるを得ない現多の状況が発生することが想定されるが、いずれにせよ、引き続き事業計画の最適化に努めていくことをする。 ・入札については概ね複数者応札となっているものの、一部一者応札となっているところである。一者応札については、離島における工事等応札者が限られる地域があるものの、その他については、複数者が入札に参加しやすいよう十分な公告期間や工程を視野する等計画的に発注を行うことにより一者応札の改善に努めていく。	「新しい日本のための優先課題推進枠」1,711	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）運用基盤等の整備に必要な経費	防衛省 － 0233 － 00	－ －	－ －			平成28年度対象			
施策名：4-(2)部隊等の各種支援機能の強化、4-(3)人事教育施策の推進																											
225	緊急登庁支援用備品等	H23	終了予定なし	32	28	23	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を行い、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	16	23	7	－	現状通り	・備品等の損耗更新等の整備にあたっては、さらなる参入業者の増加に努め、引き続き適切な予算要求、執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」19	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）運用基盤等の整備に必要な経費 人事教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0234 － 00	－ －	－ －			平成28年度対象			
施策名：4-(2)部隊等の各種支援機能の強化、4-(5)防衛生産・技術基盤の維持・強化、4-(6)装備品の効率的な取得																											
226	相互防衛援助協定交付金	S29	終了予定なし	152	152	150	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、相互防衛援助事務所との間で経費の必要性について十分な協議を行い、引き続き適切な予算要求及び予算執行に努められたい。	152	153	1	－	現状通り	相互防衛援助事務所との間で経費の必要性について十分な協議を行い、引き続き適切な予算要求及び予算執行に努める。 また、公募にあたっては、応札者拡大のための検討を不断に実施し、更なる競争性の向上に努める。	－	大臣官房	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）相互防衛援助協定交付金等に必要な経費	防衛省 － 0235 － 00	－ －	－ －			平成27年度対象			
施策名：4-(3)人事教育施策の推進																											
227	大規模広報施設	H3	終了予定なし	293	293	254	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・一者応札、一者応募案件の分析を行い、更なる応札者等の拡大の検討を行うとともに、コスト低減や効率化に向けた工夫の検討に努められたい。	258	319	62	－	執行等改善	・２者以上の見積の取得やＨＰ等へ入札情報を広く掲載するなどして、価格競争によるコスト削減ができるよう努めていく。	－	大臣官房	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）運用基盤等の整備に必要な経費 人事教育施策の実施に必要な経費 民間資金等を活用した防衛施設整備に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 － 0236 － 00	－ －	－ －			平成29年度対象			
228	防衛大学校における教育訓練に要する経費	S28	終了予定なし	1,735	1,735	1,656	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・応札可能な事業者が複数見込まれる中で、一者応札となっている状況が散見されることから、十分な要因分析を実施し、応札者拡大のための検討を行い競争性の確保に努められたい。	2,170	2,066	▲104	▲19	縮減	・応札者拡大に向けて、近隣部隊等の掲示板への公告の貼り出し依頼、HP掲載の公告への仕様書添付、郵便入札の実施などを進めており、引き続き応札者拡大に向けての検討を行い、加えて執行実績の分析等により経費削減を図り効率的な予算要求・執行に努める。 　また、２年度概算要求において、契約実績を反映し、１８，８７２千円の縮減を図っている。	「新しい日本のための優先課題推進枠」457	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）運用基盤等の整備に必要な経費 人事教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0237 － 00	－ －	－ －			平成29年度対象			
229	自衛官等募集活動に要する経費	S28	終了予定なし	1,286	1,286	1,263	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き効率的な予算要求・執行に努めるとともに、体制と効果の適正性については「国防を担う優秀な人材を確保するための検討委員会」の検討結果を適切に反映して欲しい。	1,337	1,424	87	－	現状通り	引き続き、契約実績の分析を行い更なるコスト低減を検討し、効率的な予算要求及び予算執行に努めるとともに、「国防を担う優秀な人材を確保するための検討委員会」の検討結果を適切に反映する。	「新しい日本のための優先課題推進枠」5	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人事教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0238 － 00	－ －	－ －			平成28年度対象			
230	援護業務に要する経費	S45	終了予定なし	172	172	172	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・一般競争入札による一者入札が見受けられる。十分な要因分析を実施し、競争性の拡大を図るとともに、引き続き効率的な予算要求・執行に努められたい。	156	160	3	－	現状通り	競争性の拡大に努めるとともに、引き続き執行状況を把握し、効率的な予算要求及び予算執行に努めて参いりたい。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）運用基盤等の整備に必要な経費 人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0239 － 00	－ －	－ －			平成28年度対象			
231	募集事務地方公共団体委託費	S28	終了予定なし	83	83	82	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、各地方公共団体から提出される募集事務実績報告書から、委託費の執行状況を把握するとともに十分な分析を行い、その結果を反映することにより効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	84	85	0	－	現状通り	防衛省・自衛隊においては、厳しい募集環境が継続する中においても、優秀な人材を将来にわたり安定的に確保するため、地方の総合行政主体であり、地域社会と密接なつながりを有する地方公共団体と連携することが必要不可欠であると認識している。 今後も引き続き、毎会計年度終了後に行っている各地方公共団体からの募集事務実績報告により委託費の執行状況を把握するとともに、執行においては、年度途中の執行実績に応じた再配分を行うことにより更なる効率的・効果的な執行に努める。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0240 － 00	－ －	－ －			平成27年度対象			
232	自衛官等募集試験等に要する経費	S28	終了予定なし	269	269	265	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・一者応札となっているものが見受けられることから、引き続き、応札者拡大のための検討を行い、競争性の確保に努められたい。 　また、引き続き、契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	274	298	24	－	執行等改善	１者応札については、仕様書の見直しを実施し複数者が入札できる状況にするとともに、価格交渉を行い更なるコスト低減を検討し、効率的な予算要求及び予算執行に努める。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0241 － 00	－ －	－ －			平成30年度対象			

様式１

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度当初予算額 A	平成３２年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
233	自衛官等募集広報宣伝に要する経費	S28	終了予定なし	609	609	606	・成果実績は、自衛官等の採用した実績となっているが、本来は、本事業の広報が功を奏して自衛官を志望し入隊したケースの数ではないか。採用した人数を実績とするだけでは、広報がその結果をもたらしたとする根拠が不明確である。アウトカム、アウトプットが事業判断のため適切なものとなるように検討が必要である。 ・受験者に対し、何がきっかけで試験を決心したかを調査し、広報結果を評価することにより、既存事業の見直しによる縮減や効果がより広報の拡充を行い、効果的・効率的な予算要求、予算執行に努められたい。 ・また、国民には分かりにくい用語（非任期自衛官とは）があり、注釈等を用いて、より、国民が理解できるよう工夫をすべき。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	621	659	38	－	執行等改善	採用の多数を占める、自衛官候補生の３０年度志願時アンケートでは、志願に影響を与えた募集広告として、インターネット関係、イベント、テレビ雑誌等、ポスター等と回答した志願者が約６３％を占めていた。（その他は保護者・教師等２２．５％、特になし．９％等）また、志願の際に募集動画に影響を受けたかとの質問に対しては、５８．２％の志願者が、大いに影響を受けた又は少しの影響を受けたと回答しており、影響を受けていない又は動画を見たことがないの１１．９％を大きく上回っており、自衛官採用において不可欠な事業と考えている。 今後も、予算の効率的な執行に努めるとともに、志願者のアンケート結果に注視し、時時代の変化に応じた多様な募集施策を推進する。	『新しい日本のための優先課題推進枠』260	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0242 － 00	－ －	－ －		その他			
234	企業主招へいに要する経費	S53	終了予定なし	36	36	35	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、執行状況の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。 ・なお、この事業（企業主招へい）とアウトカムである就職決定者数との因果関係が分かるように工夫するとより、事業の有効性が国民に理解されるのではないか。	36	32	▲4	－	現状通り	幅広い分野への再就職を可能とするためには多くの企業を招へいし理解を得る必要があるが官用車による送迎や招へい人数の厳選等により効率化に努めているところであり、引き続き効率的な予算要求及び予算執行に努めてまいりたい。 また、本事業を継続的に実施することにより、企業主等の自衛隊への理解を得ることにつながり、再就職職域の拡大等、再就職先の確保に資することから、引き続き、事業効果の分析に配慮しつつ実施してまいりたい。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0243 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
235	進路相談部外委託に要する経費	H8	終了予定なし	86	86	86	・支出先リストを参照すると一社応札であるが、仕様は進路相談や雇用に関する情報収集等であり、多くの参入者が入札に参加する余地があるのではないか、そのため情報の発信（積極的な声かけ等）に努め、競争性を高めることで価格の妥当性が高まるのではないか。 ・また、成果について、就職決定者数とあるが、この事業による成果が不明確であり、より分析を進めて効果的な事業としてほしい。 ・事業の概要及び自己点検シートの記載は丁寧であり、理解しやすいものとなっている。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	87	100	13	－	執行等改善	一社応札となった要因の一つとしては、当初、複数の企業が参加の意思を発せていたものの、入札時に提出を求めた資料の作成・提出期間が短かったため、複数の業者の入札参加辞退につながったものと考えられる。そのため、次回入札時においては、こうした手続きに必要な期間を十分に確保するとともに、ホームページ等で入札情報を広く周知するなど、複数の業者が参加しやすい状況となるよう配慮してまいりたい。 また、本事業の成果について分析することでより効果的に事業を進めてまいりたい。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0244 － 00	－ －	－ －		その他			
236	援護業務民間委託に要する経費	H19	終了予定なし	1,179	1,179	1,137	・引き続き、執行状況の把握及び分析を行い、さらなる効率的な予算要求、予算執行に努められたい。 ・「単位当たりコスト」が、平成28年度から29年度にかけて16万円上がっている。明確な理由をレビューシートに記載すべきである。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	1,260	1,327	67	－	現状通り	５か年の国庫債務負担行為による契約であり、２８年度と２９年度は契約更新の年度にあたるための別契約の実績比較である。２９年度以降の契約は、首都圏での再就職を希望する遠隔地の障貌が増加したことにより、その対応等のため仕様を変更したことや実績の対象となる人数の増加などにより契約金額が増加となったものである。一方、単位あたりのコストは就職決定者数により算出していたが、本契約の役務対象となる援護依頼者数を基に算出した方がより適切であることから、当該項目を修正した結果、５万円の増加となったものである。 今後とも、引き続き執行状況を把握し、効率的な予算要求及び予算執行に努めてまいりたい。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0245 － 00	－ －	－ －		その他			
237	退職予定自衛官就職援護業務費補助金	S54	終了予定なし	365	365	365	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、補助事業者からの報告を受ける「補助事業実施状況報告書」を精査し、使途及び経済的な支出になっているかコスト縮減の観点で適切に管理して欲しい。	365	369	4	－	現状通り	補助事業実施状況報告書を精査し、引き続き執行状況を把握するとともに、効率的な予算要求及び予算執行に努めてまいりたい。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0246 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象		○	
238	貸費生貸与金	S30	終了予定なし	12	12	11	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・事業所管部局による点検・改善の「事業の有効性」において、「過去3ヵ年度を通じて成果目標数を概ね達成されている。」と評価しているが、28年度及び30年度は達成度が54.5%と低いことから、その理由をレビューシートに記載するべきではないか。	16	23	6	－	現状通り	大学院への進学や民間企業への就職などにより、自衛隊に入隊しないケースもあるが、入隊しなかった場合や、入隊後早期に退職した場合は貸与金の返還制度を設けている。当該事業は専門技術を持った優秀な人材の確保に必要なものであり、今後も適切な執行に努める。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0247 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
239	予備自衛官に必要な経費	S29	終了予定なし	2,439	2,438	2,432	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・まとめ買い等によるコスト縮減の取組が確認出来た。また、契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	2,543	2,500	▲43	▲1	縮減	引き続き契約実績の分析を行いさらなるコスト低減を検討し、効率的な予算要求および予算執行に努めるとともに、「人材確保検討委員会」の検討結果を適切に反映する。 令和２年度概算要求においては、対象人員や数量等の積算を見直し、1,059千円の縮減を図った。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0248 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
240	即応予備自衛官に必要な経費	H9	終了予定なし	3,695	3,700	3,548	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・一般競争入札による一者入札が見受けられる。十分な要因分析を実施し、競争性の拡大を図るとともに、引き続き効率的な予算要求・執行に努められたい。	3,747	3,790	44	－	執行等改善	一般競争入札による一者入札が発生しているため、予算執行状況を分析するなど過去の執行状況を踏まえ、適切な予算要求および予算執行に努めるとともに、「人材確保検討委員会」の検討結果を適切に反映する。	「新しい日本のための優先課題推進枠」66	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0249 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
241	予備自衛官補に必要な経費	H14	終了予定なし	163	163	145	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・年々訓練出頭率が低下している。不用の理由として訓練参加者が当初予定していた人数を下回ったとのことであるが、十分に要因を分析し、必要な施策の検討に努められたい。	177	153	▲24	－	執行等改善	引き続き、訓練出頭を阻害する要因について分析を行い、予備自衛官補がより柔軟に教育訓練に出頭できるよう、制度改善施策を検討する。 また、適切な予算要求および予算執行に努めるとともに、「人材確保検討委員会」の検討結果を適切に反映する。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0250 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
242	防衛駐在官等支援経費	H26	終了予定なし	28	28	23	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・平成29年度の執行において不用が大きい理由について、昨年度と同様にレビューシート上で明らかにし、執行の妥当性について国民の理解が得られるようにすべき。 引き続き、受講者からの聞き取り等、フィードバックを徹底し、制限見直しを適切に実施し、競争性を高める等の更なるコスト低減に努められたい。	32	32	0	－	執行等改善	平成29年度予算額に対し、執行額が低かった一因は、競争契約により語学研修の受講料が妥協で金額で落札されたことや出張時の航空券代が安価であったことが挙げられる。予算要求時、過去の実績や見積金額の妥当性を検討したうえで計上する等、予算額と執行額のかい離により妥当性を問われないよう精査するよう努める。また、競争性を高めるため、引き続き、受講者からの聞き取り等、フィードバックを徹底し、制限見直しの見とすることで競争性の向上、コスト低減に努める。	－	防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）人事教育施策の実施に必要な経費	防衛省 － 0252 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
施策名：4-(4)衛生機能の強化																											
243	医療備品、衛生器材等の整備	S29	終了予定なし	6,685	6,659	6,129	・毎年度繰越が発生しており、計画において整備すべき医療備品等の整備が遅れているのではとの印象を持つ。繰越の理由等について、レビューシートとで明らかにし、国民への説明責任を果たすべき。 ・一般競争入札を実施しているものの一者応札の状況が見受ける。何が要因であるかの分析を行い、結果をレビューシートに記載することにより、業者選定及び価格の妥当性について国民の理解が得られるようにするとともに、随意契約にあたっては、引き続き、価格交渉等による価格面での適正化に努められたい。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	5,766	6,929	1,163	▲6	縮減	・繰越の理由について、当初は年度内に納入可能な在庫を確認していたが、補正予算成立後の見積徴取の段階において売却されていた。専門性が高く、一部の工場等でしか用いられず市場流通性が低いという特性から、製造できる会社は限られており、新規製造に不測の日数を要することが判明したことから、当初計画で想定していた期間で納入することが困難となったため、繰越を実施したところ。 ・公会期間や納期の設定に配慮するとともに、同等品の積極的受け入れなど事業性難の必要性、妥当性等を更に精査し、競争性の向上に努める。 ・引き続き、実績単価等の適正単価の採用、必要数量の精査等によりコスト縮減に努める（縮減額：△６．２１９千円）。	「新しい日本のための優先課題推進枠」105	人事教育局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）衛生活動の実施に必要な経費 運用基盤等の整備に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備経持に必要な経費	防衛省 － 0253 － 00	－ －	－ －		その他			
244	医療施行費	S29	終了予定なし	12,130	12,176	12,172	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、政府の方針に基づき後発医薬品の利用を促進し、コストの縮減に努めてほしい。	12,422	12,580	158	－	現状通り	・防衛省・自衛隊において後発医薬品については、使用状況のフォローアップや自衛隊病院等後発医薬品採用リストの活用、積極的な一般競争契約の採用による医薬品の購入等を実施することにより、平成２１年度に政府目標である３０％を達成し、以降採用率を伸ばしており、平成３０年度においても政府目標である９０％を達成するなど、今後も後発医薬品の使用について努めていくところである。	「新しい日本のための優先課題推進枠」41	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）運用基盤等の整備に必要な経費 衛生活動の実施に必要な経費	防衛省 － 0254 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
245	防衛医科大学校における教育に要する経費	S47	終了予定なし	2,128	2,128	2,093	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・資金の流れを参照すると、随意契約（少額）が949件となっている。一定の品目をまとめ一般競争入札にすることにより、競争性による価格の妥当性追求及びスケールメリットが期待できる余地があり改善に努められたい。	2,167	2,226	59	－	年度内に改善を検討	要求スケジュールの前倒及び納入期限等の発注条件を見直すこと等により、要求を上の一般競争入札に移行するなど引き続き競争性の向上に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」360	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）衛生活動の実施に必要な経費	防衛省 － 0255 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
246	診療委託費	S29	終了予定なし	12,213	12,268	12,268	・点検結果を参照すると、部内医療機関の受診拡大を図るための各種施策に取り組んでいることは評価できるが、取組効果について検証し、効果の大きい施策の拡充を図るなどし、更なる部内診療機関への取り込みを図るべき。また、部内医療機関への受診者数がレビューシート上で記載されておらず、取組の効果が不明であることから何等かの記載を検討するべきではないか。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	12,180	12,099	▲82	－	現状通り	・部内医療機関の受診拡大を図るための各種施策に関し、施策の有効性はあるが、個々の指標管理は困難であるため、施策を効果的に継続していく。 ・本件事業は、自衛官等が公務又は通勤によらないで負傷し、又は疾病にかかった場合（私傷病）に、その診療を部外医療機関において療養の給付を受けた場合の療養費、診療報酬の審査支払手数料、高額療養費及び一部負担金等の払戻金（附加給付等）を国が支払うための事業であり、アウトプットとして部外診療件数を提示している。なお、令和２年度の概算要求額の積算に際し、過去の実績の把握・検討を行い、増額を抑制。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）衛生活動の実施に必要な経費	防衛省 － 0256 － 00	－ －	－ －		その他			
施策名：4-(5)防衛生産・技術基盤の維持・強化																											
247	サプライチェーン調査結果活用データベースシステムの構築	H28	終了予定なし	49	49	49	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・契約方式について、一般競争入札の結果、一者応札となっているようだが、その要因について検証し、競争性が乗く工夫を検討するのか、競争性のなかで価格の妥当性が図られる分野ではなければ契約方式を見直し、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努めることにより注力すべきではないか。	50	50	－	－	執行等改善	維持・運用について要求事項を見直し競争性を確保するとともに、過年度の役務工数等を分析し、価格交渉等を実施してコスト削減に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」50	防衛装備庁装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）防衛生産・技術基盤の維持・強化に必要な経費	防衛省 － 0257 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
施策名：4-(5)防衛生産・技術基盤の維持・強化、4-(6)装備品の効率的な取得																											

様式1

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事　業　名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度		外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		平成３１年度	平成３２年度	差引き	反映状況			備　考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号				外部有識者点検対象(公開プロセス含む)※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
					執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要	当初予算額 A	要求額 B	B−A＝C	反映額	反映内容						1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合				
248	防衛生産・技術基盤の維持・強化に要する経費	H26	終了予定なし	77	77	115	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行額が予算額を超過していることから、要因分析のうえ、適切な予算要求、執行に努められたい。また、執行額が予算額を超過している理由については、レビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。	47	47	0	▲ 0.155	縮減	・防衛装備品等に関する調査実施のための総合コンサルタント契約において、当初予定よりも緊急性が高い調査件数の増加が予期されたため、当初予算に比して執行額が超過した。調査結果は、事後各々の事業に速やかに反映され、円滑な業務運営を行うことができている。平成３２年度は、業務運営に影響を与えない範囲で調査対象の精査を行うこととし、155千円の予算縮減を行っている。	−	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0258 − 00	− −	− −		平成27年度対象	○		
249	即応性の向上に資する装備品等の維持・整備の在り方に関する調査研究	H26	H30	30	30	24	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	−	−	−	−	予定通り終了	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映する。	−	防衛装備庁 装備政策部 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0259 − 00	− −	− −		平成30年度対象	○		
250	装備品等の維持・整備業務の民間委託等による業務の効率化とコスト削減に関する検討	H24	H30	−	−	−	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	−	−	−	−	予定通り終了	本事業で得た効率化のノウハウについては、今後、適切に類似の事業及び業務に反映させる。	−	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0260 − 00	− −	− −		平成30年度対象			
251	作業効率化促進	H16	終了予定なし	102	102	98	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・事業所管部局による点検・改善欄の事業の効率性や事業の有効性の点検評価の説明において、単に結果のみを示すのではなくなぜそのような評価となったのか具体的に記載するなど、丁寧な記載に心がけ国民への説明責任を果たされたい。また、点検結果においても、同様にどのようなことからこの結果となっているのか丁寧な記載に心がけられたい。 ・工数鑑定能力取得のための研修について、引き続き、能力取得者拡大を図る他、工数審査能力の強化に向けた方策を検討し、自立した検証をできる体制の確保に努められたい。	101	103	2	−	年度内に改善を検討	・事業所管部局による点検・改善欄について、丁寧な記載を心がけてまいりたい。 ・工数鑑定能力取得のための研修について、引き続き、自立した検証体制の検討に努めてまいりたい。	−	防衛装備庁 調達管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0261 − 00	− −	− −		平成30年度対象			
252	資料の信頼性確保のための調査	H10	終了予定なし	14	14	11	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・平成30年度の執行において不用が大きい理由について、レビューシート上で明らかにし、執行の妥当性について国民の理解が得られるようにすべき。 一者応札の案件が多数見受けられ、昨年のレビューシートにおいても応札しなかった者にヒアリングを行い繁忙時期を考慮のうえ調査日程を改善して入札を行うとなっていたが、昨年よりも一者応札が増えているのはなぜか。十分に要因を分析し、その結果をレビューシートに記載するとともに、その分析結果を踏まえ応札者拡大のための検討を行い、更なる競争性の確保に努められたい。	14	66	52	−	執行等改善	・平成29年度までは、大手監査法人も契約相手方となっていたが、30年度以降の入札参加者は中小の公認会計士事務所のみとなったため、時間単価の違いから予算額に対する執行額が90%から79%に低減した。これまで入札参加していた大手監査法人に不参加の理由をヒアリングしたところ、契約１件あたりが少額のため赤字となり、法人内においてコストに関して改善を要求されたことから入札参加辞退した旨の回答があった。 ・今後、応札者拡大のため、調査対象会社１社ごとの契約から、一契約につき調査対象会社を複数社にするなど、大手監査法人も入札参加しやすいよう検討を行う。	−	防衛装備庁 調達管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0262 − 00	− −	− −		平成29年度対象			
253	防衛生産・技術基盤の維持強化に要する経費	H27	終了予定なし	442	442	371	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・支出先リストを参照すると、入札者数が１者の（随契含む）調達において高落札率となっているところ、競争性が働きづらい調達においては、価格が高止まりになる傾向があることから、特に価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。	294	557	263	−	執行等改善	・国際装備品展示会への出展に係る業務委託について随意契約を締結している場合については、各主催団体から指定された総代理店と契約することが唯一の方法であったためである。 ・今後は、随意契約となる場合においても、これまでの展示会でのブース造成等の契約実績から、事業者の見積りの精査等をしっかりと行い、コスト低減に努める。	−	防衛装備庁 装備政策部 技術戦略部 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0263 − 00	− −	− −		平成28年度対象	○		
254	民間海上輸送力活用事業に係る事業支援役務	H27	H37	56	56	51	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・単位当たりコストの分析に当たって「予定価格内であるため妥当」とあるが、市価（人件費等内訳）との比較や費用対効果としての単位当たりコストの妥当性を分析し検証してほしい。 ・支出先リストを参照すると1者応札となっている。要因について分析し、競争性を高める工夫に努め、複数社の参入において、価格の妥当性を追求されたい。競争性が働く見込みがない特殊性があるのであれば、さらに価格面に注力しコスト低減に努められたい。	53	53	−	−	執行等改善	・各年度、必要な仕様内容を精査しコスト削減に寄与している。また、他の同様な事業支援役務との市価との比較を実施し、コストの妥当性の分析の努力をしている。また、応募者拡大のため、より多くのコンサル会社に見積もりを依頼する。	−	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0264 − 00	− −	− −		平成28年度対象			
255	防衛装備品等のコスト縮減を推進するための調査役務	H27	終了予定なし	89	89	40	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度（30年度。45%等）があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	28	−	▲28	−	年度内に改善を検討	本事業の計画に基づき、平成32年度は官側のみで事業を実施する予定の為、平成32年度予算概算要求は行わないものの、平成31年度の点検の結果等を踏まえ、契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、効率的な予算要求、予算執行に努められるよう年度内に改善を検討する。	−	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0265 − 00	− −	− −		平成28年度対象	○		
256	防衛省開発航空機の海外移転を促進するための施策に関する検討	H27	H30	−	−	−	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	−	−	−	−	予定通り終了	本事業で得た効率化等のノウハウを、今後類似の事業に反映していく。	−	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0266 − 00	− −	− −		平成30年度対象			
257	民間海上輸送力活用に係わるPFI事業	H28	H37	2,552	2,552	2,552	【適正価格の追求について】 ・次期契約に向けて、競争性の確保の検討、人員体制等の仕様の精査、他の手段の検討（スポット、定期船会社からの借り上げ）、適正な契約期間について検討し、今回の調達実績を教訓として、経済性、有効性を高めたスキームについて検討し見直しを図るべき。 【有効性について】 ・待機時の船舶の有効活用について検討し、特に民間収益事業の充実を図ることが求められる。本来の目的を阻害しない範囲で拡大し、国庫負担の軽減を図るべき。	事業全体の抜本的な改善	公開プロセスの議論、有識者からのコメントを踏まえて、適切に対応されたい。	2,576	2,599	24	−	執行等改善	・今般の指摘を踏まえ、経済性、有効性の観点からあらゆる検討を実施していく。具体的には、今回の公募が結果的に１コンソーシアムの応札になったことを踏まえ、応札グループ会社にヒアリングを行い、事業開始前に想定していたリスク要因や懸念点等と事業開始後、実際に運営して判明したリスク要因、軽減されたリスク要因等を整理し、次期契約においては複数社が入札に参加できるよう改善努力を図るとともに、事業目的を達成するための海上輸送力の確保手段として、公開プロセスにおける指摘等もふまえ、幅広い手段について改めて検討を行うとともに、事業目的を阻害しない範囲で適正な契約期間についても検討し、競争性の確保を図るべく検討を進める。 なお、本事業は令和７年１２月までの既契約済みのものであるところ、防衛省・自衛隊が求める緊急対応時の体制に空白期間が生じることを防止する観点から、現契約ではなく、次期契約を視野に入れた作業において行っていくこととしたい。 ・待機時の船舶の有効活用として、本来の目的を阻害しない範囲で特に民間収益事業の充実を図るべきとの指摘を踏まえ、契約相手方と関係者協議会を開催し、民間収益事業の更なる充実を図るための検討を進める。その際、停泊中の船舶の活用策や宿泊施設としての活用策等について官側からも提案し、民間収益事業を充実させることで国庫への返納額の増大を図るべく検討を進めることとしたい。	−	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	（項）艦船整備費 （大事項）民間資金等を活用した船舶の維持管理及び運営に必要な経費	防衛省 − 0267 − 00	− −	− −		その他			
258	電子計算機システムの新技術実用化等に関する技術支援	H28	終了予定なし	31	31	16	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・連続して不用率が大きい状況が見受けられることから、要因分析の上、適切な予算要求、予算執行に努められたい。	−	−	−	−	執行等改善	・予算要求に伴う見積もり要件、要求内容をさらに具体化し、予算要求額を精緻化することで、適切な予算要求、予算執行に努める。	−	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0268 − 00	− −	− −		平成29年度対象	○		
259	将来装備品の取得手段の調査	H28	終了予定なし	98	98	58	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・不用率が大きいためその理由をレビューシートに記載することとし、適切な予算要求、予算執行に努められたい。 ・一般競争入札による一者入札が見受けられる。十分な要因分析を実施し、競争性の拡大を図るとともに、引き続き効率的な予算要求・執行に努められたい。	61	39	▲22	−	執行等改善	・不用率が大きい理由については、将来装備品の取得手段の調査に当たり、各自衛隊のニーズを踏まえた成果となるよう調査内容を選定・精査し予算要求を行っているが、予算執行時に各自衛隊のニーズの変更により、調査内容を一部変更・縮小したため、当初予算額が執行額を下回り生じたものである。今後は各自衛隊のニーズを的確に把握し、真に必要な予算要求の実施に努める。 ・一般競争入札による一者入札となった件については、特定の企業に有利となるような仕様内容とはしていないものの、役務期間が短い中、海外訪問による調査を必須としていたため、対応できる企業が少なく、結果として一者入札を招いたものと考える。引き続き、役務期間等を考慮し、競争性の拡大を図り、効率的な予算要求・執行に努める。	−	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0269 − 00	− −	− −		平成29年度対象	○		
260	防衛装備・技術協力に係る調整等	H28	終了予定なし	55	55	2	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・予算の執行率が低く、理由は「予定されていた長期派遣が調整により翌年度となったため」とのこと。やむを得ない面もあるが、綿密な調整と計画において、適切な予算要求になるよう努めて欲しい。 ・レビューシートの記載についても成果の活用状況や活動実績等の事業を判定する情報が不足しているため、丁寧な記載と説明により国民の理解を得られるよう、シートの記載を見直す必要がある。	35	18	▲17	−	年度内に改善を検討	概算要求では、現地活動における必要な経費を精査し、要求額削減に努めた。本事業を通じて、現地での装備当局担当者の意見交換等を実施しており、レビューシートにおける記載については、より丁寧な説明となるよう見直しを行う。	−	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0270 − 00	− −	− −		平成29年度対象			
261	フィリピンへのＴＣ－９０の移転	H28	終了予定なし	200	200	184	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・随意契約に当たっては、可能な限り詳細な見積内容を入手し、コスト縮減の余地を検証し、厳格な原価査定や適切な価格交渉により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。 ・引き続き、契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	171	160	▲11	−	年度内に改善を検討	・本事業は随意契約であるが、原価精査等により、価格の適正化を行っていく。 ・引き続き、契約実績の分析等を実施し、効率的な予算要求、執行に努める。	−	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）防衛生産・技術基盤の維持・強化に必要な経費	防衛省 − 0271 − 00	− −	− −		平成29年度対象			
262	各種資料の翻訳	H17	終了予定なし	1	1	−	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・平成30年度において執行がゼロとなっており、その理由として翻訳役務を必要としなかったとのことであるが、なぜ予算計上したのか。十分な調査及び調整を行い適切な予算計上を行われたい。	1	1	▲0	▲ 0.351	縮減	・翻訳については、部外力を活用する必要がある大部な資料が発生した場合に活用しているが、平成３０年度において翻訳の役務を必要とする程の資料はなかった。また、該当年度における必要性を踏まえ翻訳する資料を都度選定しているところ、要求時点において資料の選定を実施することは困難であるが、行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、可能な限り予算要求額を抑制できるよう実績等を基に精査したところ351千円の縮減を実施した。引き続き真に必要な予算の計上を実施したい。	−	防衛装備庁 装備政策部 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0272 − 00	− −	− −		平成29年度対象			
263	防衛装備移転等に関する調査	H29	終了予定なし	204	204	133	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度（30年度。65%等）があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	138	255	117	−	年度内に改善を検討	調査役務は１つの案件に対して、契約から納期まで時間を要する事業であるため、これまで以上に計画的な事前準備により適切に予算を執行し、これまでの契約実績を検討して真に必要な経費を計上する等により、コスト縮減に努める。なお、概算要求において、前年度と調査内容が異なることにより、事業全体としては要求額が増額しているが、見積り等を根拠として必要な経費を積み上げた結果である。 引き続き必要な調査を実施するため、執行計画及びコスト面等において検討を行う。	−	防衛装備庁 装備政策部 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0274 − 00	− −	− −		平成30年度対象	○		
264	保全指導職員等の能力向上	H29	H30	4	4	4	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	−	−	−	−	予定通り終了	本事業で得た効率化のノウハウについては、今後、適切に類似の事業及び業務に反映させる。	−	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0276 − 00	− −	− −		平成30年度対象			
265	取得に関する諸外国の制度の調査に係る経費	H29	終了予定なし	1	1	1	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、本事業を有効に活用し、効率的・効果的な装備品等の調達制度の検討・運用に反映されたい。	1	1	▲0	−	現状通り	引き続き、本事業を効率的・効果的な装備品等の調達制度の検討・運用に反映していく。	−	防衛装備庁 プロジェクト管理部 調達管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 − 0278 − 00	− −	− −		平成30年度対象			

様式１

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事　業　名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度当初予算額 A	平成３２年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容	反映状況 反映内容	備　考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
266	ＥＶＭシステム適正性調査経費	H29	H30	8	8	－	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	本事業は開始されなかったが、今後は契約状況を見定めながら必要性を含めて検討していく。	－	防衛装備庁 調達管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 － 0279 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
267	防衛装備・技術協力における通訳支援	H29	終了予定なし	24	24	1	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・30年度も29年度と同様に経費（執行額）規模が小さく、また、使途を見ても通訳支援とのことだが、同施策の他の事業と統合した事業単位とすることができないのか。本事業が上位施策を達成する上で単独事業として管理することが効果的な検証につながるものでなければ、同施策の事業と統合した事業単位とすべきではないか。事業単位の再整理について検討すべき。	15	15	▲0	－	年度内に改善を検討	事業単位の再整理を検討したものの、装備庁の各部署が単独で要求を実施するより、防衛装備移転・技術移転分野での関係国との定期協議や個別案件の重要な協議の全体を把握している当課で装備庁の全体に係る通訳経費の要求を実施することにより、防衛装備・技術協力を推進する上で、経費の効果的な執行管理、予算要求ができると考えられるため、例年通りの要求としたもの。執行率の向上についても庁内全体への周知等を行っている。	－	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 － 0280 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
268	新弾道ﾐｻｲﾙ防衛用誘導弾の構成品生産準備に係る経費	H28	H32	2,676	2,676	2,676	・ＳＭ－3ブロックⅡＡの生産を円滑に行うため、本事業を先行的に着手しているとの事だが、事業の一部を先行することにより得られる効果（経済性、効率性）がレビューシートでは確認することができない。国民への説明責任を果たすうえでも本事業を先行的に着手することにより得られる効果（経済性、効率性）をレビューシートにわかりやすく記載すべきではないか。 ・事業所管部局による点検・改善を参照すると、公募により競争性の確保に努めているとのことだが、結果的に一者応札かつ落札率も100%となっている。一者応札とならざるを得ない事情があるのであれば、形式的な競争性を求めるよりは、随意契約とし、原価精査や価格交渉等による価格面での適正化に努めることも検討すべきではないか。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	6,010	6,010	－	執行等改善	本事業を先行的に着手することにより得られる効果をレビューシートにわかりやすく記載できるように検討を行う。 当初の契約において随意契約を行うことは難しいが、今後、随意契約による調達を行う場合には、価格交渉や原価精査を行うなど価格面の適正化に努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）防衛生産・技術基盤の維持・強化に必要な経費	防衛省 新30 － 0002 － 00	－ －	－ －		前年度新規			
269	将来戦闘機の開発体制の構築に係る調査	H30	H30	78	78	52	・本事業は平成３０年度が終了年度であるが、本事業におけるコスト縮減の取組や得られた効果については類似事業に適宜反映して欲しい。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	本事業におけるコスト縮減の取組や得られた効果については、今後、類似事業に適宜反映する。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 新30 － 0003 － 00	－ －	－ －		前年度新規	○		
270	オープンソース情報の活用に係るスキル取得のための役務	H30	H30	36	36	11	・執行率が低い状況が見受けられるが、予算要求段階において、可能な限り仕様の細部まで明確にし、より正確な見積価格を取得するなど、適切な予算要求を行う必要がある。 ・本事業は、H30年度で終了年度であるが、1ｶ年度における受講者により、情報収集業務、調査・分析業務は万全の体制が確保できるのか。人事異動等も考慮すれば、体制の継続性について検討する必要があるのではないか。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・一般競争入札の実施により、幅広く入札を募った結果、事前見積価格との差異が生じたものである。今後も類似事業を実施する際には、多くの見積価格を取得するよう留意する。 ・人事異動等による新規転入者に対しては、本件事業で作成した教育資料等・既受講者によるOJT等を活用して情報収集業務、調査・分析業務スキルの付与・向上を図るように業務改善している。	－	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 新30 － 0004 － 00	－ －	－ －		前年度新規			
271	人材育成・維持整備支援も含めたパッケージでの防衛装備・技術協力の在り方に関する検討	H30	H30	49	49	13	・不用率が大きいため、要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。 ・本事業はH30年度で終了年度であるが、本事業の成果については、最大限の活用を図ってもらいたい。また、本事業におけるコスト縮減の取組等については類似事業に適宜反映してもらいたい。なお、本事業が、今後、どのように役に立ち、実際の政策に反映できたか、明らかにして欲しい。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	本事業では、防衛装備・技術協力について、単なる装備品に移転に留まらない、維持整備や運用支援を含むパッケージ型の協力を実現していくため、防衛装備移転に関して我が国の官民が有する知見・情報をいかに共有すべきか、また、官民それぞれが果たし得る役割はいかなるものか、防衛産業側の声を丁寧に拾いつつ、対応のあり方を検討したものである。また、本事業の中では、防衛装備・技術協力以外の分野における、我が国製品・技術の海外輸出の実例について整理した。 　本事業の実施により、防衛装備移転に係る取組を改善するための論点や課題を抽出することができ、所期の目的が達成されたことから、予定通り本事業は終了とする。今後、本事業の成果については、令和２年度の事業を始めとして、防衛装備移転の推進に係る具体的な事業に効果的に活用していく。	－	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 新30 － 0005 － 00	－ －	－ －		前年度新規	○		
272	潜水艦取得のプロジェクト管理に適用する基礎資料等の作成に関する調査	H30	H30	22	22	20	・本事業は平成３０年度が終了年度であるが、本事業におけるコスト縮減の取組や得られた効果については類似事業に適宜反映して欲しい。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・本事業におけるコスト縮減の取組み等について類似事業への反映を検討する。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 新30 － 0006 － 00	－ －	－ －		前年度新規	○		
	施策名：4-(6)装備品の効率的な取得																										
273	装備品等のコスト削減の検討に係る支援役務	H26	終了予定なし	26	26	10	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度（30年度。38%等）があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	22	－	▲22	－	執行等改善	・30年度の執行率が低い理由は、一般競争により競争性が働いた結果、契約価格が下がったものであり、妥当と考えられるが、引き続き契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、効率的な予算執行に努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛装備庁共通費 （大事項）防衛装備庁一般行政に必要な経費	防衛省 － 0282 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象	○		
274	ＰＢＬに関する人材育成	H25	終了予定なし	1	1	－	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度、計画上の教育が履行されておらず、米国との調整状況もあると思料するが、事業管理を適切に進めるべき。	1	1	▲0	－	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き米側と調整をはかりつつ、適切な事業管理が実施できるよう努めることとする。	－	防衛装備庁 長官官房	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 － 0283 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
275	ライフサイクルコスト教育	H19	終了予定なし	2	2	2	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、本事業を有効に活用し、高度なライフサイクルコストの分析等にあたる人材の育成に努められたい。	2	2	－	－	現状通り	引き続き、本事業を有効に活用し、高度なライフサイクルコストの分析等にあたる人材の育成に努めることとする。	－	防衛装備庁 長官官房	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 － 0284 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
276	情報システム等の取得に関する検討	H27	終了予定なし	132	132	132	・支出先リストを参照すると、一般競争入札を実施しているものの結果的に一者応札となっていることから、応札者拡大のための検討を実施し、競争性の向上に努められたい。 ・点検結果を参照すると、「所要工数の見直し等により、経費の縮減を行った。」とあるが、レビューシートにおいて、具体的な縮減額の記載がないことから、記載すべきではないか。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	145	145	－	－	執行等改善	執行については、引き続き、競争性のある調達を実施するとともに、本事業の契約実績等を分析・評価し、効率的な予算要求・執行に努める。 応札者拡大のための方策を引き続き検討していく。	－	整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 － 0285 － 00	－ －	－ －		その他			
277	取得マネジメント（プロジェクト管理）に係る人材育成	H27	終了予定なし	29	29	26	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業は、研修で得た知識・スキルをいかに活用されるかが重要である。本事業における成果については、プロジェクト管理に関する業務に最大限の活用を図ってもらい、効果的・効率的な防衛装備品の取得を実現できるよう努めていただきたい。	28	29	1	－	執行等改善	引き続き、研修効果の分析と研修内容への反映を通じて、研修効果の向上を図り事業として高い効果が得られるように努めることとする。	－	防衛装備庁 長官官房	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 － 0286 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
278	業態調査に要する経費	H13	終了予定なし	10	10	10	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・点検・改善結果において「単位当たりコストのコスト低減に一定の成果があった」と評価しているが、毎年度、活動実績が見込みを下回っており、この事業の有効性を高めるための施策の検討を早期に行うべき。	11	11	－	－	年度内に改善を検討	毎年行う人事異動等により、本事業の利便性等を承知していない職員が増加するため、人事異動等の都度毎に本事業の周知を図る。	－	防衛装備庁 調達管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 － 0287 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
279	調達情報セキュリティ監査要員の養成	H16	終了予定なし	6	6	4	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・不要率の高さについては一般競争入札による競争の結果であると思慮されるが、契約実績の分析を実施し、削減が可能な部分があればその結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	5	5	▲0	▲ 0.356	縮減	行政事業レビュー推進チームからの指摘を踏まえ、過年度の契約実績を分析することにより、３５６千円の概算要求の縮減を実施した。今後も効率的な予算要求を実施することとしたい。	－	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 － 0288 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
280	防衛装備協力（ＡＳＥＡＮ諸国への民間技師派遣）	H28	終了予定なし	32	32	5	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・競争により発生した不要については、契約実績の分析を実施し、削減が可能な部分があればその結果を反映することにより、また、他国との調整等において発生している不用額があるのであれば、綿密な調整と計画において、適切な予算要求になるよう努めて欲しい。	28	21	▲7	－	年度内に改善を検討	実施内容を精査することで、概算要求額を前年度の要求額から削減させた。 契約に関してはコスト低減を、検討していく。	－	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 － 0289 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
281	監察監査機能の強化のための部外監査法人等の活用	H29	終了予定なし	20	20	13	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・引き続き不用率が高いため、その理由についてレビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるように記載を工夫するなど改善を図るべき。 ・また、入札者を増やすための工夫とはどのように行うのか、具体的に記載されたい。 ・少額随契においては、見積もり内容の精査による価格の適正化や見積もり徴取先の拡大による競争性の向上等により、更なるコスト低減を追求されたい。	1	1	0	－	年度内に改善を検討	平成３０年度事業については、平成２９年度事業とは内容が異なるものについて、仕様内容を精査し、予算要求作業並びに調達要求作業を行った結果、予算要求額と予定価格は大差ない状態で進行したものの、入札の時点で会社間の競争性が働いたことにより落札金額が低下し不用額が発生したものであり、実施原課において実施可能な処置は為されている。 今後の事業については、事業内容に関する説明に注力しつつ、引き続き類似の執行実績等の把握、分析を行い、それを踏まえて最新の参考見積書を徴収し、算定の資としていくことで、適切な予算要求を行っていく。 また、年に一度開催される内部監査人の能力向上に係る検討を行う「内部監査推進全国大会」（日本内部監査協会主催）等の機会を活用し、積極的に情報収集・意見交換を行うことで、当官の事業を実施可能な能力・知見を有しつつ、入札参加に関心を有する者の拡大を図ることを予定している。	－	防衛装備庁 長官官房	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 － 0290 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
282	防衛装備品等の海外移転推進のための諸施策	H30	終了予定なし	11	11	3	・予算額・執行額を参照すると、執行率が27%と低く、レビューシートからもその要因が確認できない。（事業所管部局の点検欄（不用率の要因））要因を分析し適切な予算要求をするべきではないか。 ・現時点では、英文資料を作成してしたというだけのように見える。今後、内容の水準とその効果の点から精査が必要である。また、本事業は、「諸外国との防衛装備・技術協力の推進に向けた情報発信」が目的であることから、アウトカムは、展示会への参加回数や展示会等での配布部数等を表すべきではないか。また、アウトプットは、例えば、展示会等での資料の配布を行った諸外国又は外国企業からの問い合わせ件数等を表すべきではないか。アウトカム、アウトプットが事業判断のため適切なものとなるように検討が必要である。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	11	10	▲1	－	年度内に改善を検討	当初の事業計画では、我が国の防衛装備基盤について的確に諸外国関係者の理解を促進するためには、広報資料作成を専門とする企業の知見を借りて作成することが必要であると考え、官側と掲載装備品を製造する防衛産業との間の各種調整（掲載する装備品の選定、レイアウト、説明文等）も含めて企業に委託する予定であった。他方で、具体的な執行の段階において、①防衛装備移転について慎重な姿勢を示す企業も少なくない中、官側が本取組を主導する必要があると考えられたこと、②（パイロット版の作成から）短期間の間で資料を完成させるためには、諸外国関係者の関心を把握している官側が主体となって各種調整を実施する方が効率的であると判断に至ったことから、事業の進め方を一部見直し、官側で実施・作成する部分を増やして対応することとした。この結果、執行額が低くなった。 　執行率が低い原因については、上記の理由によるものであるが、本海外向け資料については、我が国としてこの分野で初めて作成したものであり、今後、充実・発展させていく基盤となり得るものである。本事業は、防衛装備移転を政府一体となって推進していくため、次年度も継続することを考えており、今回の事業の成果を基に防衛産業側の意見をしっかりと聴いて更なる内容の充実化に取り組んでいきたい。また、より適切に事業判断できる指標を検討していく。	－	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 新30 － 0007 － 00	－ －	－ －		前年度新規	○		

様式１

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度当初予算額 A	平成３２年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
283	諸外国との防衛装備・技術協力に係る交流に必要な経費	H30	終了予定なし	1	1	1	・経費規模が小さく、また、使途を見ても記念品購入とのことだが、同施策の他の事業と統合して事業単位を整理してもよいのではないか。 ・本事業が上位施策の達成を図ってもらい、高度な防衛装備品の取得を実現できるよう努めていただきたい。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	1	1	0	－	年度内に改善を検討	類似事業と統合して事業単位を整理することについて、事業内容を整理し、検討することとしたい。	－	防衛装備庁 長官官房	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省　新30　－　0008　－　00	－	－	－	－	前年度新規			
284	プロジェクト管理職に資するマネジメントの知識・業務体系化及び教育プログラム化のための事例研究	H30	終了予定なし	7	7	3	・こうした調査研究事業は、その成果がいかに活用されるかが重要である。本事業における成果については、プロジェクト管理に関する業務改善及び人材育成の強化に最大限の活用を図ってもらい、高度な防衛装備品の取得を実現できるよう努めていただきたい。 ・今、成果を明らかにすることは難しいと思われるが、可能なかぎり調査研究事業の成果、有効性、調査の妥当性はレビューシートで説明する必要があるのではないか。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	執行等改善	ご指摘のとおり、調査研究事業の成果、有効性、調査の妥当性についてレビューシート上で説明するようにしたい。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省　新30　－　0009　－　00	－	－	－	－	前年度新規	○		
285	プロジェクト管理関連職員のための米国ＧＳの課程受講	H30	終了予定なし	1	1	0	・本事業において、受講する講座はどのような講座であり、その受講した成果がどのように活用されたのか記載がない。事業の有効性を判断するには、成果がどのように活用されたかが重要であることから、成果の活用状況についてレビューシートに具体的に記載するなど、国民の理解を得る工夫が必要である。 ・経費規模が小さく、また、使途を見ても講座受講料とのことだが、同施策の他の事業と統合して事業単位を整理してもよいのではないか。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	0.3	1	0	－	年度内に改善を検討	レビューシートの「点検結果」の記載を見直した。 事業単位については、他事業との統合等を含め、効果的な検証のあり方を来年度の行政事業レビューに向けて検討していく。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省　新30　－　0010　－　00	－	－	－	－	前年度新規			
286	ライフサイクルコスト見積りの改善等のための調査研究に要する経費	H30	終了予定なし	60	60	7	・このような調査事業は、その成果がいかに活用されるかが重要であるが、成果がどのように活用されたかの記載がない。事業の有効性を判断するには、成果がどのように活用されたかが重要であることから、成果の活用状況についてレビューシートに具体的に記載するなど、国民の理解を得る工夫が必要である。 ・執行率が低い状況が見受けられるが、予算要求段階において、可能な限り仕様の細部まで明確にし、より正確な見積価格を取得するなど、適切な予算要求を行う必要がある。 ・レビューシートの「事業所管部局による点検・改善」のうち「国費投入の必要性」について、記載されている3つの項目にほぼ同じ文章が並んでいる。項目に即して的確かつ具体的に対応を書くなど、国民の理解を得るための工夫が必要。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	23	－	▲23	－	年度内に改善を検討	ご指摘のとおり、調査研究事業の成果、有効性、調査の妥当性についてレビューシート上で説明するようにしたい。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省　新30　－　0011　－　00	－	－	－	－	前年度新規	○		
	施策名：4-(7)研究開発の推進																										
287	研究開発推進事業	H19	終了予定なし	51,242	59,448	30,685	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・継続の状況が継続していることから、要因分析の上、その理由についてレビューシートにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに可能な限り効率的な予算執行に努められたい。 　また、不用率が大きいため、その理由もレビューシートに記載することとし、適切な予算要求、予算執行に努められたい。 ・「事業所管部局による点検・改善」のうち「事業の有効性」について、記載されている内容が項目に即していない箇所がある。項目に即して的確かつ具体的に対応を書くなど、国民の理解を得るための工夫が必要。	50,575	60,378	9,803	－	年度内に改善を検討	・年度によって実施する研究開発事業が異なることや研究開発の進捗状況に応じた計画の修正等により、繰越や執行額の変動が生じており、特に今年度は主に繰越額が大きかったお影響で不用率が高くなっているが、予算執行にあたっては研究開発の推進に真に必要な内容となっていることを常に精査しながら実施しているところであり、今後も適切な事業管理に努めていく。 ・また、ご指摘を踏まえ、レビューシートの記載内容を修正した。	「新しい日本のための優先課題推進枠」646	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛装備庁共通費 （大事項）防衛装備庁一般行政に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0292　－　00	－	－	－	－	平成28年度対象	○		
288	戦闘機搭載用統合火器管制システムの研究試作	H24	H34	－	3,806	3,806	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を実施し、その結果を今後の類似事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	年度内に改善を検討	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0295　－　00	－	－	－	－	平成27年度対象			
289	水中音響通信ネットワークの研究試作	H24	H30	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・本事業においては変なる契約を予定していないものの、得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0297　－　00	－	－	－	－	平成30年度対象			
290	F-２の支援戦闘能力向上	H24	H30	－	1,484	1,485	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	本事業で得た効率化等のノウハウについて、今後、類似の事業に適切に反映する。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0298　－　00	－	－	－	－	平成30年度対象			
291	将来ミサイル誘威技術の研究試作	H24	H33	－	－	－	・研究試作（その１）の成果活用の観点から（その２）を継続契約とするような事業については、（その１）における競争性の確保が重要である。（その１）の入札での応札者数を明らかにするなど、事業相手の選定の妥当性について丁寧に説明し、国民の理解が得られるようにすべき。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	438	－	▲438	－	年度内に改善を検討	引き続き事業相手の選定の妥当性を確保するべく、適切に対応する。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0299　－　00	－	－	－	－	最終実施年度			
292	先進統合センサ・システムの研究試作	H22	H31	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成31年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映する。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0300　－　00	－	－	－	－	平成30年度対象			
293	ウェポンリリース・ステルス化の研究試作	H25	H31	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成31年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・本事業においては変なる契約を予定していないものの、得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0302　－　00	－	－	－	－	平成30年度対象			
294	航空機搭載型小型赤外線センサシステムインテグレーションの研究試作	H25	H31	3,158	3,158	3,158	・本事業は今年度が終了年度であるが、本事業における成果については、最大限の活用を図ってもらいたい。また、本事業におけるコスト縮減の取組等については技術事業に適宜反映してもらいたい。なお、試験研究の金額（予算）は十分であったか、その判断結果も情報として必要ではないか。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・本事業においては変なる契約を予定していないものの、得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。 ・制度上、所要の成果が得られたかについて、来年度に事後評価を実施することになっており、結果として予算として十分であったかも含め明らかになる予定である。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0304　－　00	－	－	－	－	最終実施年度			
295	装輪１５５ｍｍりゅう弾砲	H25	H30	3,999	3,999	3,612	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、本事業で得た効率化等のノウハウについて、今後、類似の事業に適切に反映させる。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0307　－　00	－	－	－	－	平成30年度対象			
296	アクティブ防御システム構成要素の研究試作	H25	H30	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・本事業においては変なる契約を予定していないものの、得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0308　－　00	－	－	－	－	平成30年度対象			
297	先進ＲＦ自己防御シミュレーションの研究試作	H25	H30	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映する。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0311　－　00	－	－	－	－	平成30年度対象			
298	短波帯表面波レーダの研究試作	H26	H31	－	－	－	・本事業は今年度が終了年度であるが、本事業における成果については、最大限の活用を図ってもらいたい。また、本事業におけるコスト縮減の取組等については技術事業に適宜反映してもらいたい。なお、本事業は平成26年度から29年度にかけてシステム設計・装置等を試作し、平成29年度から31年度に試験を実施するとの事だが、平成30年度、31年度の2カ年については、予算計上がされていない。予算が十分であったか、その判断結果も情報として必要ではないか。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・本事業においては変なる契約を予定していないものの、得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。 ・なお、「試験」についての経費は「別事業」で計上している。また、制度上、所要の成果が得られたかについて、来年度に事後評価を実施することになっており、結果として予算として十分であったかも含め明らかになる予定である。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0312　－　00	－	－	－	－	最終実施年度			
299	安全保障技術研究推進制度	H27	終了予定なし	4,749	4,744	4,662	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。 ・委託研究終了後の評価について実施されたところ、成果については、次年度以降のレビューシートにて説明されたい。	7,149	8,897	1,748	－	現状通り	引き続き、効率的な予算要求及び予算執行に努めるとともに、委託研究の終了評価結果を踏まえ、その後の事業の活用について検討する。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0313　－　00	－	－	－	－	平成28年度対象			
300	軽量化機体構造の研究試作	H26	H34	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・民生品等の活用や他事業との工数比較により経費が節減されていることが確認出来た。本事業で得られた成果やコスト縮減の取組については他の事業においても活用されたい。	－	－	－	－	現状通り	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0314　－　00	－	－	－	－	平成30年度対象			
301	装輪装甲車（改）	H26	H30	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、本事業で得た効率化等のノウハウについて、今後、類似の事業に適切に反映させる。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0315　－　00	－	－	－	－	平成30年度対象			
302	長期運用型ＵＵＶシステム構成要素の研究試作	H26	H32	－	－		外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・民生品の活用や過去の技術的成果の利活用によってコストの低減に努めていることが確認できた。本事業で得られた効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	年度内に改善を検討	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省　－　0316　－　00	－	－	－	－	平成29年度対象			

様式１

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度 当初予算額 A	平成３２年度 要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
303	次世代護衛艦用新戦術情報処理装置の研究試作	H26	H31	－	－	－	・「事業の有効性」の4項目のうち3項目に同じ文章が記入されており、的確な説明が行われているとはいいがたい。成果を明らかにすることは難しいと思われるが、可能なかぎり本試作の研究成果、有効性はレビューシートに記載することにより、説明する必要があるのではないか。 ・本事業は今年度が終了年度であるが、本事業におけるコスト縮減の取組等については類似事業に適宜反映してもらいたい。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	本事業で得た効率化等のノウハウは、今後、類似の事業に適切に適用するよう努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0318 － 00	－ －	－ －		最終実施年度			
304	適応制御ミリ波ネットワーク装置の研究試作	H26	H32	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・研究試作の調達に当たっては、当初契約においてはある程度、競争性が働く見込みが期待できるものの、その後の契約においては競争性が期待できないところ、競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組（仕様精査等）をさらに推進し、価格の低減に努めて欲しい。	1,590	－	▲1,590	－	年度内に改善を検討	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める等、価格面に注力した取組を更に推進し、価格の低減に努める。 ・なお、競争性の確保の取組及びその結果をレビューシートの「事業所管部局による点検・改善（競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か）」欄に継続的に記載する。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0319 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
305	マイクロ波評価装置の研究試作	H26	H32	－	535	535	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度繰越を発生させているところ、計画において成果を分析すべき研究結果が遅れているのではと印象を持ち、事業管理を適切に進めるべき。	－	－	－	－	年度内に改善を検討	・ご指摘を踏まえ、繰り越しの原因についての記載を追記すると共に、適切な事業管理に努める。 ・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0320 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
306	衛星搭載型２波長赤外線センサの研究試作	H27	H36	448	448	448	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を実施し、その結果を今後の類似事業に適切に反映されたい。	2,289	－	▲2,289	－	年度内に改善を検討	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0322 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
307	ステルスインテークダクトの研究試作	H26	H30	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・本事業においては変なる契約を予定していないものの、得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0323 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
308	将来射撃管制レーダ構成要素の研究試作	H26	H31	436	436	436	・競争性の確保について、「事業所管課における自己点検」では、研究試作（その３）については、試作成果を活用する観点から随意契約としたとなっている。しかし、レビューシートを見ると一般競争入札により競争性を確保したとしか記載されておらず、研究試作（その１）から（その３）すべてが一般競争入札のように受けとられかねないため、事業相手の選定の妥当性について厚く説明し、国民の理解が得られるようにすべき。 「事業の有効性」の4項目のうち3項目に同じ文章が記入されており、的確な説明が行われているとはいいがたい。成果を明らかにすることは難しいと思われるが、可能なかぎり本試作の研究成果、有効性はレビューシートに記載することにより、説明する必要があるのではないか。 ・本事業は今年度が終了年度であるが、本事業におけるコスト縮減の取組等については類似事業に適宜反映してもらいたい。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・ご指摘を踏まえ、レビューシートの記載内容を修正した。 ・本事業においては変なる契約を予定していないものの、得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0324 － 00	－ －	－ －		最終実施年度			
309	赤外線画像高解像度化実験装置（搭載型）の研究試作	H26	H30	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・本事業においては変なる契約を予定していないものの、得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0325 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
310	回転翼増成機（能力向上型）の開発	H27	H34	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・継続案件ではあるものの、見直せる仕様等があれば見直す等、コスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	25,511	16,581	▲8,930	－	執行等改善	・本事業は全ての契約が終了しているものの、コスト縮減方策の検討等を行い、効率的な予算執行に努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0326 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
311	電動アクチュエーションシステムの研究試作	H27	H31	1,259	1,048	1,048	・本事業は令和元年度が終了年度であるが、本事業におけるコスト縮減の取組や得られた効果については類似事業に適宜反映して欲しい。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・本事業においては変なる契約を予定していないものの、得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0328 － 00	－ －	－ －		最終実施年度			
312	新多用途ヘリコプターの開発	H27	H31	12,876	12,876	12,876	・本事業は令和元年度が終了年度であるが、本事業におけるコスト縮減の取組や得られた効果については類似事業に適宜反映して欲しい。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	本事業の管理に当たって取り入れたWBS、EVMといった進捗管理、コスト管理手法や、リスク管理について、その要領及び実績等を類似事業を行う部署に情報を共有・反映し、変なるプロジェクト管理に関する知見の深化に努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0329 － 00	－ －	－ －		最終実施年度			
313	高高度迎撃用飛しょう体技術の研究試作	H27	H33	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・研究試作の調達に当たっては、当初契約においてはある程度、競争性が働く見込みが期待できるものの、その後の契約においては競争性が期待できないところ、競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組（仕様精査等）をさらに推進し、価格の低減に努めて欲しい。	930	1,953	1,023	－	年度内に改善を検討	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める等、価格面に注力した取組を更に推進し、価格の低減に努める。 ・なお、競争性の確保の取組及びその結果をレビューシートの「事業所管部局による点検・改善（競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か）」欄に継続的に記載する。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0331 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
314	先進対艦・対地弾頭技術の研究試作	H27	H35	367	367	367	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・研究試作の調達に当たっては、当初契約においてはある程度、競争性が働く見込みが期待できるものの、その後の契約においては競争性が期待できないところ、競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組（仕様精査等）をさらに推進し、価格の低減に努めて欲しい。	－	－	－	－	年度内に改善を検討	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める等、価格面に注力した取組を更に推進し、価格の低減に努める。 ・なお、競争性の確保の取組及びその結果をレビューシートの「事業所管部局による点検・改善（競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か）」欄に継続的に記載する。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0333 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
315	ＩＥＤ走行閉探知技術の研究試作	H27	H31	－	－	－	・本事業は平成27年度から29年度にかけてシステム設計・装置等を試作し、平成29年度から31年度に試験を実施するとの事だが、今年度は予算組が計上されていないことから、「資金の流れ」や「支出先リスト」に記載が無く、システム設計、装置等の試作、試験が全て契約変更で行われたのか、一部、官側で行っているのか不明である。また、この試作品が装備品化され使用するのは自衛隊であるとから、「自衛隊のニーズ」を把握し、それに沿った試作研究を行ったのかも記載が無く不明であることから、事業の妥当性を判断するために何らしらレビューシート上で説明する必要があるのではないか。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・本事業においては変なる契約を予定していないものの、得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。 ・なお、「試験」は官側で実施し、試験に必要な経費については「別事業」で計上している。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0334 － 00	－ －	－ －		最終実施年度			
316	潜水艦内空気清浄技術の研究試作	H27	H31	－	－	－	・本事業は今年度が終了年度であるが、本事業におけるコスト縮減の取組等については類似事業に適宜反映してもらいたい。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・本事業においては変なる契約を予定していないものの、得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0335 － 00	－ －	－ －		最終実施年度			
317	静粛型魚雷用動力装置の研究試作	H27	H30	－	1,095	1,095	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	本事業におけるコスト削減の取組や効率化等のノウハウは、今後の類似の事業に適切に反映する。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0336 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
318	新型護衛艦用レーダシステムの研究試作	H27	H32	2,473	3,267	3,267	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・繰越の状況が継続していることから、事業管理を適切に進めるべき。 ・契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を実施し、その結果を今後の類似事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	執行等改善	・外部有識者及び行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、レビュー手整備し適切に競争性の確保の取組について説明を行うよう努める。 ・新型護衛艦用レーダシステム（その２）の研究試作について、納期延期により当初計画からの変更が生じたが、工程の見直し等により事業完了時期に影響ないよう努める。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0337 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
319	次世代データリンク高速・高信頼化技術の研究試作	H27	H32	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・民生品等の活用や他事業との工数比較により経費が節減されていることが確認出来た。本事業で得られた成果やコスト縮減の取組については他の事業においても活用されたい。	1,591	－	▲1,591	－	現状通り	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0338 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
320	戦術データリンク妨害用送受信技術の研究試作	H27	H31	1,745	1,745	1,745	・本事業は今年度で終了年度であるが、本事業の成果については、最大限の活用を図ってもらいたい。 また、本事業におけるコスト縮減の取組等については類似事業に適宜反映してもらいたい。なお、防衛省内に存在する研究開発の評価組織がいかなるコメントを付しているのか、研究の当初の目的と終了後の結果との関連が有るか無いかも含めて、可能な範囲で明にするべきである。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・本事業においては変なる契約を予定していないものの、得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。 ・制度上、所要の成果が得られたかについて、来年度に事後評価を実施することになっており、結果としてご指摘の点も含め明らかにな る予定である。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0339 － 00	－ －	－ －		最終実施年度			
321	高機動パワードスーツの研究試作	H27	H33	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・民生品の活用や過去の技術的成果の利活用によってコストの低減に努めていることが確認できた。本事業で得られた効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。	－	－	－	－	年度内に改善を検討	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0340 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
322	生体検出レーダの研究試作	H29	H33	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・民生品の活用や過去の技術的成果の利活用によってコストの低減に努めていることが認められる。引き続き、効率的な予算要求・執行に努められたい。	509	－	▲509	－	年度内に改善を検討	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を整理し活用するよう努める。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0341 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			

様式１

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度 当初予算額 A	平成３２年度 要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
323	将来経量積栄構成要素の研究試作	H29	H33	－	－	－	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・研究試作の調達に当たっては、当初契約においてはある程度、競争性が働く見込みが期待できるものの、その後の契約において競争性が期待できないところ、競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落札率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組（仕様精査等）をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。	－	385	385	－	年度内に改善を検討	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める等、価格面に注力した取組を更に推進し、価格の低減に努める。 ・なお、競争性の確保の取組及びその結果をレビューシートの「事業所管部局による点検・改善（競争性が確保されているなど実出先の選定は妥当か）」欄に継続的に記載する。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 － 0342 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
324	戦闘機用エンジンシステムの研究試作	H30	H31	14,080	14,080	14,080	・本事業は今年度が終了年度であるが、本事業におけるコスト縮減の取組等については類似事業に適宜反映してもらいたい。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	本事業におけるコスト縮減の取組等については、今後、類似事業に適宜反映する。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 新30 － 0012 － 00	－ －	－ －		前年度新規			
325	艦載砲用ロケットアシスト長射程弾技術の研究試作	H28	H30	1,236	1,236	1,236	・本事業はH30年度で終了年度であるが、本事業におけるコスト縮減の取組等については類似事業に適宜反映してもらいたい。 ・レビューシートの「事業所管部局による点検・改善」のうち「国費投入の必要性」について、記載されている3つの項目にほぼ同じ文面が並んでいる。項目に即して的確かつ具体的に対応を書くなど、国民の理解を得るための工夫が必要。 ・「事業の有効性」について、的確な説明が行われているとはいいがたい。成果を明らかにすることは難しいと思われるが、可能なかぎり本試作の研究成果、有効性はレビューシートに記載することにより、説明する必要があるのではないか。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	外部有識者の所見を踏まえ、本事業におけるコスト縮減の取組等について類似事業に反映する。	－	防衛装備庁 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 新30 － 0013 － 00	－ －	－ －		前年度新規			
326	研究試作事業（技術計画官）	H30	終了予定なし	4,751	4,751	4,751	・競争性の確保の取組について、各研究試作においては当初契約時（その１）が重要であることから、引き続き、受注可能な業者の調査を行うなど、応募者拡大を図る方策を検討し、競争性確保に努められたい。 ・また、事後、各研究試作（その２以降）の調達では競争性のなかで価格の妥当性が図られる分野ではないことを探索し、詳細な見積を取得後、「品目の妥当性」「数量の適正性」「単価の妥当性」を精査し価格交渉等において適正価格の追求に努めて欲しい。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	13,890	13,351	▲539	－	年度内に改善を検討	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に反映するよう努める等、価格面に注力した取組を更に推進し、価格の低減に努める。 ・なお、競争性の確保の取組及びその結果をレビューシートの「事業所管部局による点検・改善（競争性が確保されているなど実出先の選定は妥当か）」欄に継続的に記載する。	－	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）研究開発に必要な経費	防衛省 新30 － 0014 － 00	－ －	－ －		前年度新規			
	施策名：4-(8)地域コミュニティーとの連携																										
327	移転措置事業	S49	終了予定なし	3,932	3,793	3,433	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・毎年度、繰越が生じている。事業の性質上困難な部分もあるかと思われるが、引き続き低減のための努力を行い、可能な限り予算の効率的執行に努められたい。	4,489	1,963	▲2,526	－	現状通り	・移転措置事業は、建物等の所有者からの移転希望を受け、移転補償等を実施していることから、所有者の事情に起因して、やむを得ず繰越が生じており、計画的に本事業を進めることは難しい面もあるが、引き続き、繰越低減及び効率的な予算執行及び予算要求に努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省 － 0343 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
328	民生安定助成事業	S49	終了予定なし	34,796	34,165	33,342	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・毎年度、繰越が生じている。事業の性質上困難な部分もあるかと思われるが、地方公共団体等い対し事業の進捗状況及び精査を徹底し、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。 ・引き続き、事業内容の精査等を適切に実施し、効率的な予算執行及び予算要求に取り組むとも事業効果の更なる向上に努められたい。	36,320	21,060	▲15,260	－	現状通り	地方公共団体等における事業の進捗状況の把握及び事業内容の精査等を実施し、引き続き効率的な予算要求及び予算執行に努め、更なる事業効果の向上を図る。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費 （項）在日米軍等駐留関連経費 （大事項）在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組の実施に必要な経費	防衛省 － 0344 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象		○	
329	緑地整備事業等	S49	終了予定なし	914	914	852	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・一般競争入札において一者応札が見受けられるものの、要因分析や対策が検討されており、次回入札の際には改善が図られるようにされたい。 ・契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	843	1,038	195	－	現状通り	一者応札については、発注単位の見直し等により改善を図ることとする。 また、引き続き、地方公共団体等に対し使用許可を行うことにより、コストの縮減に努めることとする。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省 － 0345 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
330	騒音防止事業（住宅防音）	S49	終了予定なし	41,588	39,755.0	39,003.0	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・応札者数を増やし競争性を高めるための措置が行われていることは評価できる。他方で、一者応札のものも見受けられることから、十分な要因分析を実施し、競争性の確保に努められたい。	56,284	52,022	▲4,262	－	現状通り	・補助金適正化法の規定を踏まえ、「公正に契約金額を決定しなければならない」旨を交付条件に付しているところ、今後も、国の契約に準じた適切な契約となるよう補助事業者への説明・周知を行い、競争性の確保に努めたい。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費 （項）在日米軍等駐留関連経費 （大事項）在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組の実施に必要な経費	防衛省 － 0346 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象		○	
331	借料	S27	終了予定なし	128,096	128,096	127,701	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、防衛施設の継続的・安定的な使用確保のため、適正な価格の算定に努め、土地所有者の理解のもと円滑に事業を進められたい。	128,958	130,057	1,100	－	現状通り	・行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえて、引き続き、防衛施設の継続的・安定的な使用確保のため、適正な評価額の算定に努め、土地所有者の理解のもと円滑に事業が進むよう努めていく。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費 （項）在日米軍等駐留関連経費 （大事項）沖縄に関する特別行動委員会最終報告に盛り込まれた措置の実施に必要な経費	防衛省 － 0347 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
332	補償経費等	S27	終了予定なし	10,644	10,755	9,335	・例年繰り越しが生じているが、事業の性質上困難な部分もあるかと思われるが、引き続き低減のための努力を行い、可能な限り予算の効率的執行に努められたい。 ・漁業補償及び買取（不動産購入）については、引き続き関係規則等に基づき適切かつ効率的に実施されたい。また、周辺財産の除草工事については、引き続き、除草にかわる手法を試行的に実施し、効率的な予算の執行に努められたい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	14,389	13,611	▲778	－	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえ、引き続き、繰り越し低減のための努力を行い、可能な限り予算の効率的執行に努めていきたい。 ・漁業補償及び買取（不動産購入）については、引き続き関係規則等に基づき適切活効率的に実施していきたいと思う。 ・現状、除草に変わる新たな管理手法として、試行的に防風シートの敷設を行っているところであるが、今後、効果の持続年数及び周辺地域への影響等を確認していく必要があるため、成果が出次第評価できるよう努めていきたい。	－	地方協力局 整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費 （項）在日米軍等駐留関連経費 （大事項）沖縄に関する特別行動委員会最終報告に盛り込まれた措置の実施に必要な経費	防衛省 － 0348 － 00	－ －	－ －		その他			○
333	障害防止事業	S49	終了予定なし	9,938	10,181	9,938	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・毎年度繰越を発生させているところ、用地買収に係る地権者との調整の困難性は理解できるが、関係住民の生活の安定及び福祉の向上への影響もあることから、事業管理を適切に進めて欲しい。 ・地方自治体（補助事業者）が発注する施設工事等に対して、引き続き、競争性の確保やコスト低減に係る取り組みを推進することにより、費用対効果の高い事業として欲しい。	10,186	3,162	▲7,023	－	現状通り	・事業の実施については事業管理を適切に進めるとともに、引き続き、競争性の確保やコスト低減に係る取り組みを推進し、費用対効果の高い事業となるよう努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省 － 0349 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象		○	
334	騒音防止事業（一般防音）	S49	終了予定なし	11,204	10,586	9,636	【コスト低減に係る取り組み について】 ・価格低減に係る計画・工法集は大変評価できる取り組みであることが確認できた。 他方、さらなるコスト低減につなげるため、調達の工夫（事例集）や経済性の確認（競争性の確保）項目を盛り込んだチェックシート等を活用し自治体の競争契約の促進等、効果的な改善策の指導につなげることができるのではないか。 【補助内容等の検証】 ・防音工事および防音関連特費の補助の支給や基準の設定のあり方を、時代や環境の変化に応じて見直していくべきではないか。 また、住民における満足度や苦情をアンケート等において把握することにより、より有効な補助事業になるのではないか。	事業内容の一部改善	公開プロセスの議論、有識者からのコメントを踏まえて、適切に対応されたい。	11,958	8,664	▲3,294	▲737	縮減	【所見を踏まえた改善点】 ①チェックシートの作成及び計画・工法集の充実 令和元年度中に事例集の適用状況と地方自治体等の契約方法を確認する項目を盛り込んだチェックシートを作成し、地方自治体等の競争契約の促進等、効果的な改善策の指導に努めるとともに、計画・工法集について、コスト低減につながる事例の見直しを行い、引き続き内容の充実を図る。 ②事業のあり方検討及び補助事業者等へのアンケートの実施 本事業の補助割合や採択基準等については、これまでも必要に応じて見直してきたところであるが、制度の見直しに当たっては、関係自治体等の意見及び制度の趨旨を踏まえながら、今後も引き続き慎重に進めていく。 加えて、住民における満足度や苦情を把握するため、令和２年度から補助事業者及び利用者を対象としたアンケート調査を実施し、必要に応じて、調査結果の事業への反映を図る。 【概算要求における反映状況】 計画・工法集の事例を採用したことによるコスト削減効果を令和２年度概算要求額に反映。 ○採用件数38件/117件　○削減額737,042千円	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省 － 0350 － 00	－ －	－ －		その他		○	
335	道路改修等事業	S49	終了予定なし	7,222	7,671	7,414	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度繰越を発生させているところ、用地買収に係る地権者との調整の困難性は理解できるが、関係住民の生活の安定及び福祉の向上への影響もあることから、事業管理を適切に進めて欲しい。 ・地方自治体（補助事業者）が発注する施設工事等に対して、引き続き、競争性の確保やコスト低減に係る取り組みを推進することにより、費用対効果の高い事業として欲しい。	7,489	4,263	▲3,227	－	執行等改善	・繰越の解消について 繰越については、やむを得ない事情により生じたものであるが、地方公共団体とのヒアリングにおいて事業の進捗状況及び見通しについて、これまで以上に確認及び精査を徹底し、適切な事業管理に努める。 ・効率的な予算要求及び予算執行について 引き続き、事業の目的や効果、経済性を含め事業の内容の審査を行い、より一層適正な予算要求及び執行に努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省 － 0351 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象		○	
336	防衛施設周辺整備統合事業	H16	終了予定なし	379	381	340	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年一定の繰越額及び不用額が発生しているため、地方公共団体等に対し事業の進捗状況及び見通しについて確認及び精査を徹底し、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	588	602	14	－	執行等改善	地方公共団体等における事業の進捗状況及び見通しの把握に努め、より効率的な予算要求及び予算執行に努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤整備費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省 － 0352 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象		○	
	施策名：4-(9)情報発信の強化																										
337	行事広報	S29	終了予定なし	328	328	284	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・引き続き、契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を行い、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。また、毎年度一定額の不用が生じていることから、執行実績の分析を行い、予算要求に適切に反映されたい。	326	333	7	－	執行等改善	・引き続き、契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を行い、効率的な予算要求、予算執行に努めていく。 ・執行率、単価等の見直し等を図るなどして、効率的な予算要求及び予算執行に努めていく。	－	大臣官房	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 航空自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）情報発信に必要な経費 地域コミュニティーとの連携に必要な経費 運用基盤策の整備に必要な経費	防衛省 － 0353 － 00	－ －	－ －		平成28年度対象			
338	印刷物広報	S29	終了予定なし	139	139	128	・一般競争入札を実施しているものの一者応札の状況が見受けられ、特に書籍については高落札率となっている。何が要因であるかの分析を行い、結果をレビューシートに記載することにより、業者選定及び価格の妥当性について国民の理解が得られるようにするとともに、他の事業者による供給の可能性があるのであればさらなる競争性の向上に努める必要がある。 ・印刷物を配布してどのような効果が得られたのか検証を行い、その結果をレビューシートに記載し有効性について国民の理解を得る必要がある。 ・引き続き、契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を行い、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	120	123	2	－	執行等改善	・一社応札となった要因については、一定の具備条件を付したことが１つの要因と考えられるため、仕様書の見直し や複数の業者から見積を取得するほか、HP等へ入札情報を掲載するなどして、入札業者を増やし、競争性の向上に努める。 ・アンケート等を通じて印刷物の配布の有効性の検証を行うなどして、広報体制の整備に努める。 ・引き続き、前年度の契約実績の分析を行い、単価等の見直し等を図るなどして、効率的な予算要求及び予算執行に努めていく。	－	大臣官房	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）情報発信に必要な経費 地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省 － 0354 － 00	－ －	－ －		その他			
339	視聴覚広報	S29	終了予定なし	58	58	23	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率について改善傾向が見られる。更なる計画管理や執行実績の分析を行い、その結果をレビューシートに記載の上で、予算要求に適切に反映されたい。	59	61	3	－	執行等改善	・入札による価格の競争性が働き、執行率は低かったものの、改善傾向が見られることから、引き続き、執行実績等の精査を行い、単価等の見直し等を図るなどして、適切な予算要求及び予算執行に努めていく。	－	大臣官房	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）情報発信に必要な経費 地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省 － 0355 － 00	－ －	－ －		平成30年度対象			
340	広報体制の整備	S29	終了予定なし	170	170	136.0	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札を実施しているものの、一者応札の状況が見受けられることから要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにおいて説明し、事業者選定の妥当性について国民の理解を得られるようにするとともに応札者拡大のための検討を実施し、競争性の向上に努められたい。 ・契約実績の分析及びコスト縮減方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	221	255	34	－	執行等改善	・一者応札となった要因については、一定の具備条件を付したことが１つの要因と考えられるため、仕様書の見直し や複数の業者から見積を取得するほか、HP等へ入札情報を掲載するなどして、入札業者を増やし、競争性の向上に努める。 ・引き続き、前年度の契約実績や単価等の見直しを図るなどして、効率的な予算要求及び予算執行に努めていく。	－	大臣官房	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 航空自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）情報発信に必要な経費 地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省 － 0356 － 00	－ －	－ －		平成27年度対象			
	施策名：4-(10)知的基盤の強化																										

様式１

※平成３１年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

（単位：百万円）

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	平成３０年度補正後予算額	平成３０年度 執行可能額	平成３０年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成３１年度当初予算額 A	平成３２年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	外部有識者点検対象（公開プロセス含む）※対象となる場合、理由を記載	委託調査	補助金等	基金
341	防衛研究所における教育に要する経費	S29	終了予定なし	296	296	279	・本来の防衛研究所による事業の評価は、教育・研究や政策策定への知的支援の効果にあるが、こうした点はレビューシートからは確認ができない。アウトカム・アウトプットが事業判断のため適切なものとなるよう検討が必要である。また、備品調達や役務契約においては、契約額だけではなく、その品質も重要であり、要にその効果や効率性を含めたコストの適正さを判断する必要があるのではないか。 ・事業所部局による点検・改善を参照すると、競争に付する基準を50万以上とするなど、予算執行の効率化に努めていることは認められるものの、引き続き、契約実績の分析及び更なるコスト低減の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努められたい。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	269	282	13	▲2	縮減	教育、研究に関して必要な備品の購入、部外役務費等について、契約額だけでなく、品質更に効果や効率性も含めたコストの適正さを判断するよう努めるとともに、まとめ買い等による効率的な調達や公募による調達の透明性・競争性の確保、競争に付す金額の低額設定により更なるコスト低減を図ると、効率的な予算要求・執行に努める。また、令和２年度概算要求においては、直近の契約実績を反映することにより、３５４千円の縮減を図った。	「新しい日本のための優先課題推進枠」1	人事教育局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 施設等機関等の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤整備費 （大事項）知的基盤の整備に必要な経費	防衛省 － 0357 － 00	－ －	－ －		その他			
いずれの施策にも関連しないもの																											
342	日露海上事故防止協定本会合	H6	終了予定なし	－	－	－	・諸外国との信頼醸成及び情報の交換のため、実務者を現地に派遣し対話することは大変有効である。 ・引き続き、計画的に開催回数の妥当性を見極め事業を推進してほしい。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	2	－	▲2	－	現状通り	引き続き、開催回数の妥当性について見極め、さらなる効率的な予算執行に努める。	－	統合幕僚監部	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費	防衛省 － 0358 － 00	－ －	－ －		その他			
343	軍備管理・軍縮	S55	終了予定なし	5	5.0	9.0	・平成30年度の執行額が予算額を大幅に超過しているが、その要因分析を行い、その結果をレビューシートに記載することにより執行の妥当性について、国民の理解が得られるようにするとともに、適切な予算計上及び予算執行に努められたい。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	4	5	1	－	現状通り	グローバルな安全保障環境の改善を図るためには、軍備管理・軍縮・不拡散の分野に取り組んでいくことは不可欠である。今後も事業を継続していくにあたり、出張者の早期確定に努めることにより、航空賃の新引制度を利用するなど、引き続き、効率的・効果的な予算要求・執行に努めていく。	－	防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費	防衛省 － 0359 － 00	－ －	－ －		その他			
344	被服購入等に係る経費	S27	終了予定なし	11,914	11,035	10,727	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・2か年続けて繰越を発生させているところ。計画において整備すべき被服の配布が遅れているのではと印象を持ち、事業管理を適切に進めるべき。 ・支出先リストを参照すると、随意契約が散見される。一定の品目をまとめ一般競争入札にすることにより、競争性による価格の妥当性追求及びスケールメリットが期待できる余地があり引き続き、改善に努められたい。	8,207	10,335	2,128	－	執行等改善	３０年度に繰越しが発生したのは受注業者の下請負業者の工場火災等によるものであり、やむを得ない面もあるが、引き続き計画通りに予算を執行できるよう努めていく。また、調達に当たっては原則として一般競争入札を実施しており、随意契約についても大半が一般競争入札からの移行したものであるとともに、同じ品目でほぼ同一仕様の案件が複数ある場合はまとめて調達を行っていることから、防衛省としてもこれまでスケールメリットの追求及び競争性の確保に努めてきたところであるが、引き続き効率的に予算執行できるよう、応札者の拡大等に努めていく。	「新しい日本のための優先課題推進枠」381	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）施設等機関等の運営に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 航空自衛隊の運営に必要な経費	防衛省 － 0360 － 00	－ －	－ －		平成29年度対象			
行政事業レビュー対象　計				3,301,139	3,259,515	3,102,843		一般会計		2,923,298	3,026,396	103,098	▲3,453														
行政事業レビュー対象外　計				2,338,119				一般会計		2,334,142	2,295,855	▲38,288															
合　計				5,639,258				一般会計		5,257,440	5,322,250	64,810															

注１．　該当がない場合は「－」を記載し、負の数値を記載する場合は「▲」を使用する。

注２．「執行可能額」とは、補正後予算額から繰越額、移流用額、予備費等を加除した計数である。

注３．「反映内容」欄の「廃止」、「縮減」、「執行等改善」、「年度内に改善を検討」、「予定通り終了」、「現状通り」の考え方については、次のとおりである。

「廃止」：平成３１年度の点検の結果、事業を廃止し平成３２年度予算概算要求において予算要求を行わないもの（前年度終了事業等は含まない。）

「縮減」：平成３１年度の点検の結果、見直しが行われ平成３２年度予算概算要求において何らかの削減を行うもの（事業の見直しを行い、部分的に予算の縮減を行うものの、事業全体としては概算要求額が増加する場合も含む。）

「執行等改善」：平成３１年度の点検の結果、平成３２年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、明確な廃止年限の設定や執行等の改善を行うもの（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものに限る。）

「年度内に改善を検討」：平成３１年度の点検の結果、平成３２年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、平成３１年度末までに執行等の改善を検討しているもの（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものは含まない。）

「予定通り終了」：前年度終了事業等であって、予定通り事業を終了し平成３２年度予算概算要求において予算要求しないもの。

「現状通り」：平成３１年度の点検の結果、平成３２年度予算概算要求の金額に反映すべき点及び執行等で改善すべき点がないもの（廃止、縮減、執行等改善、年度内に改善を検討及び予定通り終了以外のもの）

注４．予備費を使用した場合は「備考」欄にその旨を記載するとともに、金額を記載すること。

注５．「外部有識者点検対象」欄については、平成３１年度行政事業レビューの取組において外部有識者の点検を受ける場合は下記の基準に基づき、「前年度新規」、「最終実施年度」、「行革推進会議」、「継続の是非」、「その他」のいずれかの選択理由を記載（行政事業レビュー実施要領第２部２（３）を参照）し、平成２７年度、平成２８年度、平成２９年度又は平成３０年度の行政事業レビューの取組において外部有識者の点検を受けたものは、それぞれ「平成２７年度対象」、「平成２８年度対象」、「平成２９年度対象」、「平成３０年度対象」と記載する。なお、平成３１年度に外部有識者の点検を受ける事業について、平成２７年度、平成２８年度、平成２９年度又は平成３０年度にも点検を受けている場合には、選択理由のみを記載する（「前年度新規」、「最終実施年度」、「行革推進会議」、「継続の是非」、「その他」のいずれかを記載）。

「前年度新規」：前年度に新規に開始したもの。

「最終実施年度」：当該年度が事業の最終実施年度又は最終目標年度に当たるもの。

「行革推進会議」：前年のレビューの取組の中で行政改革推進会議による意見の対象となったもの。

「継続の是非」：翌年度予算の概算要求に向けて事業の継続の是非等を判断する必要があるもの。

「その他」：上記の基準には該当しないが、行政事業レビュー推進チームが選定したもの。